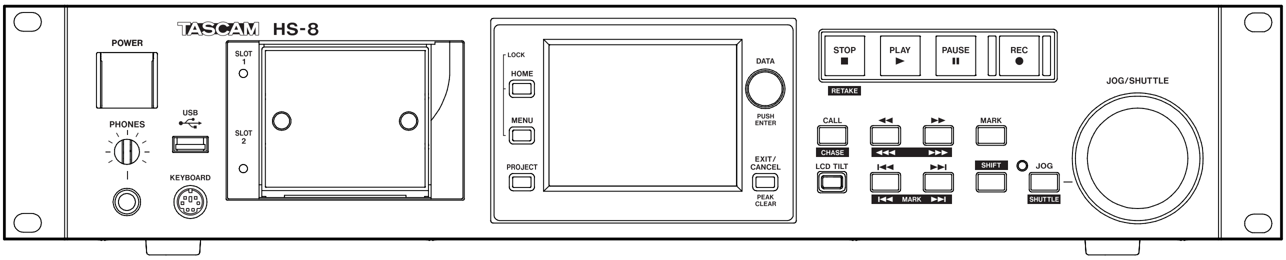
D01106901A

TASCAM
TEAC PROFESSIONAL

HS-8

8 Channel Audio Recorder

取扱説明書



安全にお使いいただくために

この取扱説明書の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠	△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
⃠	⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
●	● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。

万一機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店またはティアック修理センターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

この機器は、船舶などの直流（DC）電源には、接続しないでください。火災･感電の原因となります。

⚠警告

この機器のカバーは、絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は、販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。

この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

この機器の上に花びんや水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合は、火災・感電の原因となります。

⚠注意

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

電源を入れる前には、音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。

この機器には、付属の電源コードセットをご使用ください。それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないように注意してください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を与えることがあります。

次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所

電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

付属の電源コードセットを他の機器に使用しないでください。故障、火災、感電の原因となります。

5年に一度くらいは、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センターにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

目次

安全にお使いいただくために 2

第1章　はじめに 6
本機の概要 6
本製品の構成 6
本書の表記 6
商標および著作権に関して 7
設置上の注意 7
結露について 7
製品のお手入れ 7
ディスプレーのお手入れ 7
CFカードについて 7
取り扱い上の注意 7
動作確認メディアについて 7
アフターサービス 8

第2章　各部の名称と働き 9
フロントパネル 9
リアパネル 12
PARALLEL端子について 14
RS-232C端子について 14
RS-422端子について 14
ホーム画面 15

第3章　準備 19
CFカードを挿入する／取り出す 19
CFカードを挿入する 19
CFカードを取り出す 19
セキュリティービスについて 19
ディスプレーについて 20
ディスプレーの角度を調節する 20
ディスプレーとインジケーターの輝度調節 20
ディスプレーについての注意 20
電源のオン／オフ 21
内蔵時計の時刻を設定する 21
パネルロック機能 22
録音時間について 23

第4章　録音と再生 24
録音の準備をする 24
CFカードの選択 24
CFカードのフォーマット 25
新規プロジェクトの作成 26
マスタークロックの設定 26
録音トラックの設定 27
ファイルフォーマットの設定 27
その他の録音設定 28
ヘッドホンの接続 28
入力の設定 28
入力のモニター 29
録音する 29
録音 29
録音の停止 29
リテイク 29
録音動作での制約事項 30
再生する 30
プロジェクト／フォルダ／テイクの選択 30
インプットモニターの設定 31
再生 31
再生音のミキシング 31
コール 31
フラッシュスタート機能 32
オンライン機能 32

第5章　プロジェクト 33
プロジェクトについて 33
ファイルフォーマットについて 33
モノフォニックモードとポリフォニックモード 33
モノフォニックモードでのフィアル記録フォルダ 33
プロジェクト画面について 34
プロジェクト選択画面 34
フォルダ選択画面 34
テイク選択画面 35
プロジェクトの操作 35
新規プロジェクトを作成する 35
プロジェクト名を編集する 36
後からプロジェクト名を変更する 37
最初に作るフォルダ名を編集する 37
プロジェクトをロードする 37
プロジェクトを再構築する 38
プロジェクトを削除する 38
フォルダの操作 39
新規フォルダを作成する 39
フォルダをロードする 39
フォルダを再構築する 40
フォルダをコピーする 40
フォルダを削除する 41
テイクの操作 41
テイクをロードする 41
テイクを削除する 42
テイクのスタートタイムを編集する 42
テイク名に@を付ける／削除する 43

.第6章　内部設定詳細 44
メニュー画面 44
録音設定（REC SETUP） 44
REC TRACKSタブ画面 44
FILE FORMATタブ画面 44
OPTIONSタブ画面 45
再生設定（PLAY SETUP） 46
GENERALタブ画面 46
CONTROLタブ画面 46
シンク、タイムコード設定（SYNC T/C） 46
CLOCKタブ画面 46
SYNCタブ画面 47
T/Cタブ画面 48
SETUPタブ画面 48
I/Oタブ画面 49
リモート設定（REMOTE SETUP） 49
PARALLELタブ画面 49
RS-232Cタブ画面 50
RS-422タブ画面 50
ミキサー設定（MIXER SETUP） 51
INPUTタブ画面 51
DIGITAL SOURCEタブ画面 51
SETUPタブ画面 51
OUTPUTタブ画面 52
CHx NAME（ボタン） 52
チャンネル設定（CHANNEL SETUP） 52
チャンネルリンク時 53
ステレオ（L/R）チャンネル 53
CHx-x DIGITAL SOURCE設定 54
レベルメーター設定（METER SETUP） 54
システム設定（SYSTEM SETUP） 55
PREFERENCESタブ画面 55
CLOCK ADJUSTタブ画面 55
CFカードの管理（CF MANAGE） 56
バージョン表示（VERSION INFO） 56
フォルダ構成 57
ファイル名 57

第7章　マーク機能とロケート機能 58
マーク機能 58
マークポイントを付ける 58
キー操作によるマークポイントへのロケート 58
マークポイントリスト画面 58
マークポイントにロケートする 59
マークポイントの情報を見る 59
マークポイントを削除する 59
マークポイントを編集する 60
マークポイント番号を振り直す 60
マニュアルロケート機能 61

第8章　コンピューターキーボードを使った操作 62
キーボードタイプの設定 62
キーボードを使って名前を入力する 62
キーボード操作一覧 62

第9章　オンライン機能 63
オンライン機能を有効にする 63
オンライン再生モードの切り換え 63

第10章　外部タイムコード同期再生 64
基本的な操作 64
タイムコードオフセット 64
リチェイス 64

第11章　トラブルシューティング 65

第12章　メッセージ 66

第13章　仕様 71
定格 71
入出力定格 71
アナログオーディオ入出力定格 71
デジタルオーディオ入出力定格 72
コントロール入出力定格 72
オーディオ性能 72
一般 72
寸法図 73
ブロックダイヤグラム 74

第 1 章　はじめに

このたびは、TASCAM 8 Channel Audio Recorder HS-8をお買いあげいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。
また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト（**http://www.tascam.jp/**）からダウンロードすることができます。

本機の概要

- 記録メディアにCFカードを採用（UltraDMA対応）
- 44.1/48kHz、16/24ビットの8マルチトラック+2ミックス同時録音
- 88.2/96kHz、16/24ビットの8マルチトラック録音
- 176.4/192kHz、16/24ビットの4マルチトラック録音
- ファイルフォーマット：BWF（Broadcast Wave Format）
- 別売のRC-HS20PDによるフラッシュスタートが可能
- JOG/SHUTTLE機能搭載
- グラフィカルなデザインのTFTカラータッチパネルが直感的な操作を実現
- 8チャンネルD-sub 25ピンアナログバランス入出力
- 8チャンネルD-sub 25ピンAES/EBUデジタル入出力
- 8チャンネルADAT デジタル入出力
- 2チャンネルXLRアナログバランス入出力
- XLR AES/EBUデジタル入出力
- ヘッドホン出力
- BNCタイムコード入出力
- BNCビデオリファレンス、またはワードクロック入力および出力／スルー出力
- USBメモリーを接続して、ファイルのコピーが可能
（バージョンアップで対応予定）
- LAN（Ethernet）機能を搭載し、ネットワーク経由でファイル転送、リモートコントロール、監視が可能
（バージョンアップで対応予定）
- カスケード機能による複数台の同期運転が可能
（バージョンアップで対応予定）
- パラレルリモートコントロールに対応
- RS-232C シリアルリモートコントロールに対応
- RS-422（9ピンシリアルプロトコル準拠）シリアルリモートコントロールに対応

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。
なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。
梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。
付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

- 本体　x1
- 電源コードセット　x1
- ラックマウントビスキット　x1
- セキュリティービス　x3
- 取扱説明書（本書）　x1

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のキー／端子などを「**MENU**キー」のように太字で表記します。
- ディスプレーに表示される文字を“**ON**”のように“__”で括って表記します。
- ホーム画面の下側にある各ボタンを押して、ホーム表示される画面を【**REC/MON**】画面のように【___】で括って表記します。
- 「コンパクトフラッシューカード」のことを「CFカード」と表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- CompactFlash（コンパクトフラッシュ）は、米国およびその他の国におけるサンディスク社の商標または登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは、各社の商標または登録商標です。

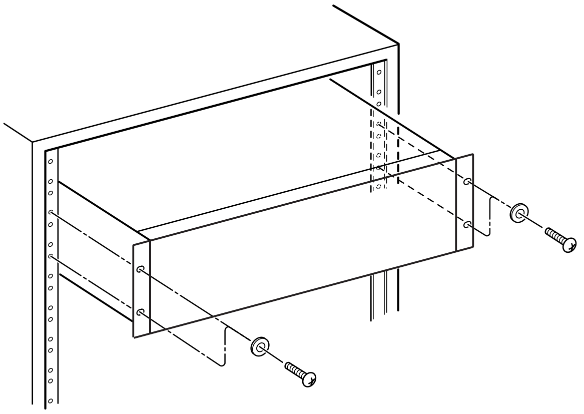
ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではございません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、又は、これらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。
弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

設置上の注意

- 本製品の動作保証温度は、摂氏5度〜35度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。

  振動の多い場所
  窓際などの直射日光が当たる場所
  暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  極端に温度が低い場所
  湿気の多い場所や風通しが悪い場所
- 本製品は、水平に設置してください。
- 放熱を良くするために、本製品の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本製品を置かないでください。
- 本製品をラックにマウントする場合は、付属のラックマウントビスを使って、下図のように取り付けてください。
  なお、ラック内部では、本製品の上に1U以上（5cm以上）のスペースを開けてください。



結露について

本製品を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1〜2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を痛めたり色落ちさせる原因となります。

ディスプレーのお手入れ

ディスプレーは、ほこりの出ない乾いた柔らかい布（クリーニングクロスなど）で軽く拭きます。
硬い布で拭いたり、強くこすったりすると液晶の表面に傷がつきますので注意してください。また、ベンジンやシンナー類、マニキュア除去液、アルコール類などは使用しないでください。

CFカードについて

取り扱い上の注意

CFカードは、精密にできています。カードやスロットの破損を防ぐため、取り扱いにあたって以下の点をご注意ください。

- 極端に温度の高い、あるいは低い場所に放置しないこと。
- 極端に湿度の高い場所に放置しないこと。
- 濡らさないこと。
- 上に物を乗せたり、ねじ曲げたりしないこと。
- 衝撃を与えないこと。
- 録音、再生状態やデータ転送などCFカードにアクセス中に抜き差しはしないこと。

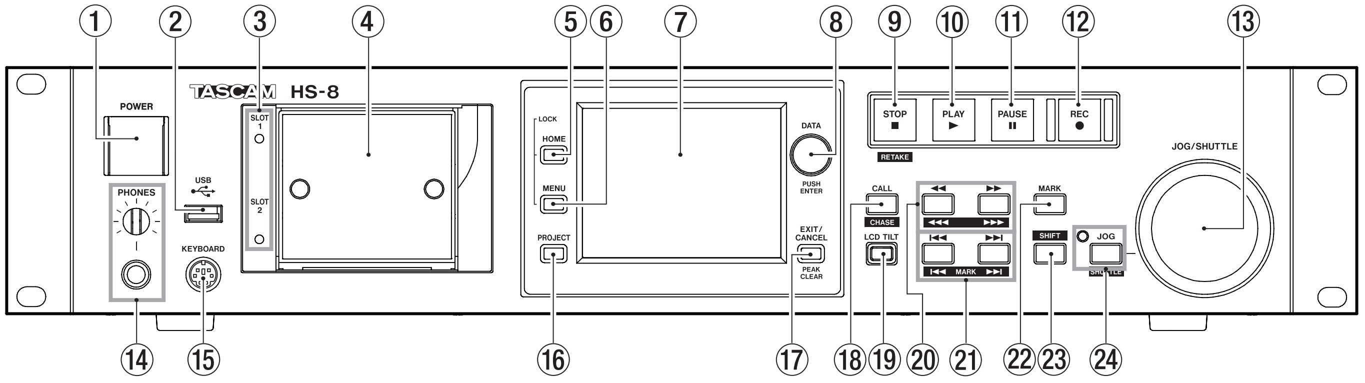
動作確認メディアについて

本機は、CFカードを使って録音／再生を行います。
マイクロドライブは、使うことができません。
なお、古いCFカードや一部のCFカードの中には、動作スピードの遅いメモリー部品を使っていたり、内部バッファー容量の小さいものがあります。こうしたCFカードを使うと、HS-8の録音性能に影響を及ぼす可能性があります。
新しいCFカード（特に高密度DSLRカメラ用に作られているもの）は、読み書きスピードが速いだけでなく、保存容量も大きくなっています。
TASCAMのウェブサイト（http://www.tascam.jp/）には、当社でテスト済みのCFカードのリストが掲載されていますのでご参照ください。またはタスカム カスタマーサポートまでお問い合わせください。
動作確認されていないCFカードをお使いになると、本機が正常に動作しない場合があります。

アフターサービス

- この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、所定事項を記入してお渡ししてますので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センターが修理いたします。その他の詳細につきましては、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センターにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはティアック修理センターまでご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
  なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
  本機を使ったCFカード、USBメモリーなどの記憶内容を消失した場合の修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。
  - 型名、型番（HS-8）
  - 製造番号（Serial No.）
  - 故障の症状（できるだけ詳しく）
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先につきましては、巻末をご参照ください。

フロントパネル



① POWERスイッチ

電源をオン／オフします。

スイッチ表面には、誤操作防止の為のカバーが付いています。カバーを下から開き、スイッチを操作してください。

② USB端子

USBメモリー等を接続し、CFカード内のデータをバックアップしたり、CFカード内へファイルを保存したりします。

（バージョンアップで対応予定）

メ モ

USBメモリーを使ってファイルコピー操作を行っているときは、USBメモリーを抜かないでください。それ以外のときは、いつでもUSBメモリーを抜き差しできます。

キーボードのUSB接続は、いつでも抜き差しできます。

③ SLOT 1 ／ SLOT 2 インジケーター

現在選択されているカードスロットのインジケーターが点灯します。

録音中やコピー中は、早く点滅します。

カレントスロットにCFカードが挿入されていないときは、遅く点滅します。

注 意

SLOT 1およびSLOT 2のインジケーターが早く点滅しているときは、対応するCFカードを抜かないでください。

④ CFカードスロット（SLOT 1 ／ SLOT 2）

CFカードを挿入／取り出します。（ → 19ページ「CFカードを挿入する／取り出す」）

⑤ HOMEキー

ホーム画面を表示します。HOMEキーを押しながらMENUキーを押すと、“LOCK SETUP” 画面を表示します。（ → 22ページ「パネルロック機能」）

このキーを押しながらDATAダイヤルを回すと、カラーディスプレー、PAUSEキー、RECキー、PLAYキー、JOG [SHUTTLE] インジケーター、SLOT 1およびSLOT 2インジケーターの輝度が調節できます。

このキーを押しながらDATAダイヤルを押し回しすると、カラーディスプレーのみの輝度が調節できます。

⑥ MENUキー

“MENU” 画面を表示します。

HOMEキーを押しながらMENUキーを押すと、“LOCK SETUP” 画面を表示します。（ → 22ページ「パネルロック機能」）

⑦ カラーディスプレー

解像度320x240ドットのタッチセンサー付き3.5インチTFTカラーディスプレーです。

各種情報を表示します。

⑧ DATAダイヤル

回すとDATAダイヤルとして働き、押すとENTERキーとして機能します。パラメーターの値を設定するときに、押しながら回すと大まかな設定ができます（COARSEモード）。

ポップアップウィンドウ表示中は、“OK” または “CLOSE” ボタンと同じ動作をします。

HOMEキーを押しながらこのダイヤルを回すと、カラーディスプレー、PAUSEキー、RECキー、PLAYキー、JOG [SHUTTLE] インジケーター、SLOT 1およびSLOT 2インジケーターの輝度が調節できます。

HOMEキーを押しながらこのダイヤルを押し回しするとカラーディスプレーのみの輝度が調節できます。

⑨ STOP [RETAKE] キー

録音や再生を停止します。

SHIFTキーを押しながらこのキーを押すと、リテイク（最後に録音したテイクを削除する）を実行します。

録音中にこのキーを押すと、録音を停止し、最後に録音を開始したファイルの先頭で停止状態になります。

⑩ PLAYキー／インジケーター

停止または再生待機中にこのキーを押すと再生を開始し、キーが点灯します。

録音待機中にこのキーを押すと、録音を開始し、キーがRECキーと共に点灯します。

⑪ PAUSEキー／インジケーター

再生中または停止中にこのキーを押すと、再生待機状態になり、キーが点灯します。

録音中にこのキーを押すと、録音待機状態になり、キーがRECキーと共に点灯します。

⑫ RECキー／インジケーター

録音可能なCFカードが挿入されていて、停止しているときにこのキーを押すと、録音待機状態になり、キーがPAUSEキーと共に点灯します。

録音中にこのキーを押すと、録音は継続したままですが、現在のファイルへの録音を停止し、新しいファイルへの録音を開始します。

注意

- 録音開始から4秒未満でRECキーを押した場合には、次のテイクの録音を開始しません。MONOファイル記録フォルダ設定によっては、この時間はさらに長くなる場合があります。（→ 33ページ「モノフォニックモードでのファイル記録フォルダ」）
- 条件によって、録音中にRECキーを押した場合でも次のテイクの録音ができない場合があります。（→ 30ページ「録音動作での制約事項」）
- 以下の場合は、録音ができません。録音するフォルダを変更してください。
  - ・フォルダ内のテイク数が999個存在する。
  - ・テイク名の後半部分の数字が999に達している。
  - ・ホーム画面の録音可能残り時間表示が“Rec Limit”となっている、。（→ 30ページ「録音動作での制約事項」）

⑬ JOG/SHUTTLEダイヤル

ジョグ動作モード時は、回した量に応じてジョグ再生位置を移動します。

シャトル動作モード時は、回した角度に応じた速度でシャトル再生します。

シャトル動作モードにしたとき、元の位置に戻すとシャトル再生開始前の状態になります。

⑭ PHONESつまみ／端子

ステレオヘッドホンを接続するためのステレオ標準ホンジャックです。

PHONESつまみでヘッドホン出力レベルを調節します。

注意

ヘッドホンを接続する前には、PHONESつまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

⑮ KEYBOARD端子

IBM PC互換機用、PS/2インターフェースのキーボードを接続します。

プロジェクト名、フォルダ名、チャンネル名などの入力に使用します。

初期設定は、USキーボード用に設定されています。USキーボードは、日本語用のキーボードと配列が異なるため、日本語用キーボードを使う場合には、“SYSTEM SETUP”画面の“PREFERENCES”タブ画面で設定を変更してください。（→ 55ページ「PREFERENCESタブ画面」）

⑯ PROJECTキー

“PROJECT”画面を表示します。（→ 34ページ「プロジェクト画面について」）

⑰ EXIT/CANCEL [PEAK CLEAR] キー

入力や項目の選択をキャンセルします。

ホーム画面では、レベルメーターのピークホールド表示のリセットボタンとして動作します。

“MENU”画面や“PROJECT”画面で押すと、ホーム画面に戻ります。

それ以外の画面では、呼び出し元の画面に戻ります。

ポップアップウィンドウ表示中は、“CANCEL”ボタンと同じ動作をします。

⑱ CALL [CHASE] キー

最後に再生待機状態から再生を開始したポイント（コールポイント）にロケートし、再生待機状態となります。

SHIFTキーを押しながらこのキーを押すと、外部タイムコード同期再生のオン／オフが設定できます。

⑲ LCD TILTボタン

このボタンを押すと、カラーディスプレーのロックが解除されます。

カラーディスプレーの角度を変更するには、このボタンを押してロックを解除し、ディスプレーの下部を手前に引き出します。

ディスプレーを収納するときは、このボタンを押してロックを解除し、ディスプレーの下部を押し込みます。

⑳ ◀◀ [◀◀◀] ／ ▶▶ [▶▶▶] キー（サーチ）

このキー押している間、サーチを行います。

◀◀ [◀◀◀] キー：早戻し
▶▶ [▶▶▶] キー：早送り

SHIFTキーを押しながらこのキーを押すと、高速サーチを行います。

㉑ ⏮ ／ ⏭ [MARK ⏮ ／ ⏭] キー（スキップ）

テイクをスキップします。

SHIFTキーを押しながらこのキーを押すと、マークポイントに移動します。移動後は、前の状態（停止、再生待機、または再生）になります。

㉒ MARKキー

このキーを押すと、現在ロケートしている時刻にマークポイントを付けます。

マークポイントは、オートマークポイントと合わせて1ファイル（テイク）あたり、最大99個まで付けることができます。（→ 58ページ「マーク機能」）

㉓ SHIFTキー

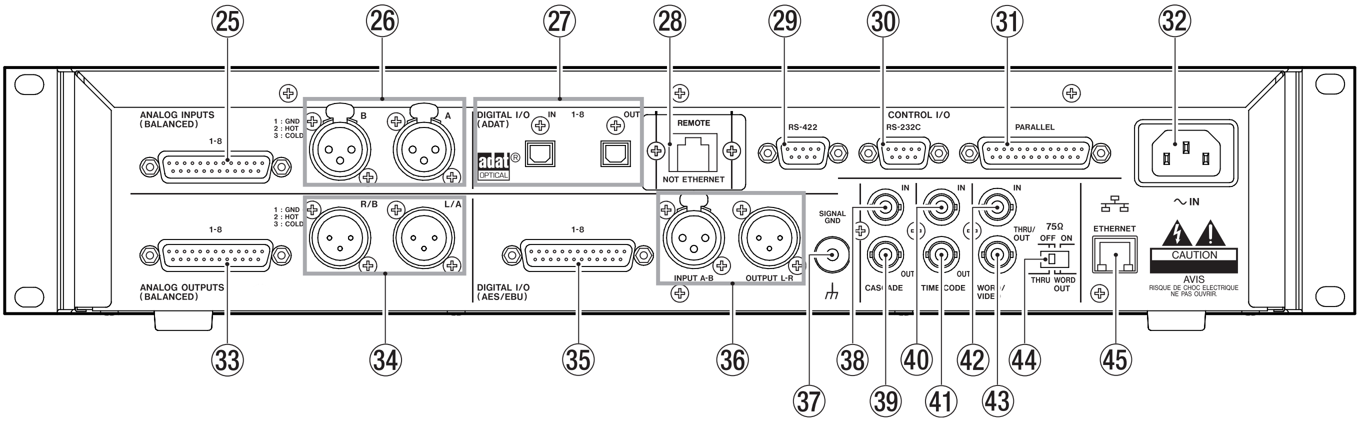
停止中／再生待機中／再生中に

- このキーを押しながら⏮キーを押すと、一つ手前のマークポイントに移動し、停止／再生待機、または再生を開始します。
- このキーを押しながら⏭キーを押すと、一つ先のマークポイントに移動し、停止／再生待機、または再生を開始します。
- このキーを押しながら◀◀ [◀◀◀] キーまたは▶▶ [▶▶▶] キーを押すと、高速サーチを行います。
- このキーを押しながらJOG [SHUTTLE] キーを押すと、シャトル動作モードになります。
- このキーを押しながらSTOP [RETAKE] キーを押すと、リテイク（最後に録音したテイクを削除する）を実行します。

㉔ JOG [SHUTTLE] キー／インジケーター

ジョグ／シャトル機能をオンにします。
このキーを押すとジョグ動作モードになり、JOG/SHUTTLEダイヤルはジョグダイヤルとして機能します。また、このときJOG/SHUTTLEインジケーターが点灯します。
SHIFTキーを押しながらこのキーを押すとシャトル動作モードになり、JOG/SHUTTLEダイヤルはシャトルダイヤルとして機能します。また、このときJOG/SHUTTLEインジケーターが点滅します。
再度このキーを押すと、それぞれのモードから抜けます。

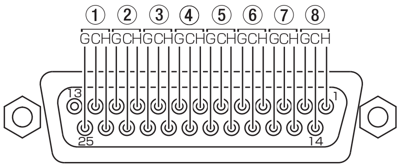
リアパネル



㉕ ANALOG INPUTS 1-8 端子

アナログバランスライン入力端子（D-sub 25ピン）です。

ピンアサインは、以下の通りです。



㉖ ANALOG INPUTS A ／ B 端子

アナログバランスライン入力端子A ／ B（XLRバランス）です（1：GND、2：HOT、3：COLD）。

内部設定で、これらの端子に入力された信号をどのチャンネルに録音するかを設定します。

㉗ DIGITAL I/O（ADAT）1-8 端子

ADAT OPTICALフォーマットのデジタルオーディオ入出力端子です。

サンプリング周波数は、44.1kHzと48kHzに対応しています。

㉘ REMOTE端子カバー

出荷時は、カバーが取り付けられています。REMOTE端子をご使用にになる場合は、カバーを留めている２本のネジを取り外してください。

㉙ RS-422端子

D-sub 9ピンのRS-422シリアルコントロール端子です。外部コントローラーなどを接続します。

メモ

RS-232C端子と同時には、使用できません。（ → 50ページ「RS-422タブ画面」）

㉚ RS-232C端子

D-sub 9ピンのRS-232Cシリアルコントロール端子です。外部コントローラーなどを接続します。

メモ

RS-422端子と同時には、使用できません。（ → 50ページ「RS-232Cタブ画面」）

㉛ PARALLEL端子

D-sub 25ピンのパラレルコントロール端子です。

外部コントローラーなどを接続します。

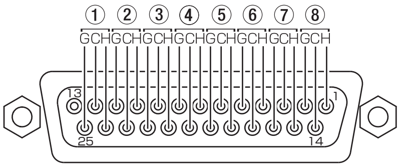
㉜ AC IN端子

付属の電源コードセットを接続します。

㉝ ANALOG OUTPUTS 1-8 端子

アナログバランスライン出力端子（D-sub 25ピン）です。

ピンアサインは、以下の通りです。



㉞ ANALOG OUTPUTS L/A ／ R/B 端子

アナログバランスライン出力端子A ／ B（XLRバランス）です（1：GND、2：HOT、3：COLD）。

内部でステレオにミックスされた信号、またはモニター信号（ソロ音声などを含む、PHONES端子出力と同じ音声）を出力します。

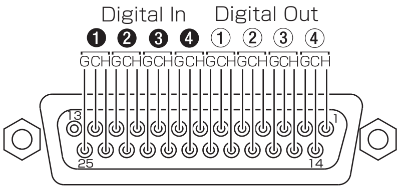
㉟ DIGITAL I/O（AES/EBU）1-8 端子

D-sub 25ピンのAES3-2003/IEC60958-4（AES/EBU）フォーマットのデジタルオーディオ入出力（1-8）端子です。

サンプリング周波数が88.2/96kHz時はダブルスピード、176.4/192kHz時はクワッドスピードでの転送になります。

デジタル入力部は、32k ～ 216kHzに対応したサンプリングレートコンバーターを搭載しています。

ピンアサインは、以下の通りです。



㊱ DIGITAL I/O（AES/EBU）A/B 端子

XLRバランスのAES3-2003/IEC60958-4（AES/EBU）フォーマットのデジタルオーディオ入出力（A ／ B）端子です。

サンプリング周波数が88.2/96kHz時はダブルスピード、176.4/192kHz時はクワッドスピードでの転送になります。

デジタル入力部は、32k ～ 216kHzに対応したサンプリングレートコンバーターを搭載しています。

デジタル出力部は、内部でステレオにミックスされた信号、またはモニター信号（ソロ音声などを含む、PHONES端子出力と同じ音声）を出力します。

㊲ SIGNAL GND端子

別売の専用リモートコントローラー（TASCAM RC-HS20PD）をご使用の際に周辺環境によっては、カラーディスプレーのちらつきやモニター音声へのノイズが発生する場合があります。この場合は、SIGNAL GND端子を用いてください。（SNGNAL GND端子に接続する線は、お客様でご用意ください）

㊳ CASCADE IN端子

カスケード接続の入力端子です。
（バージョンアップで対応予定）

㊴ CASCADE OUT端子

カスケード接続の出力端子です。
（バージョンアップで対応予定）

㊵ TIMECODE IN端子

BNCタイプのSMPTEタイムコード入力端子です。

㊶ TIMECODE OUT端子

BNCタイプのSMPTEタイムコード出力端子です。

㊷ WORD/VIDEO IN端子

BNCタイプのワードクロック、ビデオリファレンス信号入力端子です。ワードクロック信号（44.1k、48k、48k pull-down、48k pull-up、88.2k、96k、176.4k、192kHz）、ビデオリファレンス信号（NTSC/PALのブラックバースト信号、HDTV Tri-Level信号）を入力します。また、切り換えスイッチで75Ωのターミネート（終端）をするかどうかを選択できます。

㊸ WORD/VIDEO THRU/WORD OUT端子

BNCタイプのワードクロック（スルー／出力）、ビデオリファレンス信号スルー出力端子です。ワードクロック信号（スルー、もしくは、44.1k、48k、48k pull-down、48k pull-up、88.2k、96k、176.4k、192kHzの出力）、ビデオリファレンス信号（IN端子の信号をスルー）を出力します。

スルー／ワード出力の切り換えは、切り換えスイッチで行います。

㊹ 75Ω ON/OFF ／ THRU/WORD OUT切り換えスイッチ

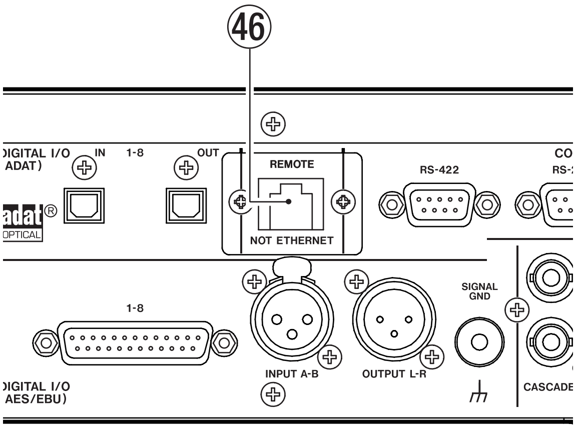
スイッチの選択で、以下の設定が行えます。

- WORD/VIDEO IN端子の終端抵抗（75Ω）の有無
- WORD/VIDEO出力のTHRU/OUT設定（OUTはWORDのみ）

㊺ ETHERNET端子

イーサネット端子です。ネットワーク接続し、ファイルの転送や、外部からの本機を制御するのに使用します。
（バージョンアップで対応予定）

REMOTE端子カバーを外した状態



㊻ REMOTE端子

別売の専用リモートコントローラー（TASCAM RC-HS20PD）を接続します。

注 意

イーサネット端子（LAN など）ではありませんので、絶対にイーサネットケーブルを使ってネットワークには、接続しないでください。本機やネットワーク機器の故障の原因となります。間違ってネットワークに繋がないために、工場出荷時にはこの端子にカバーがネジ止めされています。

PARALLEL端子について

リアパネルにある**PARALLEL**端子は、本機器を外部制御するためのパラレルコントロール端子です。
ピンアサインは、以下の通りです。

ピン番号	機能	In ／ Out
1	GND	
2	PLAY ／ Flash 1	In
3	STOP ／ Flash 2	In
4	RECORD ／ Flash 3	In
5	SKIP FWD ／ Flash 4	In
6	SKIP BWD ／ Flash 5	In
7	FLASH LOAD（STOP）	In
8	FADER START	In
9	FLASH Tally	Out
10	READY Tally	Out
11	RECORD Tally	Out
12	STOP Tally	Out
13	PLAY Tally	Out
14	REMOTE Select	In
15	PAUSE ／ Flash 6	In
16	CALL ／ Flash 7	In
17	AUX1 ／ Flash 8	In
18	AUX2 ／ Flash 9	In
19	AUX3 ／ Flash 10	In
20	Flash Page	In
21	Reserved	
22	CF1 Tally	Out
23	ONLINE Tally	Out
24	CF2 Tally	Out
25	+5V*	

In：コマンド入力、トランスポートコントロール用
　内部回路で、+5Vでプルアップ
　50msec.以上のローコマンドで動作

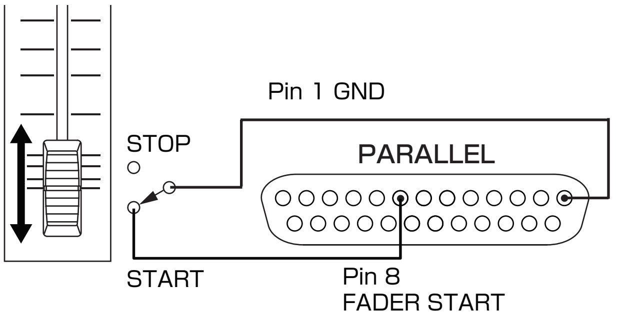
Out：コマンド出力、タリー出力用
　内部回路は、オープンコレクタ（出力インピーダンス：10Ω）
　動作時にローコマンドを出力
　耐圧20V、最大電流35mA

＊+5V：最大供給電流50mA

FLASH LOAD（STOP）（ピン7）は、停止時はFLASH LOADとして、再生時および一時停止時はSTOPとして機能します。
REMOTE Select（ピン14）がハイのときは、上の表で「／」で区切られた2つの機能が表示されている入力ピン（ピン2-6、およびピン15-19）は、前者の機能が有効になり、通常のパラレルコントローラーとして使用することができます。
ローのときは、上記の入力ピンがフラッシュスタートキーとして機能します。また、Flash Page（ピン20）のハイ／ローの状態によってキーアサインが、以下のようになります。

ピン14	ピン20	フラッシュスタートのテイク
ロー	ハイ	1～10
ロー	ロー	11～20

以下は、フェーダースタート／ストップによって本機の再生をコントロールする場合の接続例です。



AUX1-3（ピン17-19）の機能の割り当てについては、49ページ「リモート設定（REMOTE SETUP）」の「PARALLELタブ画面」をご参照ください。

RS-232C端子について

リアパネルにある**RS-232C**端子をパソコンのRS-232C端子と接続することにより、パソコンから本機の制御を行うことができます。
通信に関する設定は、**"REMOTE SETUP"** 画面の **"RS-232C"** タブ画面で行います。（→ 50ページ「RS-232Cタブ画面」）

メモ

本機のRS-232Cコマンドプロトコルについては、タスカム カスタマーサポートまでお問い合わせください。

RS-422端子について

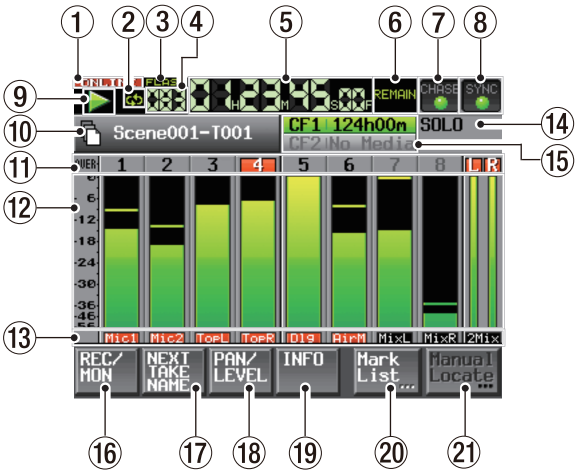
リアパネルにある**RS-422**端子をSONY P2プロトコル（RS-422)対応のコントローラーやエディターと接続することにより、外部から制御を行うことができます。
動作に関する設定は、**"REMOTE SETUP"** 画面の **"RS-422"** タブ画面で行います。（→ 50ページ「RS-422タブ画面」）

メモ

本機のプロトコルへの対応については、タスカム カスタマーサポートまでお問い合わせください。

ホーム画面

HOMEキーを押すと、ホーム画面を表示します。



[再生中のホーム画面]

① ONLINE状態表示

ONLINE　オンライン機能が有効で、オンライン再生モードがオンのときは、“ONLINE”アイコンが赤く点灯します。

ONLINE　オンライン機能が有効で、オンライン再生モードがオフの ときは、“ONLINE”アイコンは消灯します。

オンライン機能が無効なとき、“ONLINE”アイコンは表示されません。

② リピート状態表示

リピート再生がオンのときは、“ ”アイコンが緑色に点灯します。

リピート再生がオフのときは、“ ”アイコンは消灯します。

③ フラッシュスタート状態表示

FLASH　フラッシュスタート可能のときは、“FLASH”アイコンが緑色に点灯します。また、フラッシュスタート準備中のときは点滅します。

FLASH　フラッシュスタートが無効のときは、“FLASH”アイコンは消灯します。

④ テイク番号

現在選択されているテイクの通し番号を表示します。
この番号は、フォルダ内で録音された順につけられます。

⑤ タイムカウンター表示（ボタン）

現在の時間を、経過時間、または残り時間で表示します。
この部分を押すと、時間表示モードを切り換えます。

⑥ タイムモード表示（ボタン）

現在の時間表示モードをアイコン表示します。
この部分を押すと、時間表示モードを切り換えます。

テイク先頭からの経過時間を表示します。

REMAIN　テイクの終わりまでの残り時間、録音時は最大ファイルサイズまでの残り時間を表示します。

TOTAL　フォルダの先頭からの経過時間を表示します。

TOTAL REMAIN　フォルダの終わりまでの残り時間、録音時は現在の録音設定で、現在選択されているCFカードに録音できる残り時間を表示します。

T/C　録音・再生ファイルのタイムコード時刻を表示します。

⑦ タイムコード状態表示（ボタン／インジケーター）

TC　正しいタイムコードが入力され、入力タイムコードがタイムコードの内部設定値と一致しているときは、TCインジケーターが緑色に点灯します。

TC　入力タイムコードがタイムコードの内部設定値と一致していないときは、消灯します。

外部タイムコード同期再生時は 、同期再生状態表示となります。

CHASE　外部タイムコードと同期が取れているときは、“CHASE”インジケーターが緑色に点灯します。

外部タイムコード同期再生していないとき、または同期再生時に同期がとれていないときは、“CHASE”インジケーターが点滅します。

この部分を押すと、“SYNC T/C”画面を表示します。（→ 46 ページ「シンク、タイムコード設定（SYNC T/C)」）

⑧ オーディオ同期の状態表示（ボタン／インジケーター）

SYNC　マスタークロックに同期中、“SYNC”インジケーターが緑色に点灯します。

マスタークロックに同期していないときは、“SYNC”インジケーターが点滅します。

この部分を押すと、“SYNC T/C”画面を表示します。（→ 46 ページ「シンク、タイムコード設定（SYNC T/C)」）

⑨ トランスポートステータス表示

現在のトランスポートの状態をアイコン表示します。

再生時

再生待機時

停止時

早戻し時

早送り時

早戻し時（高速サーチ）

早送り時（高速サーチ）

×32　早戻し時（シャトル動作）表示の数値は、そのときの速度によりx2、x4、x8、x16、x32に変化します。

×32　早送り時（シャトル動作）表示の数値は、そのときの速度によりx2、x4、x8、x16、x32に変化します。

録音時

録音待機時

⑩ テイク名表示（ボタン）

現在呼び出しているファイルのモードのアイコンとテイク名を表示します。

ファイルモードのアイコンには、以下の2種類があります。

：モノフォニックモード

：ポリフォニックモード

この部分を押すと“PROJECT”画面（現在のプロジェクト／フォルダの選択画面）を表示します。（→ 34ページ「プロジェクト画面について」）

⑪ トラック番号表示

トラック番号は、録音可能な場合は黒、録音不可能な場合は灰色で表示されます。また、トラック番号部はオーバーロードインジケーターとなっており、オーバーロード時は赤くなります。L／R部は、リミッター機能により音量制御されているときは黄色くなります。

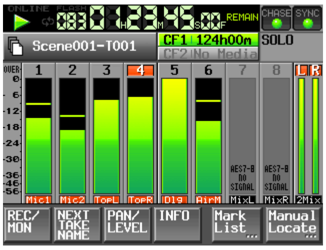
⑫ レベルメーター（ボタン）

インプットモニターがオン、または再生時以外でレコードファンクションがオンのトラックは、そのトラックの入力信号のレベルを表示します。

再生時でインプットモニターがオフのトラックは、再生レベルを表示します。

入力ソースにデジタル入力が選択されているときは、該当するデジタル入力に入力が無い場合、あるいは入力信号が内部設定と異なっている場合に、チャンネルメーター表示部が灰色表示となり、以下の表示をします（“x-x”はチャンネルを表す）。

表示	内容
“AESx-x NO SIGNAL”	入力信号がない場合
“ADAT NO SIGNAL”	入力信号がない場合
“AESx-x UNLOCK”	入力信号がシステムと同期していない場合
“ADAT UNLOCK”	入力信号がシステムと同期していない場合
“AESx-x NOT AUDIO”	入力信号のCbit情報が非オーディオの場合
“AESx-x NOT PRO”	入力信号のCbit情報がプロフェッショナルでない場合
“AESx-x Cbit ERROR”	入力信号のその他Cbit情報と実際の動作モードが違う場合



［“AESx-x NO SIGNAL”表示の場合］

レベルメーター部分を押すと、そのチャンネルのソロとなります。ソロになっているチャンネルのレベルメーター部とトラック番号のまわりが黄色のハイライト表示になります。

ソロ以外のチャンネルのレベルメーターは、網掛け表示になります。

レベルメーター表示は、“MENU” 画面内の“METER SETUP”メニュー画面で以下の設定が行えます。

- ピークホールド時間
- リリース時間
- オーバーロードインジケーター点灯レベル
- リファレンスレベル線表示のオン／オフ設定

⑬ トラック名表示、レコードファンクションおよびインプットモニターのインジケーター

レベルメーターの下部は、トラック名表示部（4文字以下）とレコードファンクションおよびインプットモニターのインジケーターになっています。レコードファンクションとインプットモニターの状態に応じて、背景表示は以下のようになります。

	REC OFF	REC ON
MON OFF	黒	赤
MON ON	青	赤／青

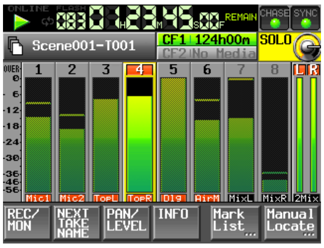
⑭ SOLO状態表示

どこかのチャンネルのソロがオンのときは、“SOLO”表示の背景が黄色くなり、“SOLO”つまみが表示されます。

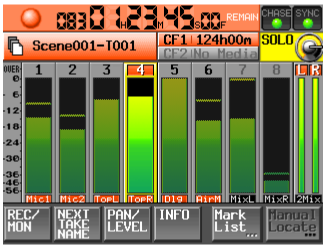
ソロ中にDATAダイヤルを回すと、ソロレベルを調節できます。

ソロになっているチャンネルのレベルメーター部とトラック番号のまわりは、黄色のハイライト表示になります。

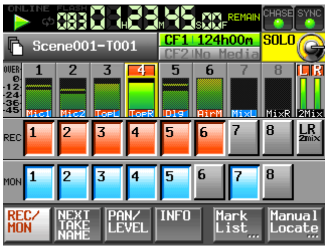
ソロ以外のチャンネルのレベルメーターは、網掛け表示になります。ソロチャンネルの選択は、レベルメーター部分を押します。



［ホーム画面、再生時］



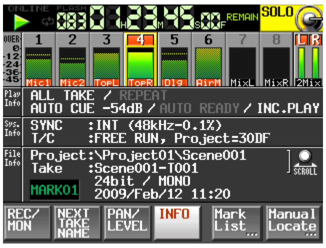
［ホーム画面、録音時］



［ホーム画面+【REC ／ MON】画面］

[ホーム画面+【NEXT TAKE NAME】画面]

[ホーム画面+【PAN ／ LEVEL】画面]



[ホーム画面+【インフォメーション】画面]

⑮ 記録メディア表示（ボタン）

現在使用中のCFカードスロットと、録音可能残り時間表示を行います。

使用中の記録メディア表示の背景は、再生中は緑、録音中は赤色表示になります。

CFカードスロットにメディアが装着されていない場合は、“No Media” と表示し薄い灰色になります。

該当CFカードにプロジェクト／フォルダが無い場合には、“NoProject” と表示します。未フォーマットのCFカード装着時は、“UNFORMAT” と表示します。

録音中に使用していない方のCFカードスロットにCFカードを装着した場合は、“UNMOUNT” と表示され、録音を停止すると通常の表示に更新されます。

フォルダ内の全エントリー数（ファイル、フォルダ等の総数）が約5000を超えたため録音ができなくなった場合には、“Rec Limit” と表示されます。詳細は、30ページ「録音動作での制約事項」を参照ください。

この部分を押すと、“CF SELECT” 画面を表示します。（ → 24ページ「CFカードの選択」）

⑯ REC/MONボタン

このボタンを押すと、レコードファンクションとインプットモニターの設定を行う【REC ／ MON】画面を表示します。

<レコードファンクションボタン>

レコードファンクションを設定します。

録音では、この設定をオンにしたトラックの音声が録音されます。また、この設定をオンにしたチャンネルには、停止中と録音動作中（録音および録音一時停止）に音声入力端子からの音声が入力されます。

<インプットモニターボタン>

インプットモニターの設定を行います。

この設定をオンにしたチャンネルには、常に音声入力端子からの音声が入力されます。

⑰ NEXT TAKE NAMEボタン

このボタンを押すと、次に録音するテイクの名前を設定する【NEXT TAKE NAME】画面を表示します。

● **テイク名の前半部**

テイク名の前半部は “User Word”、“Folder Name” の2種類から付けることができます。（初期値：“Folder Name”）

注 意

テイク名の前半部は、停止中のみ編集が可能です。

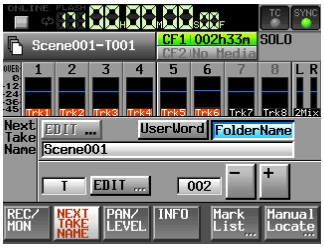
● **“User Word” モード（ボタン）**

テイク名前半部にユーザーワードを使用します。

ユーザーワードは、“EDIT” ボタンを押してユーザーワード編集画面に移動して行います。（プロジェクト名の編集画面と同様です）

● **“Folder Name”（フォルダ名）モード（ボタン）**

テイク名前半部にフォルダ名を使用します。



● **テイク名の後半部**

テイク名の後半部は、アルファベット 1 文字と 3 桁の数字で作られています。

アルファベット 1 文字は、“EDIT” ボタンを押して編集画面に移動して行います。

３桁の数字は、“ー” ボタンまたは “＋” ボタンを使って設定することができます。数字部を押すと黄色く反転し、DATAダイヤルで数字を変更することができます。

ソロ中は、数字部を選択できません。

以下の場合は “---” と表示され、数値の変更はできません。

- プロジェクト／フォルダがロードされていないとき
- 選択されたCFカードが無効のとき
- 現在のテイクのファイル名の数字部が999のとき

注 意

- “Next Take Name” の設定はプロジェクト毎に保存されるため、プロジェクトを変えた場合には、そのプロジェクトの設定に従います。
- テイク名後半部の数値部は、再生／録音中でも変更可能です。（テイク名の前半部と後半部のアルファベット部は、停止中のみ編集が可能です）

メ モ

- テイク名の前半部や後半部のアルファベット部が異なれば、後半部の数字3桁が同じテイクを作成できます。
- 録音待機状態にすると、ホーム画面のフォルダ／テイク名表示（ボタン）上に、次に録音するテイクのファイル名を表示します。

⑱ PAN/LEVELボタン

このボタンを押すと、2mix録音、および2mix出力用のミキシングを行う【PAN ／ LEVEL】画面を表示します。

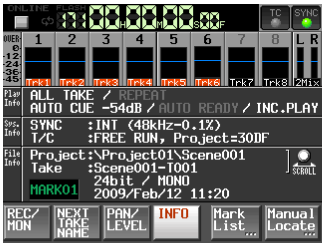
各チャンネルの “PAN” つまみ、“2Mix LVL” つまみを押すと、背景が白く反転し、DATAダイヤルを使って各パラメーターをコントロールすることができます。

チャンネルリンクしている場合の “PAN” つまみは、バランス調節つまみになります。

ソロ中は、“PAN” つまみ、“2Mix LVL” つまみは選択できません。

⑲ INFOボタン

このボタンを押すと、現在の本機の設定とロードされているファイルの情報を表示する【インフォメーション】画面を表示します。



“Play Info” 項目には、現在の再生関連設定の情報を表示します。項目が灰色で表示されている場合は、その項目がオフであることを示します。

この部分を押すと、“PLAY SETUP” 画面が表示されます。

“Sys. Info” 項目には、現在の本機の設定内容を表示します。この部分を押すと、“SYNC T/C” 画面が表示されます。

“File Info” 項目には、現在ロードされているファイルの情報を表示します。この部分を押すと、“PROJECT” 画面が表示されます。また、DATAダイヤルを使って、プロジェクト名とテイク名の表示をスクロールさせることができます。

メ モ

この画面のみ、ソロをオンにするとタイムコード表示およびオーディオ同期状態表示の位置に “SOLO” つまみが表示されます。

⑳ Mark Listボタン

このボタンを押すと、マークポイントのリストを表示します。

（ → 58ページ「マークポイントリスト画面」）

㉑ Manual Locateボタン

このボタンを押すと、マニュアルでのロケート画面（“MANUAL LOCATE” 画面）を表示します。（ → 61ページ「マニュアルロケート機能」）

CFカードを挿入する／取り出す

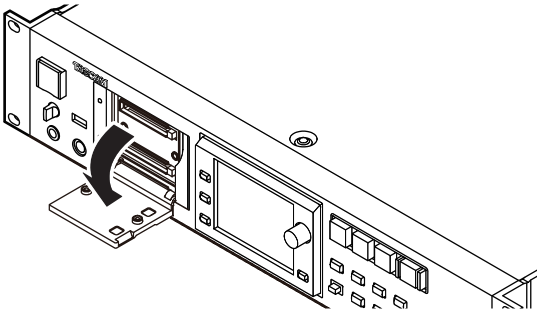
CFカードを挿入する

本機で録音／再生を行うには、フロントパネルのCFカード**SLOT 1**または**SLOT 2**にCFカードを挿入します。

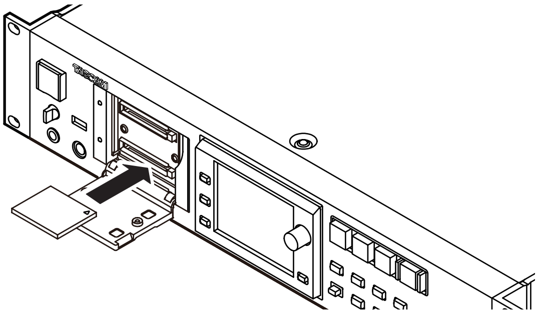
メモ

電源がオン／オフどちらのときもCFカードを挿入することができます。

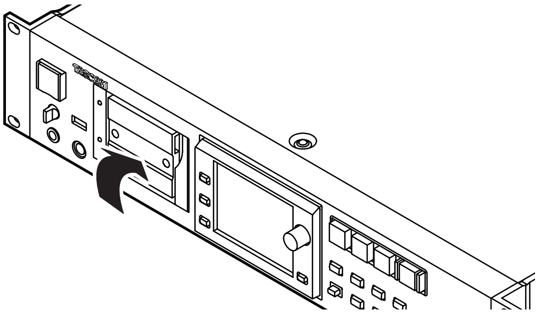
1. CFカードスロットのカバーを手前に引き開けます。



2. CFカードを正しい向きに挿入します。
ラベル面を上、端子部を奥にして挿入します。



3. カバーを閉じます。



メモ

CFカードスロットのカバーが閉まらない場合は、一度CFカードを抜き、CFカード挿入口の右にある四角ボタンを押し込んでから、再度CFカードを入れてください。

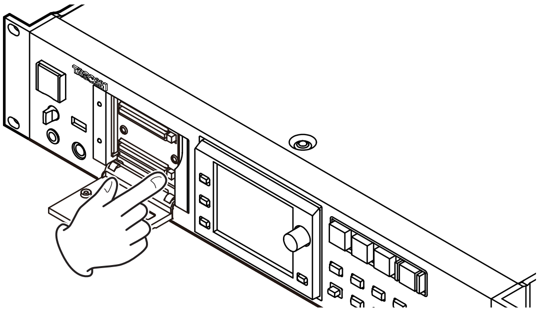
CFカードを取り出す

電源をオフにするか、動作を停止してから、CFカードを取り出します。

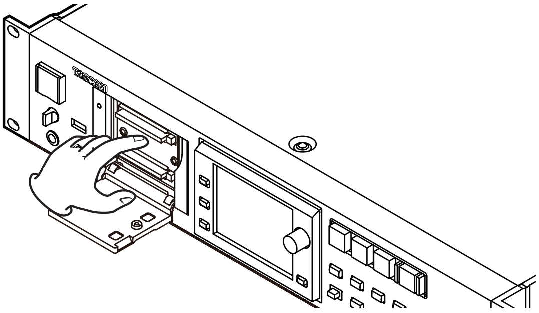
注意

本機が動作中（録音中、再生中、CFカードにデータを書き込み中など）は、絶対にCFカードを取り出さないでください。録音が正しく行われなかったり、録音したデータが破損したり、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になるなどの可能性があります。

1. CFカードスロットのカバーを手前に引き開けます。
2. CFカードスロットの右にある四角ボタンを押すと、ボタンが出てきます。

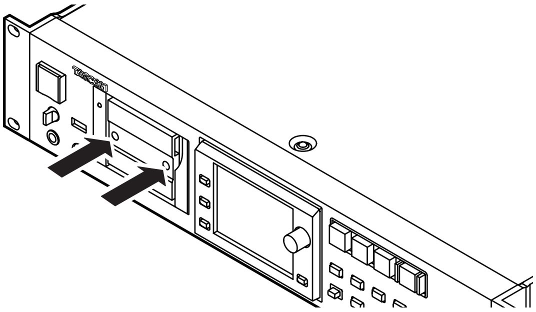


3. 出てきた四角ボタンを押し込むと、CFカードが一部排出されます。
4. 手でつまんでCF カードを引き出します。



セキュリティービスについて

付属のセキュリティービスを使ってCFカードスロットのカバーをロックすることができます。
セキュリティービスの取り付け／取り外しは、プラスドライバーを使って行ってください。



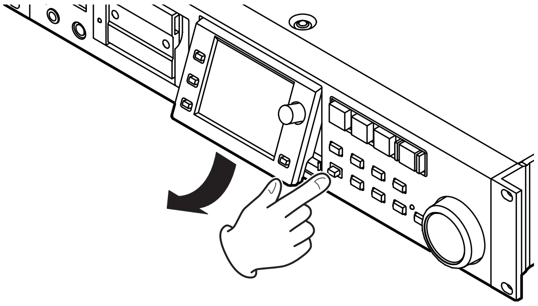
ディスプレーについて

ディスプレーの角度を調節する

LCD TILTボタンを押すと、ディスプレーのロック機構が外れますので、ディスプレーの下部を手前に引くことでディスプレーの角度を変えることができます。
カチッと音がするまでディスプレーの下部を引いてください。
元に戻すには、再度LCD TILTボタンを押すと、ディスプレーのロック機構が外れますので、ディスプレーの下の部分を押してください。カチッと音がするまでディスプレーの下部を押してください。

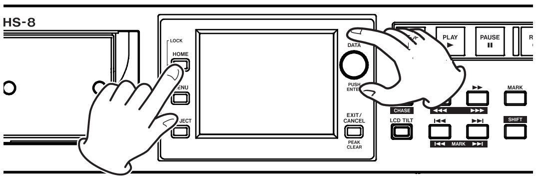
注 意

ディスプレー面は、押さないでください。



ディスプレーとインジケーターの輝度調節

HOMEキーを押しながらDATAダイヤルを回すとカラーディスプレーとPAUSEキー、RECキー、PLAYキー、JOG［SHUTTLE］インジケーター、SLOT 1およびSLOT 2インジケーターの輝度が調節できます。また、HOMEキーを押しながらDATAダイヤルを押し回しすると、カラーディスプレーのみの輝度が調節できます。



ディスプレーについての注意

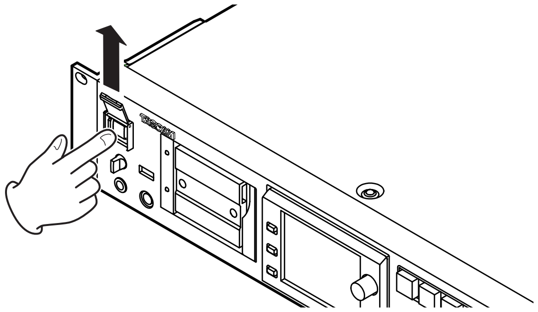
- ディスプレーは傷つきやすいので、先の固いもの（爪の先など）は使わず、必ず指で触れて操作してください。
- ディスプレーは指で強く押したり、ペンやつまようじなどの先の鋭い物で触れないでください。ディスプレーに傷が付く恐れがあります。また、故障の原因になります。
- ディスプレーのタッチパネル部は、フィルムとガラスで構成されています。表面に強い力を与えないでください。ガラスの破損の恐れがあります。
- ディスプレーの操作をするときは、パネル面に手を置いたり、ディスプレーの周囲を強く押さないでください。うまく位置検出ができない場合があります。
- ディスプレーの上に物を置くなど、長時間同じ位置に重量負荷をかけすぎないようにしてください。パネルのたわみ、位置検出に不具合が生じる場合があります。
- ディスプレーに市販の液晶画面保護フィルムは、使わないでください。正常に動作しないおそれがあります。
- ディスプレーは、ほこりの出ない乾いた柔らかい布（クリーニングクロスなど）で軽く拭きます。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると液晶の表面に傷が付く恐れがありますので注意してください。また、ベンジンやシンナー類、マニキュア除去液、アルコール類などは、使用しないでください。

メ モ

ディスプレーは、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、画素欠けや黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。

電源のオン／オフ

フロントパネルのPOWERスイッチ表面のカバーを開き、POWERスイッチを押します。



[起動画面]

[ホーム画面]

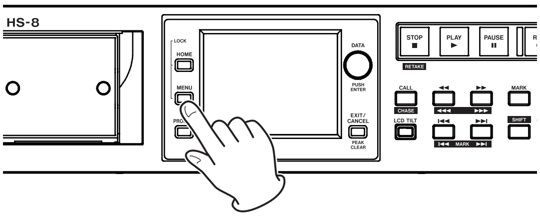
電源をオフにする場合は、フロントパネルのPOWERスイッチを再度押します。

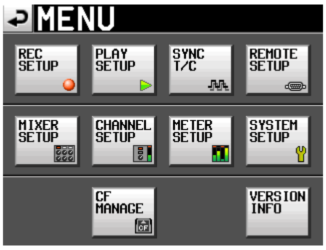
注 意

本機が動作中（録音中、再生中、CFカードにデータを書き込み中など）は、電源をオフにしないでください。録音が正しく行われなかったり、録音したデータが破損したり、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になるなどの可能性があります。

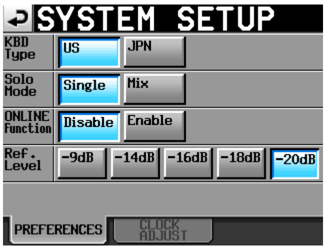
内蔵時計の時刻を設定する

1. フロントパネルのMENUキーを押して、“MENU”画面を表示します。

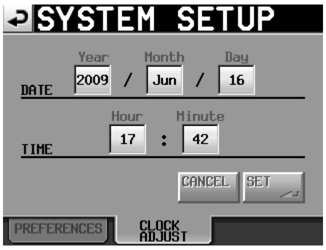




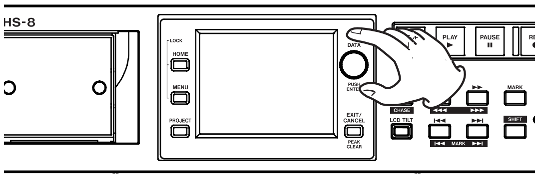
2. “SYSTEM SETUP”ボタンを押して、“SYSTEM SETUP”画面を表示します。



3. “CLOCK ADJUST”タブを押して、内蔵時計の“CLOCK ADJUST”タブ画面を表示します。



4. 変更したい項目を押して、フロントパネルのDATAダイヤルを回して値を変更します。



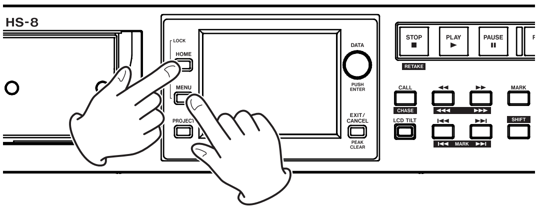
5. “SET”ボタンまたはDATAダイヤルを押して、確定します。

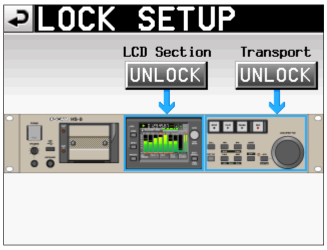
メ モ

購入後、最初の録音をする前にこの設定を行ってください。この設定を行わないと、録音ファイルのタイムスタンプが正しい状態になりません。

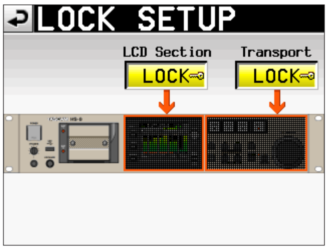
パネルロック機能

フロントパネルのHOMEキーを押しながらMENUキーを押して、**"LOCK SETUP"** 画面を表示します。この画面では、フロントパネルからの操作を受け付けなくするパネルロック機能のオン／オフを設定することができます。



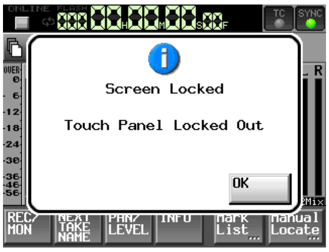


フロントパネルを2つのセクションに分け、それぞれにおいて、ロックするかどうかの設定ができます。
各セクションのボタンを押すと、ボタンが **"UNLOCK"**（非ロック状態）から黄色い背景の **"LOCK"** に変わり、該当部分が暗く表示されます。



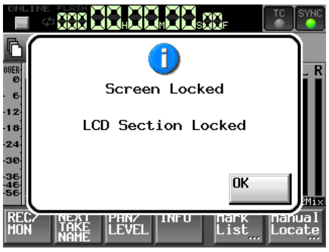
[LOCK SETUP　ロック状態]

- **"LCD Section"** のパネルロックをロックしたときにディスプレーにふれたときには、以下のメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。



[ディスプレー部（パネル）　ロック状態]

- ディスプレー周りのキー類を操作したときには、以下のメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。



[ディスプレー部（キー）　ロック状態]

- **"Transport"** のパネルロックをロックしたときに、トランスポートキーを操作すると以下のメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。

[トランスポート部　ロック状態]

録音時間について

各録音フォーマットにおけるCFカード容量別の録音時間を以下の表に示します。

書き込みファイルフォーマットと録音トラック数	CFカード容量		
	8GB	16GB	32GB
16ビット、44.1kHz、8トラック	3時間09分	6時間18分	12時間36分
16ビット、44.1kHz、8トラック+ステレオ	2時間31分	5時間02分	10時間05分
16ビット、48kHz、8トラック	2時間54分	5時間47分	11時間34分
16ビット、48kHz、8トラック+ステレオ	2時間19分	4時間38分	9時間16分
24ビット、44.1kHz、8トラック	2時間06分	4時間12分	8時間24分
24ビット、44.1kHz、8トラック+ステレオ	1時間41分	3時間22分	6時間43分
24ビット、48kHz、8トラック	1時間56分	3時間51分	7時間43分
24ビット、48kHz、8トラック+ステレオ	1時間33分	3時間05分	6時間10分
24ビット、88.2kHz、8トラック	1時間03分	2時間06分	4時間12分
24ビット、96kHz、8トラック	58分	1時間55分	3時間51分
24ビット、176.4kHz、4トラック	1時間03分	2時間06分	4時間12分
24ビット、192kHz、4トラック	58分	1時間56分	3時間51分

- 上記録音時間は目安です。ご使用のCFカードにより異なる場合があります。
- 上記録音時間は連続録音時間ではなく、CFカードに可能な録音合計時間です。

第４章　録音と再生

この章では、録音と再生を行う場合の基本的な操作方法を説明します。

本機のディスプレーは、タッチパネルとなっています。

本体のキー、スイッチおよびタッチパネルディスプレー上のボタンを操作してください。

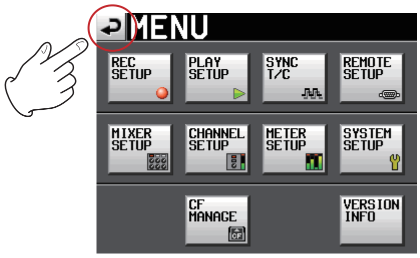
メモ

本機での最大録音トラック数は、サンプリング周波数が44.1kHzまたは48kHzの場合の8トラック+ステレオトラックとなります。

入力は、最大8チャンネルとなります。

ステレオトラックには、録音する8トラックの音を、ステレオミックスしたものを録音します。

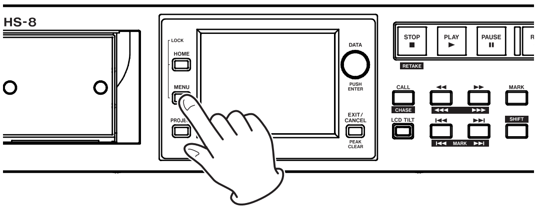
ホーム画面以外では、画面左上に“”ボタンがあります。このボタンを押すことにより、一つ前の画面に戻ることができます。

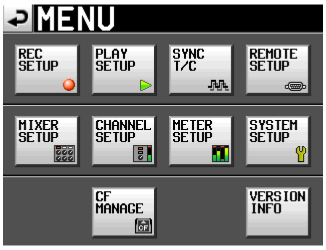


録音の準備をする

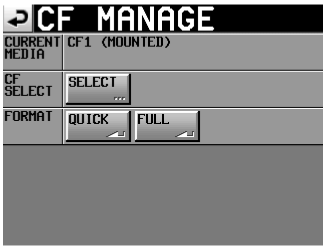
CFカードの選択

1. フロントパネルのMENUキーを押して、“MENU”画面を表示します。

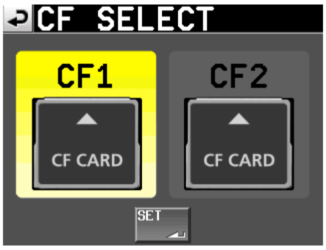




2. “CF MANAGE”ボタンを押して、“CF MANAGE”画面を表示します。



3. “CF SELECT”項目の“SELECT”ボタンを押して、“CF SELECT”画面を表示します。



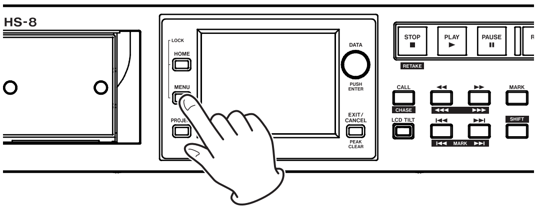
4. フォーマットするCFカードのボタンを押して、選択します。
選択されたCFカードのボタンの背景が黄色になります。
5. “SET”ボタンを押すと、“CF MANAGE”画面に戻ります。
6. 続けてCFカードをフォーマットを行う場合には、次節の「CFカードのフォーマット」の3.以降の手順に従ってCFカードをフォーマットしてください。

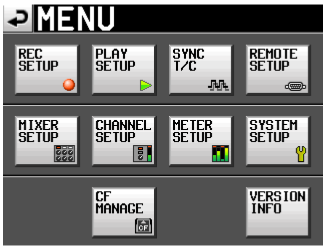
CFカードのフォーマット

注 意

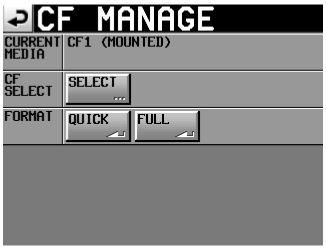
- フォーマットを行うと、カード上のデータは全て失われます。
- 必ず本機にてフォーマットを行ってください。他の機器、パソコン等でフォーマットしたCFカードを使用した場合は、動作に影響が出る場合があります。
- 本機でフォーマットした2GB以下のCFカードは、パソコンで確認すると、空き容量がゼロと認識され、ファイルやフォルダの書き込みができない場合があります。

1. フロントパネルの**MENU**キーを押して、“MENU”画面を表示します。





2. “CF MANAGE”ボタンを押して、“CF MANAGE”画面を表示します。

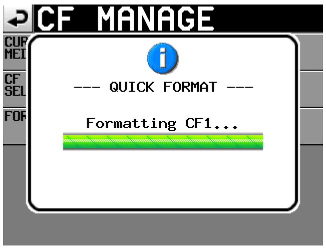


3. “FORMAT”項目の“QUICK”ボタンを押すと、以下のメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。

メ モ

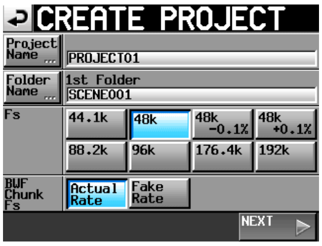
CFカードが装着されていない場合は、以下のメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。

4. ポップアップウィンドウ内の“OK”ボタンを押します。
フォーマット中は、以下のメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。



フォーマットが完了すると、以下のメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。

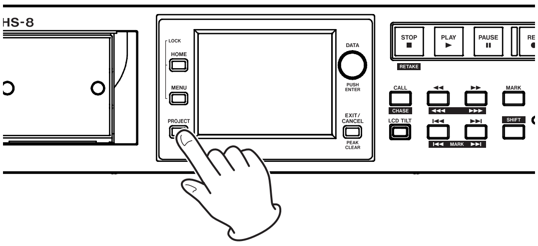
5. ポップアップウィンドウ内の“OK”ボタンを押します。
自動的に“CREATE PROJECT”画面が表示されます。



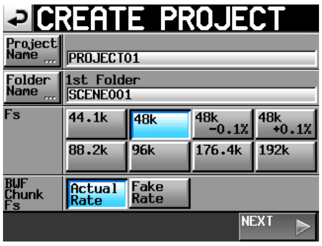
6. 次節の「新規プロジェクトの作成」の**2.**以降の手順に従ってプロジェクトを作成してください。

新規プロジェクトの作成

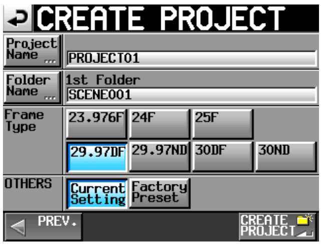
1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT”画面を表示します。



2. “CREATE PROJECT”ボタンを押して、“CREATE PROJECT”画面を表示します。
“CREATE PROJECT”画面は、2つの画面があります。



この画面では、プロジェクト名、最初に作るフォルダ名、サンプリング周波数、BWFチャンクに書き込むサンプリング周波数の設定を行います。
各設定項目の詳細は、35ページ「新規プロジェクトを作成する」をご参照ください。
“NEXT”ボタンを押して、次の画面を表示します。



次にフレームタイプの設定と、その他の設定を引き継ぐかの選択を行います。各設定項目の詳細は、35ページ「新規プロジェクトを作成する」をご参照ください。

3. 設定が終了したら、“CREATE PROJECT”ボタンを押します。

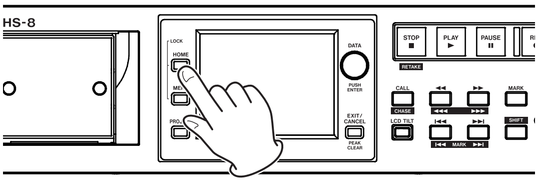
メモ

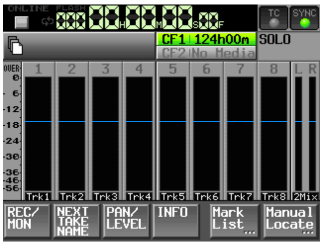
同じプロジェクト名のプロジェクトが存在する場合は、“CREATE PROJECT”ボタンが灰色表示になり、新規プロジェクトを作成することができません。この場合は、プロジェクト名を変更してください。

4. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。
設定内容を確認し、ポップアップウィンドウ内の“OK”ボタンを押します。
ホーム画面に戻ります。

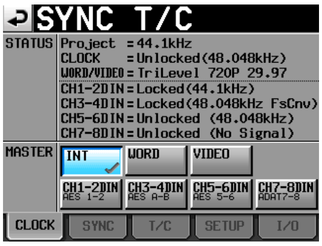
マスタークロックの設定

1. フロントパネルのHOMEキーを押して、ホーム画面を表示します。





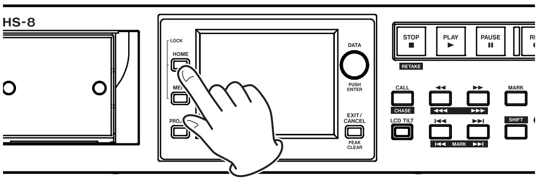
2. “SYNC”ボタンを押して、“SYNC T/C”画面を表示します。

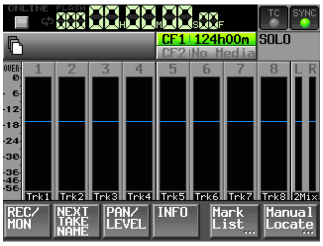


3. “MASTER”項目の中から使用するマスタークロックを選択します。

録音トラックの設定

1. フロントパネルのHOMEキーを押して、ホーム画面を表示します。





2. “REC/MON”ボタンを押して、【REC ／ MON】画面を表示します。

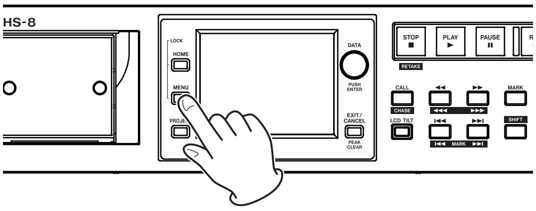
レベルメーターの下のレコードファンクションボタンを押して、録音したいトラックのレコードファンクションをオンにします。レコードファンクションがオンのときは、ボタンの背景が赤くなります。

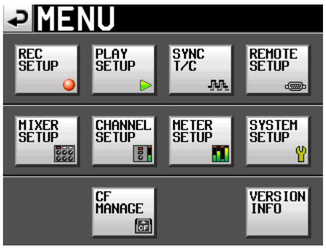
メモ

- 内部ミキサーでステレオミックスした音を同時に録音する場合は、“LR 2mix”のレコードファンクションをオンにします。（サンプリング周波数が44.1kHzまたは48kHzの場合のみ）
- MENUキーを押して“MENU”画面を表示し、“REC SETUP”ボタンを押して“REC TRACKS”タブ画面を表示することでも、レコードファンクションを設定することができます。

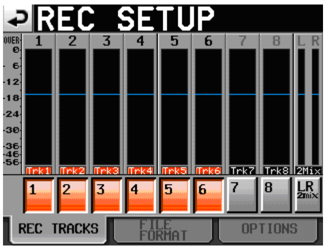
ファイルフォーマットの設定

1. フロントパネルのMENUキーを押して、“MENU”画面を表示します。

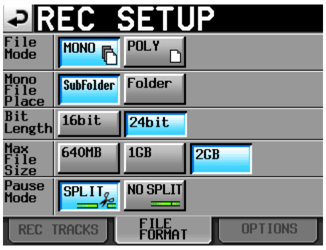




2. “REC SETUP”ボタンを押して、“REC SETUP”画面を表示します。



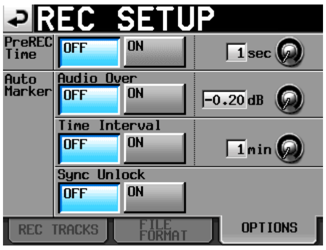
“FILE FORMAT”タブを押すと、以下の画面を表示します。



“FILE FORMAT”タブ画面では、ファイルモード、モノラルファイルの記録フォルダ、量子化ビット数、最大ファイルサイズ、録音を一時停止したときの処理方法を設定します。選択した項目の背景が薄青色になります。詳しくは、44ページ「FILE FORMATタブ画面」をご参照ください。

その他の録音設定

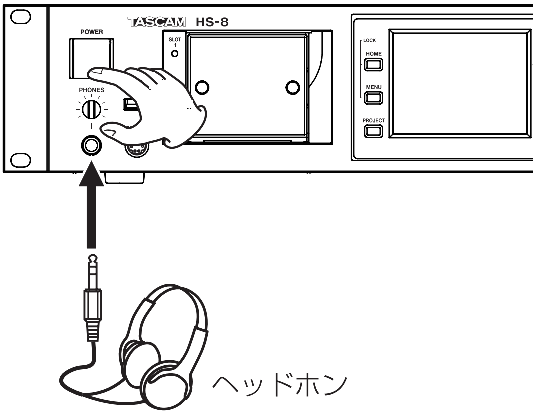
“OPTIONS” タブを押すと、以下の画面を表示します。



“OPTIONS” タブ画面では、プリレックタイム、オートマーカーの設定を行います。詳しくは、45ページ「OPTIONSタブ画面」をご参照ください。

ヘッドホンの接続

ヘッドホンをフロントパネルのPHONES端子に接続します。このときヘッドホンつまみは、まだMIN（左いっぱい）にしておいてください。

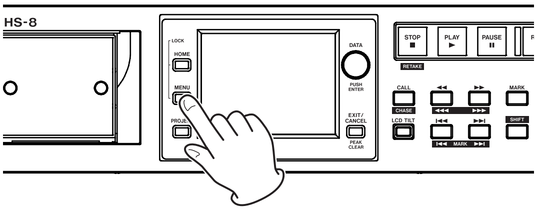


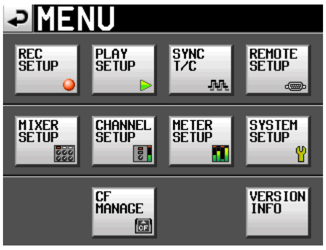
注 意

ヘッドホンを接続する前には、PHONESつまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

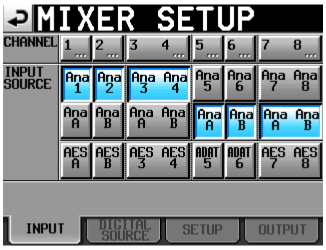
入力の設定

1. フロントパネルのMENUキーを押して、“MENU” 画面を表示します。





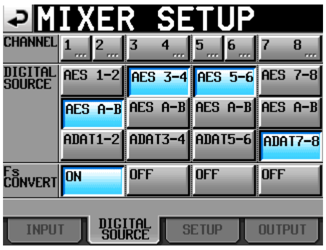
2. “MIXER SETUP” ボタンを押して、“MIXER SETUP” 画面を表示します。



“INPUT” タブ画面では、各チャンネルの入力ソースの設定を行います。詳しくは、51ページ「INPUTタブ画面」をご参照ください。

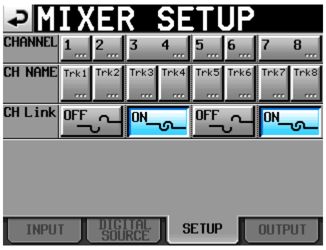
3. 必要に応じて、“DIGITAL SOURCE” タブ、“SETUP” タブまたは “OUTPUT” タブを押して、各設定を行います。

“DIGITAL SOURCE” タブ画面については、51ページ「DIGITAL SOURCEタブ画面」をご参照ください。

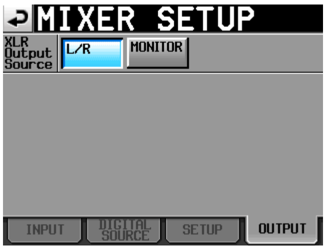


“SETUP” タブ画面では、チャンネル名の編集、チャンネルリンクのオン／オフの設定を行います。

チャンネル名の編集を行うには、“CH NAME” 項目にある各ボタンを押します。詳しくは、52ページ「CHx NAME（ボタン）」をご参照ください。

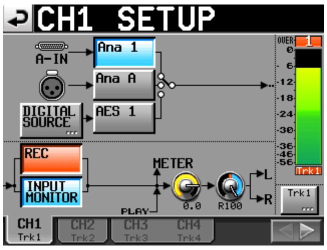


“OUTPUT” タブ画面では、出力の設定を行います。詳しくは、52ページ「OUTPUTタブ画面」をご参照ください。



入力の設定は、“CHx SETUP” 画面（“x” はチャンネルを表す）でもできます。この画面は、以下の2通りの方法で呼び出せます。

- “MENU” 画面で、“CHANNEL SETUP” ボタンを押します。
- “MIXER SETUP” 画面の一番上の “CHANNEL” ボタンを押します。

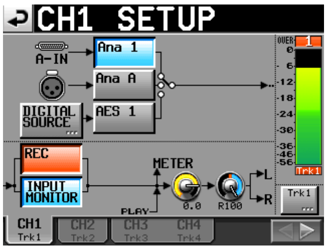


“CHANNEL SETUP” 画面での設定方法については、52ページ「チャンネル設定（CHANNEL SETUP）」をご参照ください。

入力のモニター

ホーム画面の “PAN/LEVEL” ボタンを押して表示される【PAN／LEVEL】画面、もしくは “CHx SETUP” 画面（“x” はチャンネルを表す）において、“PAN” つまみと “2Mix LVL” つまみを使って調節します。ここでミックスした音声を、ヘッドホンや外部スピーカーでモニターすることができます。
ソロ中は、“PAN” つまみ、“2Mix LVL” つまみは選択できません。

[ホーム画面+【PAN／LEVEL】画面]



[CHx SETUP画面]

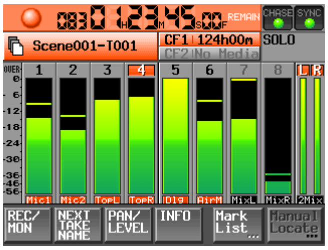
メ モ

サンプリング周波数が44.1kHzまたは48kHzの場合は、レベルつまみとパンポットつまみを使って調節された信号も一緒に録音することができます。

録音する

録音

RECキーを押すと、録音待機状態になります。
録音待機中にPLAYキーを押すと、録音を開始します。
ホーム画面において、画面左上のトランスポートステータス表示が録音表示に変わり、一部の背景が赤くなり、録音中であることを表示します。タイムカウンターも同時にスタートします。



録音中にRECキーを押すと、録音は継続したままですが、現在のファイルへの録音を停止し、新しいファイルへの録音を開始します。

注 意

- 録音開始から4秒未満でRECキーを押した場合には、次のテイクの録音を開始しません。MONOファイル記録フォルダ設定によっては、この時間はさらに長くなる場合があります。（→ 33ページ「モノフォニックモードでのファイル記録フォルダ」）
- 条件によって、録音中にRECキーを押した場合でも次のテイクの録音ができない場合があります。（→ 30ページ「録音動作での制約事項」）
- 以下の場合は、録音ができません。録音するフォルダを変更してください。
  - フォルダ内のテイク数が999個存在する。
  - テイク名の後半部分の数字が999に達している。
  - ホーム画面の録音可能残り時間表示が “Rec Limit” となっている。（→ 30ページ「録音動作での制約事項」）

メ モ

パラレルコントロールから録音を制御することも可能です（リテイクを除く）。

録音の停止

録音を終了するには、STOP [RETAKE] キーを押します。

リテイク

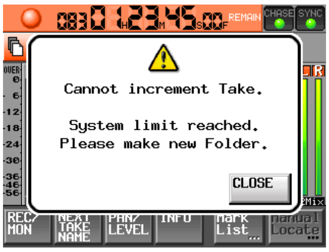
SHIFTキーを押しながらSTOP [RETAKE] キーを押すと、最終テイクの削除を行います。
２Mixテイクも同時に録音を行った場合は、２Mixテイクも同時に削除されます。
録音中にRECキーを押して複数テイクを続けて録音した場合は、録音を開始したテイクまで1テイクずつさかのぼってリテイクすることが可能です。

録音動作での制約事項

本機の特性として、１フォルダ内の全エントリー数（ファイル、フォルダ等の総数）が多くなるとそのフォルダでの録音に制約が発生します。このため、以下の様なことが発生することがあります。

● １フォルダ内の全エントリー数が約2000を超えた場合

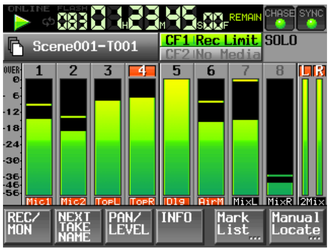
録音中に**REC**キーを押した際に、次のテイクの録音を開始できない場合があります。このとき、以下のポップアップメッセージが表示されます。



● １フォルダ内の全エントリー数が約5000を超えた場合

停止状態から新規テイクの録音ができない場合があります。また、プロジェクトやフォルダをロードした際に、そのフォルダへ録音できない場合があります。これらとき、以下のポップアップメッセージが表示されます。

また、これらの時にはホーム画面の現在選択されているCFカードの録音可能残り時間表示部に“**Rec Limit**”と表示されます。



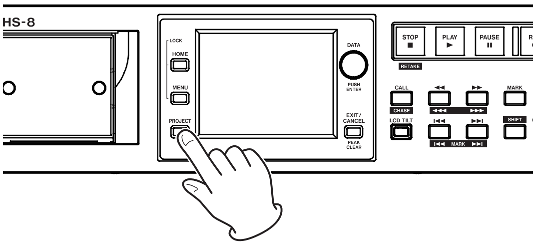
注 意

１フォルダ内の全エントリー数には、本機外で作成されたファイルやフォルダも含まれます。また、管理ファイルやシステムファイルなどの通常見えないファイルやフォルダも含みます。

再生する

プロジェクト／フォルダ／テイクの選択

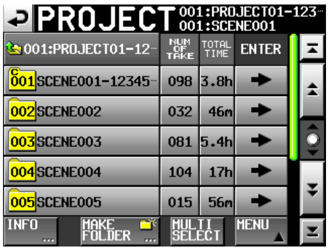
1. フロントパネルの**PROJECT**キーを押して、“**PROJECT**”画面を表示します。



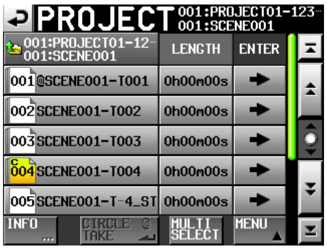
メ モ

ホーム画面のフォルダ／テイク名の部分を押すことで、“**PROJECT**”画面を呼び出すこともできます。

2. 再生したいプロジェクトの“→”ボタンを押して、フォルダ選択画面を表示します。

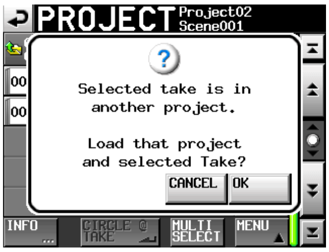


3. 再生したいフォルダの“→”ボタンを押して、テイク選択画面を表示します。



4. 再生したいテイクの“→”ボタンを押します。
現在選択されているプロジェクト内のテイクの場合は、ポップアップウィンドウに“**Load selected take?**”が表示されます。
現在選択されているプロジェクト外のテイクの場合は、ポップアップウィンドウに“**Selected take is in anotherproject.**”が表示されます。

[プロジェクト内のテイクの場合のメッセージ]



[プロジェクト外のテイクの場合のメッセージ]

5. “OK” ボタンを押します。
   ロードが完了すると、ホーム画面に戻ります。

インプットモニターの設定

再生するチャンネル（トラック）のインプットモニターは、オフに設定してください。インプットモニターがオンになっているチャンネルには、音声入力端子からの音声が入力されます。

1. ホーム画面の “REC/MON” ボタンを押して、【REC ／ MON】画面を表示します。
2. 再生するチャンネルのインプットモニターボタンを押して、インプットモニターをオフにします。

メモ

MENUキーを押して “MENU” 画面を表示し、“CHANNEL SETUP” ボタンを押して表示される “CHANNEL SETUP” 画面にあるインプットモニターボタンでも操作できます。

再生

PLAYキーを押します。
PAUSEキーを押すと、一時停止します。
一時停止を解除するには、PLAYキーを押します。
STOP [RETAKE] キーを押すと、停止します。
⏮ ／ ⏭ キーを押すと、テイクを切り換えます。
◀◀ [◀◀◀] キー／ ▶▶ [▶▶▶] キーを押している間は、早戻し／早送り再生をします。
SHIFTキーを押しながら⏮ [MARK ⏮] キーまたは⏭ [MARK ⏭]キーを押すと、マークポイントを移動します。
SHIFTキーを押しながら◀◀ [◀◀◀] キーまたは▶▶ [▶▶▶] キーを押している間は、高速サーチをします。

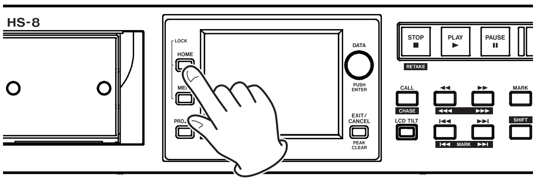
メモ

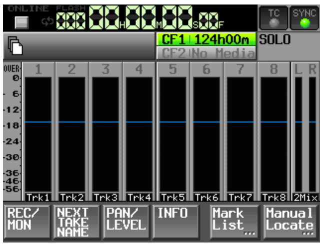
- “PLAY SETUP” 画面で、選択しているテイクのみを再生するか、現在のフォルダ内にある全てのテイクを再生するかの設定ができます。また､リピート再生のオン／オフの設定ができます。（→ 46ページ「再生設定（PLAY SETUP)」）
- PARALLEL端子から再生を制御することも可能です。

再生音のミキシング

内部ミキサー機能を使って、録音した素材をステレオにミックスし、ANALOG OUTPUTS L/A、R/B端子（XLR）、およびDIGITAL OUTPUT L-R端子（XLR）から出力することができます。

1. フロントパネルのHOMEキーを押して､ホーム画面を表示します。





2. ホーム画面の “PAN/LEVEL” ボタンを押して、【PAN ／ LEVEL】画面を表示します。

■ PANつまみ
ステレオバスに送る左右の定位を調節します。
このつまみを押し、DATAダイヤルを使って調節します。

■ 2Mix LVLつまみ
ステレオバスに送るレベルを調節します。
このつまみを押し、DATAダイヤルを使って調節します。

メモ

ソロ中は、“PAN” つまみ、“2Mix LVL” つまみは選択できません。

3. 操作したいつまみを押して、フロントパネルのDATAダイヤルを使って調節します。

ヒント

DATAダイヤルを押しながら回すと、1ステップの幅が大きくなります。大まかに調節するのに便利です。

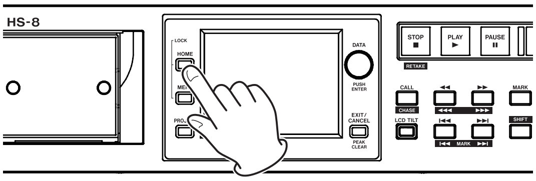
コール

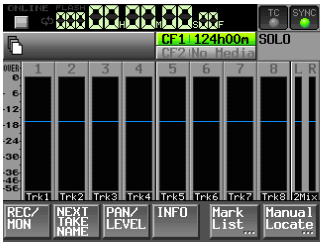
CALL [CHASE] キーを押すと、最後に再生待機状態から再生を開始したポイント（コールポイント）にロケートし、再生待機状態となります。

フラッシュスタート機能

フラッシュスタート機能を使って、あらかじめ登録しておいたテイクを瞬時に再生開始することができます。
最大20テイクの先頭部をあらかじめメモリーに取り込み、本機のタッチパネル、フロントパネルに接続したPS/2キーボード、または本機のリモート端子（REMOTE端子、RS-232C端子、PARALLEL端子）に接続した外部機器からの操作で、瞬時に再生を開始することができます。

1. 再生したいフォルダを選びます。（ → 39ページ「フォルダをロードする」）
2. フロントパネルのHOMEキーを押して、ホーム画面を表示します。





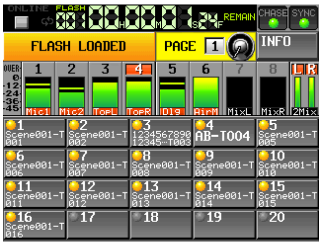
3. ホーム画面が表示されている状態で再度HOMEキーを押して、【フラッシュスタート】画面を表示します。

4. 再生したいテイクの含まれている【フラッシュスタート】画面をDATAダイヤルを使って選択します。

メモ

【フラッシュスタート】画面は“PAGE 1”～“PAGE 5”までであり、1ページに20テイク表示されます。

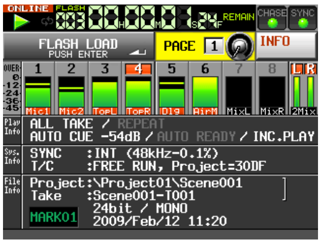
5. “FLASH LOAD”ボタンかDATAダイヤルを押して、テイクをロードします。ロード中は“FLASH”アイコンが点滅し、ロードが完了すると“FLASH”アイコンが緑色に点灯します。
6. 表示されている全てのテイクがロードされます。“FLASH LOAD”ボタンが、“FLASH LOADED”という表示に変わり背景がオレンジ色になります。このとき正しくロードされたテイクは、左上にオレンジ色のフラッシュスタートインジケーターが点灯します。



7. タッチパネルでオレンジ色のフラッシュスタートインジケーターが点灯しているテイクのボタンを押すと、フラッシュ再生ができます。また、本機に接続したPS/2キーボード、または本機のリモート端子（REMOTE端子、RS-232C端子、PARALLEL端子）に接続した外部機器からの操作でもフラッシュ再生ができます。

メモ

- フラッシュロードされていないテイクのボタンを押したときには、通常の再生ができます。
- “INFO”ボタンを押すと、【インフォメーション】画面を表示します。表示される内容は、ホーム画面で“INFO”ボタンを押したときに表示される【インフォメーション】画面と同様です。



注意

フラッシュスタート機能使用時には、ソロは使えません。（レベルメーター部を押しても、そのチャンネルをソロにすることはできません）
また、既にチャンネルがソロに設定されている場合には、【フラッシュスタート】画面に移動する際に自動でオフになります。

8. フラッシュスタート機能を解除したい場合、以下の方法で解除することができます。
   - プロジェクト、もしくはフォルダをロードする。
   - 録音待機状態にする、もしくは録音を行う。
   - 現在使用中のCFカードを取り出す。

オンライン機能

本機では、オンライン機能の設定を有効にする事により、オンライン再生およびモニター再生を切り換えて再生することができます。
オンライン機能の詳細については、63ページ「第9章 オンライン機能」をご参照ください。

プロジェクトについて

本機は、プロジェクト形式でオーディオファイルを管理します。
CFカードの中にはプロジェクトフォルダ群、プロジェクトフォルダの中にはテイクをまとめるためのフォルダ群、フォルダの中にテイクと呼ばれるオーディオファイル群があります。

プロジェクト

1つの番組、作品の全素材のかたまりです。

フォルダ

プロジェクト内の素材のかたまりです。

テイク

各フォルダで録音した素材です。

注 意

プロジェクト内のサンプリング周波数、タイムコードのフレームタイプは固定です。

ファイルフォーマットについて

本機で記録再生できるファイルフォーマットは、以下の通りです。

ファイルフォーマット

BWF

サンプリング周波数

44.1/48/47.952/48.048/88.2/96/176.4/192kHz
(47.952/48.048：48kHz±0.1% pull-down/pull-up)

量子化ビット数

16/24ビット

トラック数

8トラック（44.1/48/88.2/96kHz時）
8トラック + ステレオ（44.1/48kHz時）
4トラック（176.4/192kHz時）

ファイルモード

モノフォニック、ポリフォニック

モノフォニックモードとポリフォニックモード

モノフォニックモードでは、各トラックがそれぞれ独立したモノラルのBWFファイルとして録音されます。
ポリフォニックモードでは、複数のトラックが一つのまとまったBWFファイルとして録音されます。
ポリフォニックファイルに対応したオーディオアプリケーションなどにファイルを転送する際、複数のトラックをまとめてインポートすることができます。
2mixファイルは、常にポリフォニックファイル（ステレオファイル）で録音されます。

モノフォニックモードでのファイル記録フォルダ

モノフォニックモードでは、ファイルの記録位置（フォルダ）を以下の２つから選択できます。

● サブフォルダ（SubFolder）モード

プロジェクト下のフォルダにテイク毎のサブフォルダを作成し、そのサブフォルダにファイルを記録します。

● フォルダ（Folder）モード

プロジェクト下のフォルダに直接ファイルを記録します。

注 意

- フォルダモードを選択した場合には、フォルダに多くのファイルが作成されます。このため、一つのフォルダ内で録音できる最大テイク数が通常より大幅に少なくなる場合があります。
（ → 30ページ「録音動作での制約事項」）
- 録音中に**REC**キーを押して、次のテイクの録音を開始しようとする場合に、ポリフォニックモード、サブフォルダモードでは録音開始後4秒で次のテイクが録音できますが、フォルダモードの場合4 秒以上かかる場合があります。

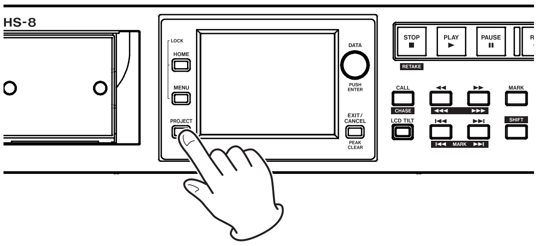
メ モ

出荷時は、サブフォルダに設定されています。

プロジェクト画面について

フロントパネルのPROJECTキーを押すと、“PROJECT”画面を表示します。

このとき、最後に表示した“PROJECT”画面（プロジェクト選択画面、フォルダ選択画面、テイク選択画面のどれか）を表示します。



プロジェクト選択画面

● **ディレクトリー表示**

現在のディレクトリー階層およびプロジェクト数を表示します。（上図の例は、CF1のルートディレクトリー、プロジェクト数は12個）

● **NUM OF FOLDER表示**

プロジェクトに含まれるフォルダ数を表示します。

● **Fs表示**

プロジェクトのサンプリング周波数を表示します。以下のサンプリング周波数については、省略表示されます。

サンプリング周波数	Fs省略表記
44.1kHz	44k
47.952kHz（48kHz−0.1% pull-down）	48k−
48.048kHz（48kHz+0.1% pull-up）	48k+
88.2kHz	88k
176.4k	176k

● **ENTERボタン**

該当するプロジェクトの“➞”ボタンを押すと、そのプロジェクトの中身を表示します。

● **プロジェクト名ボタン**

該当するプロジェクトを選択します。また、メディア内で作成された順につけられた通し番号が“002”アイコンの中に表示されます。

● **INFOボタン**

プロジェクトを選択した状態でこのボタンを押すと、選択されたプロジェクトの情報をポップアップウィンドウに表示します。

プロジェクトを選択していない状態でこのボタンを押すと、CFカード全体の情報を表示します。

● **CREATE PROJECTボタン**

新規プロジェクトを作成する画面を表示します。

● **MULTI SELECTボタン**

プロジェクトを複数選択できるモードにします。

● **MENUボタン**

“LOAD”、“REBUILD”、“EDIT NAME”、“DELETE”を選択するプルアップメニュー項目を表示します。

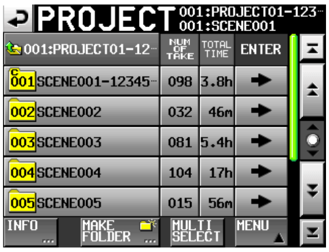
● **スクロールボタン**

プロジェクトリストの先頭、末尾、1ページ（5行）ずつのスクロールを行います。また、DATAダイヤルを使っても、1行ずつプロジェクトリストをスクロールすることができます。

● **画面右上のプロジェクト名／フォルダ名表示**

現在ロードされているテイクのテイク選択画面が表示されます。

フォルダ選択画面



● **プロジェクト名表示**

現在のプロジェクト名を表示します。

● **NUM OF TAKE表示**

フォルダに含まれるテイク数を表示します。

● **TOTAL TIME表示**

フォルダに含まれるテイクの合計時間を表示します。

● **ENTERボタン**

該当するフォルダの“➞”ボタンを押すと、そのフォルダの中身を表示します。

● **フォルダ名ボタン**

該当するフォルダを選択します。また、メディア内で作成された順につけられた通し番号が“002”アイコンの中に表示されます。

● **INFOボタン**

フォルダを選択した状態でこのボタンを押すと、選択されたフォルダの情報をポップアップウィンドウに表示します。

フォルダを選択していない状態でこのボタンを押すと、現在のプロジェクトについての情報を表示します。

● **MAKE FOLDERボタン**

新規フォルダを作成する画面を表示します。

● **MULTI SELECTボタン**

フォルダを複数選択できるモードにします。

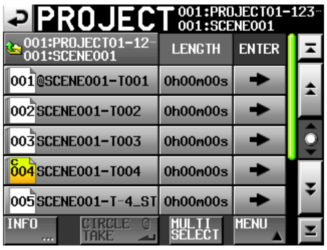
● **MENUボタン**

“LOAD”、“REBUILD”、“COPY”、“DELETE”を選択するプルアップメニュー項目を表示します。

● **スクロールボタン**
フォルダリストの先頭、末尾、1ページ（5行）ずつのスクロールを行います。また、DATAダイヤルを使っても、1行ずつフォルダリストをスクロールすることができます。

● **画面右上のプロジェクト名／フォルダ名表示**
この部分を押すと、現在ロードされているテイクのテイク選択画面が表示されます。

テイク選択画面



● **フォルダ名表示**
現在のフォルダ名を表示します。

● **LENGTH表示**
テイクの長さ（時間）を表示します。

● **ENTER表示**
該当するテイクの“→”ボタンを押すと、そのテイクをロードします。

● **テイク名ボタン**
該当するテイクを選択します。また、メディア内で作成された順につけられた通し番号が“001”アイコンの中に表示されます。

● **INFOボタン**
テイクを選択した状態でこのボタンを押すと、選択されたテイクの情報をポップアップウィンドウに表示します。
テイクを選択していない状態でこのボタンを押すと、現在のフォルダについての情報を表示します。

● **CIRCLE TAKEボタン**
選択したテイク名の先頭に“@”マークを追加／削除します。

● **MULTI SELECTボタン**
テイクを複数選択できるモードにします。

● **MENUボタン**
“LOAD”、“REBUILD”、“EDIT TC”、“DELETE”を選択するプルアップメニュー項目を表示します。

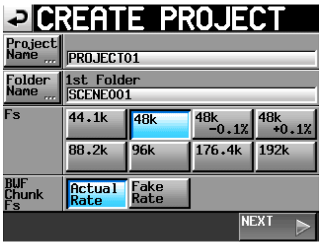
● **スクロールボタン**
テイクリストの先頭、末尾、1ページ（5行）ずつのスクロールを行います。また、DATAダイヤルを使っても、1行ずつテイクリストをスクロールすることができます。

プロジェクトの操作

新規プロジェクトを作成する

1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT”画面を表示します。

2. “PROJECT”画面の“CREATE PROJECT”ボタンを押して、“CREATE PROJECT”画面を表示します。
この画面には、2つの画面があります。



[CREATE PROJECT画面－1]

この画面では、次の設定を行います。

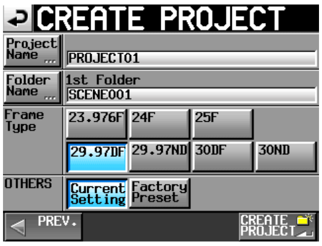
■ **Project Name**
“Project Name”ボタンを押すことにより、プロジェクト名を編集する画面を表示します。
プロジェクト名と以下のフォルダ名の最大文字数は、31文字です。32文字目以降は、切り捨てられます。

■ **Folder Name**
“Folder Name”ボタンを押すことにより、最初に作るフォルダ名を編集する画面を表示します。
“1st FOLDER”画面では、最大文字数以内の背景が黄色く表示されます。

■ **Fs**
プロジェクトのサンプリング周波数を設定します。
“48k−0.1%”ボタンはプルダウン、“48k+0.1%”ボタンはプルアップに対応したサンプリング周波数です。

■ **BWF Chunk Fs**
BWFチャンクに書き込むサンプリング周波数を設定します。実際のサンプリング周波数を書き込む場合は、“Actual Rate”ボタンを選択します。
プルダウン／プルアップ時に、48k −0.1% ／ +0.1%のサンプリング周波数ではなく、48kを書き込む場合は“Fake Rate”ボタンを選択します。

■ **NEXTボタン**
次の画面を表示します。



[CREATE PROJECT画面－2]

この画面では、次の設定を行います。

■ Frame Type

タイムコードのフレームタイプを設定します。

■ OTHERS

その他のプロジェクトの設定を、現在の設定値（“Current Setting”ボタン）にするか、工場出荷時の設定値（“Factory Preset”ボタン）にするかを選択します。

3. 設定が終了したら、“CREATE PROJECT”ボタンを押します。

メモ

同じプロジェクト名のプロジェクトが存在する場合は、“CREATE PROJECT”ボタンが灰色表示になり新規プロジェクトを作成することができません。この場合は、プロジェクト名を変更してください。

4. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、“OK”ボタンを押します。

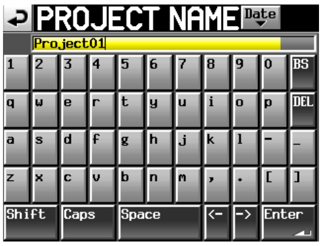
プロジェクトの作成が完了すると、ホーム画面に戻ります。

メモ

新規プロジェクトを作成直後は、作成したプロジェクトがカレントプロジェクト（現在ロード中のプロジェクト）となります。カレントプロジェクトは、“PROJECT”画面にてプロジェクト名の左にある“002”アイコンに“C”が表示されます。

プロジェクト名を編集する

1. “CREATE PROJECT”画面で、“Project Name”ボタンを押し、以下の“PROJECT NAME”画面を表示します。



■ Dateボタン

このボタンを押すと、プロジェクト名が“yyyy-mm-dd”形式の本体内蔵時計の日付に置換されます。

注意

同じプロジェクト名またはフォルダ名があるときは、“_”（アンダースコア）に加えてその時点で、存在しない番号が付加されます。

メモ

“Date”ボタンを押して名前を日付に置換した後も、この画面での名前の編集は行えます。

■ **プロジェクト名表示エリア**

入力したプロジェクト名を表示します。
最大文字数以内の背景が黄色く表示されます。

■ **キャラクターボタン**

プロジェクト名を入力します。

■ BSボタン

カーソルの手前の文字を削除します。

■ DELボタン

カーソルの後ろの文字を削除します。

■ Shiftボタン

数字／記号ボタンのキャラクターを切り換え、英字の大文字／小文字を切り換えます。

■ Capsボタン

英字を大文字にします。

■ Spaceボタン

スペースを挿入します。

■ **<－／－>ボタン**

カーソルを移動します。

■ Enterボタン

入力を確定します。

メモ

“PROJECT NAME”画面を表示しているときは、フロントパネルのKEYBOARD端子に接続した外部キーボードを使用して名前を入力することができます。

2. “PROJECT NAME”画面の“Enter”ボタンまたはDATAダイヤルを押して、プロジェクト名を確定します。

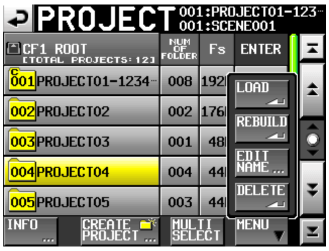
入力文字数制限について

プロジェクト名表示エリアでは、最大文字数以内の背景が黄色く表示されます。最大文字数を超えた部分の背景は灰色で表示され、“Enter”ボタンを押すと切り捨てられます。

後からプロジェクト名を変更する

1. “PROJECT”画面で、名前を編集したいプロジェクトを選択します。選択されたプロジェクト名の背景が黄色くなります。

2. “PROJECT”画面内の“MENU”ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。



3. プルアップメニュー項目内の“EDIT NAME”ボタンを押して、“PROJECT NAME”画面を表示します。

メモ

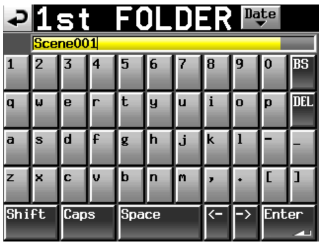
複数のプロジェクトを選択している場合は、プルアップメニュー項目内の“EDIT NAME”ボタン（プロジェクト名の編集）は選択できません。

4. プロジェクト名を入力します。入力方法は、上記と同じです。

5. “PROJECT NAME”画面の“Enter”ボタンまたはDATAダイヤルを押すとプロジェクト名を確定し、プロジェクト画面に戻ります。

最初に作るフォルダ名を編集する

“CREATE PROJECT”画面で、“Folder Name”ボタンを押し、以下の“1st Folder”画面を表示します。



名前の入力方法は、36ページ「プロジェクト名を編集する」と同じです。

メモ

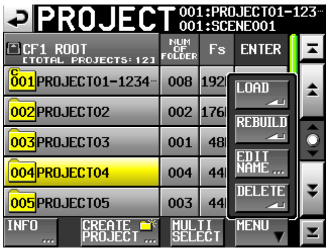
フォルダ名は、後から変更することはできません。

プロジェクトをロードする

1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT”画面を表示します。

2. ロードしたいプロジェクトを選択します。

3. “PROJECT”画面内の“MENU”ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。



4. プルアップメニュー項目内の“LOAD”ボタンを押します。

メモ

複数のプロジェクトを選択している場合は、“LOAD”（プロジェクトのロード）は選択できません。

5. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、“OK”ボタンまたはDATAダイヤルを押します。
ロードが完了すると、ホーム画面を表示します。

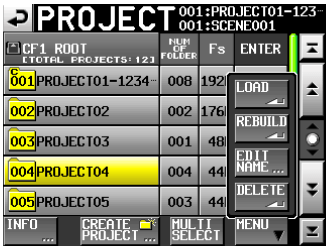
メモ

プロジェクトをロードした際は、最後にロードしたフォルダがロードされ、そのフォルダ内でテイク番号の一番大きなテイクがロードされます。

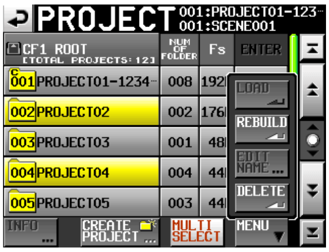
プロジェクトを再構築する

本機で録音していないデータを再生する場合（本機でフォルダコピーしたり、パソコンでCFカードのフォルダへコピーしたオーディオファイルを再生する場合）は、プロジェクトの再構築を行うことで、これらのファイルを本機で再生できるようになります。

1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT”画面を表示します。
2. 再構築したいプロジェクトを選択します。
   “PROJECT”画面の“MULTI SELECT”ボタンを押して、複数のプロジェクトを選択することもできます。
3. “PROJECT”画面内の“MENU”ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。



[1つのプロジェクトを選択した場合]



[複数のプロジェクトを選択した場合]

4. プルアップメニュー項目内の“REBUILD”ボタンを押します。
5. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、“OK”ボタンまたはDATAダイヤルを押します。

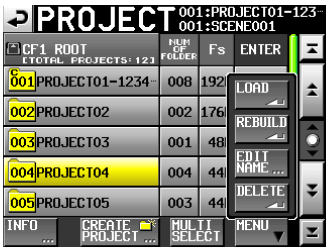
再構築中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。再構築が完了すると、ポップアップウィンドウが消えます。

メモ

“PROJECT”画面において、何も選択しない状態で再構築を実行すると、選択されたCFカード全体を再構築します。

プロジェクトを削除する

1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT”画面を表示します。
2. 削除したいプロジェクトを選択します。
   “PROJECT”画面の“MULTI SELECT”ボタンを押して、複数のプロジェクトを選択することもできます。
3. “PROJECT”画面内の“MENU”ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。



4. プルアップメニュー項目内の“DELETE”ボタンを押します。
5. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、“OK”ボタンまたはDATAダイヤルを押します。

削除中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。削除が完了すると、ポップアップウィンドウが消えます。

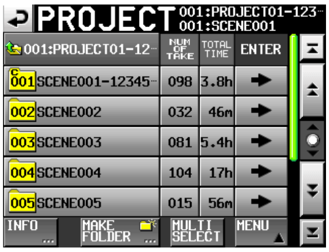
注 意

プロジェクトを削除すると、プロジェクトに含まれる全てのフォルダとテイクも削除されます。

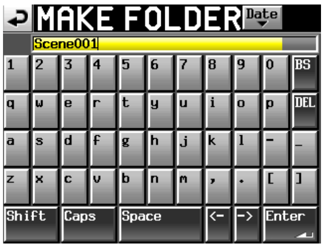
フォルダの操作

新規フォルダを作成する

1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT”画面を表示します。
2. 新規フォルダを作成するプロジェクトの“➞”ボタンを押して、フォルダ選択画面を表示します。



3. “MAKE FOLDER”ボタンを押して、フォルダ名を入力する“MAKE FOLDER”画面を表示します。



フォルダ名入力方法は、36ページ「プロジェクト名を編集する」と同じです。

メ モ

フォルダ名の先頭に“@”は使えません。

4. “Enter”ボタンまたはDATAダイヤルを押します。
5. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、“OK”ボタンまたはDATAダイヤルを押して、フォルダ名を確定します。

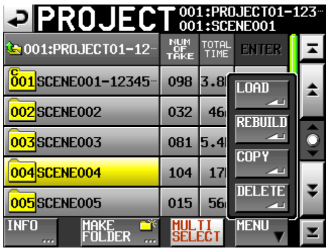
フォルダ作成中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。
フォルダの作成が完了すると、ポップアップウィンドウが消えます。

メ モ

新規フォルダ作成直後は、作成したフォルダがカレントフォルダ（現在ロード中のカレントフォルダ）になります。
カレントフォルダは、“PROJECT”画面にて、フォルダ名の左にある“002”アイコンに“C”が表示されます。

フォルダをロードする

1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT”画面を表示します。
2. ロードしたいフォルダを含むプロジェクトの“➞”ボタンを押して、フォルダ選択画面を表示します。
3. ロードしたいフォルダを選択します。
4. “PROJECT”画面内の“MENU”ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。



5. プルアップメニュー項目内の“LOAD”ボタンを押します。
6. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、“OK”ボタンまたはDATAダイヤルを押します。

ロードが完了すると、ホーム画面を表示します。

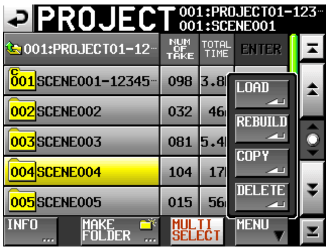
メ モ

フォルダ名の左にある“002”アイコンに“C”が表示されたフォルダが、カレントフォルダ（現在ロード中のカレントフォルダ）です。

フォルダを再構築する

本機で録音していないデータを再生する場合（本機でフォルダをコピーしたり、パソコンでCFカードのフォルダへコピーしたオーディオファイルを再生する場合）は、フォルダの再構築を行うことで、これらのファイルを本機で再生できるようになります。

1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT”画面を表示します。
2. 再構築したいフォルダを含むプロジェクトの“→”ボタンを押して、フォルダ選択画面を表示します。
3. 再構築したいフォルダを選択します。
   “MULTI SELECT”ボタンを押して、複数のフォルダを選択することもできます。
4. “PROJECT”画面内の“MENU”ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。



5. プルアップメニュー項目内の“REBUILD”ボタンを押します。
6. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、“OK”ボタンまたはDATAダイヤルを押します。

再構築中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。再構築が完了すると、ポップアップウィンドウが消えます。

メモ

再構築したいフォルダのテイク選択画面でも、フォルダを再構築することができます。

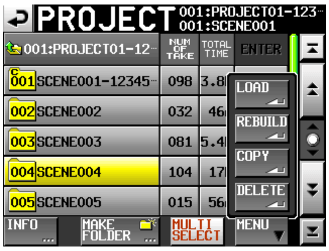
フォルダをコピーする

コピーはCF1からCF2に、またはCF2からCF1に行います（CFカードが2枚必要です）。フォルダのコピーをすると、コピー先にも同じディレクトリー構造を作ります。

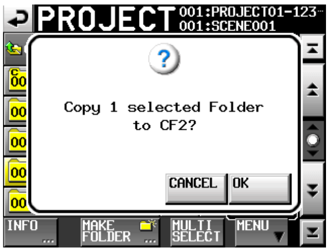
注意

- コピーしたフォルダを本機で再生する場合は、プロジェクトの再構築、またはフォルダの再構築をしてください。
- プロジェクト内にサンプリング周波数の異なるフォルダをコピーすると、フォルダの再構築ができなくなります。

1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT”画面を表示します。
2. コピーしたいフォルダを含むプロジェクトの“→”ボタンを押して、フォルダ選択画面を表示します。
3. コピーしたいフォルダを選択します。
   “MULTI SELECT”ボタンを押して、複数のフォルダを選択することもできます。
4. “PROJECT”画面内の“MENU”ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。



5. プルアップメニュー項目内の“COPY”ボタンを押します。
6. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、“OK”ボタンまたはDATAダイヤルを押します。



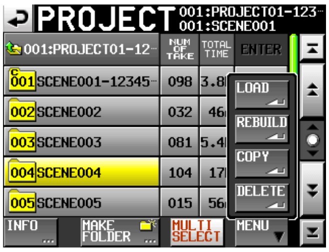
コピー中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。コピーが完了すると、ポップアップウィンドウが消えます。

メモ

コピー先のCFカードに同名のフォルダがあった場合は、上書き確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。“OK”ボタンまたはDATAダイヤルを押すと、上書きコピーします。

フォルダを削除する

1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT”画面を表示します。
2. 削除したいフォルダを含むプロジェクトをの“→”ボタンを押して、フォルダ選択画面を表示します。
3. 削除したいフォルダを選択します。
   “MULTI SELECT”ボタンを押して、複数のフォルダを選択することもできます。
4. “PROJECT”画面内の“MENU”ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。



5. プルアップメニュー項目内の“DELETE”ボタンを押します。
6. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、“OK”ボタンまたはDATAダイヤルを押します。

削除中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。削除を完了すると、ポップアップウィンドウが消えます。

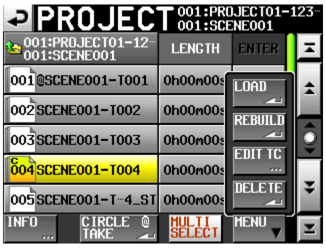
注 意

フォルダを削除すると、フォルダに含まれる全てのテイクも削除されます。

テイクの操作

テイクをロードする

1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT”画面を表示します。
2. ロードしたいテイクを含むプロジェクトの“→”ボタンを押して、フォルダ選択画面を表示します。
3. ロードしたいテイクを含むフォルダの“→”ボタンを押して、テイク選択画面を表示します。
4. ロードしたいテイクを選択します。
5. “PROJECT”画面内の“MENU”ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。



6. プルアップメニュー項目内の“LOAD”ボタンを押します。

メ モ

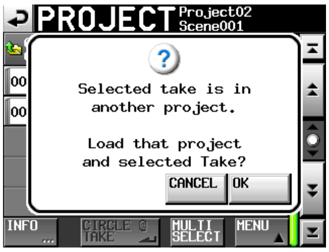
ロードしたいテイクの“→”ボタンを押しても、テイクをロードすることができます。

7. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、“OK”ボタンまたはDATAダイヤルを押します。

ロードが完了すると、ホーム画面を表示します。

注 意

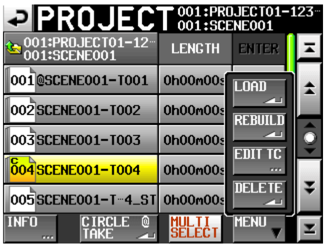
現在選択されているプロジェクト外のテイクをロードする場合は、ポップアップウィンドウに“Selected take is in another project.”が表示されます。



プロジェクトを切り換えたうえでロードしても良い場合には、“OK”ボタンまたはDATAダイヤルを押してください。プロジェクト、フォルダを切り換えたうえでテイクがロードされます。

テイクを削除する

1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT”画面を表示します。
2. 削除したいテイクを含むプロジェクトの“→”ボタンを押して、フォルダ選択画面を表示します。
3. 削除したいテイクを含むフォルダの“→”ボタンを押して、テイク選択画面を表示します。
4. 削除したいテイクを選択します。
   “MULTI SELECT”ボタンを押して、複数のテイクを選択することもできます。
5. “PROJECT”画面内の“MENU”ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

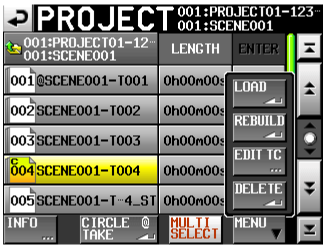


6. プルアップメニュー項目内の“DELETE”ボタンを押します。
7. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、“OK”ボタンまたはDATAダイヤルを押します。

削除中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。削除が完了すると、ポップアップウィンドウが消えます。

テイクのスタートタイムを編集する

1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT”画面を表示します。
2. スタートタイムを編集したいテイクを含むプロジェクトの“→”ボタンを押して、フォルダ選択画面を表示します。
3. スタートタイムを編集したいテイクを含むフォルダの“→”ボタンを押して、テイク選択画面を表示します。
4. スタートタイムを編集したいテイクを選択します。
5. “PROJECT”画面内の“MENU”ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。



6. プルアップメニュー項目内の“EDIT TC”ボタンを押して、“EDIT TAKE T/C”画面を表示します。
7. “EDIT TAKE T/C”画面の“FRAME EDIT”ボタンでフレーム値まで入力するかどうかを設定します。

[フレームエディットオン状態]

[フレームエディットオフ状態]

8. 数字ボタンを使って、テイクのスタートタイムを入力します。
   - 入力する桁を選択せずに入力すると、最下位桁から順に入力します。
   - 入力する桁を選択する場合は、その桁を押し、背景を黄色く反転させ、数字ボタンもしくはDATAダイヤルを使って、2桁ずつ入力します。
   - “CLEAR”ボタンを押すと、入力値が全てゼロクリアされます。
9. “ENTER”ボタンを押して、確定します。

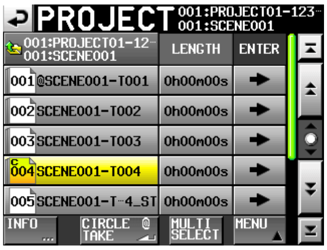
ヒント

PS/2キーボードを使っての編集も可能です。
PS/2キーボードのESCキーを押すと、ゼロクリアします。

10. 確認のポップアップウィンドウが表示されますので、“OK”ボタンまたはDATAダイヤルを押します。

テイク名に@を付ける／削除する

テイクを選択し、“CIRCLE TAKE”ボタンを押すと、テイク名の先頭に“@”を付けたり、削除したりすることができます。



ヒント

OKテイクに“@”を付けるなどの運用ができます。

注意

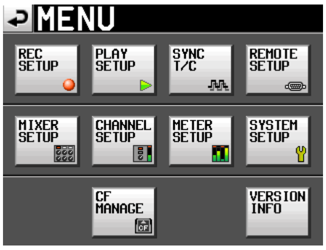
テイク名を編集することはできません。

第６章　内部設定詳細

この章では、内部設定の詳細を説明します。

メニュー画面

フロントパネルのMENUキーを押すと、以下の“MENU”画面を表示します。



REC SETUPボタン

録音の設定を行います。

PLAY SETUPボタン

再生の設定を行います。

SYNC T/Cボタン

同期およびタイムコード関連の設定を行います。

REMOTE SETUPボタン

外部リモコンの設定を行います。

MIXER SETUPボタン

ミキサーの設定を行います。

CHANNEL SETUPボタン

各チャンネルの設定を行います。

METER SETUPボタン

レベルメーターの設定を行います。

SYSTEM SETUPボタン

システムの設定を行います。

CF MANAGEボタン

CFカードの操作をします。

VERSION INFOボタン

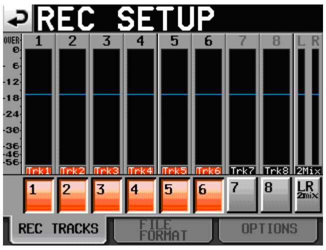
システムのバージョンを表示します。

録音設定（REC SETUP）

“REC SETUP”画面には、“REC TRACKS”タブ画面、“FILE FORMAT”タブ画面、“OPTIONS”タブ画面の3つのタブ画面があります。
画面下のタブで、タブ画面を選択します。

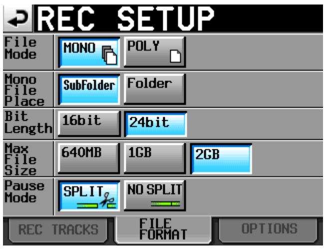
REC TRACKSタブ画面

レベルメーターの下のレコードファンクションボタンを押して、録音するトラックをオン、録音しないトラックをオフにします。
レコードファンクションがオンのときは、ボタンの背景が赤くなります。（初期設定状態：全てオフ（ボタンが押されていない状態））



FILE FORMATタブ画面

ファイルフォーマットの設定を行います。



File Mode

録音するファイルモードを下記のボタンから設定します。

MONOボタン（初期値）：
各トラックをモノラルのファイルとして扱います。

POLYボタン：
複数のトラックをひとまとめにしたファイルとして扱います。

Mono File Place

“File Mode”で“MONO”を選択した際の、音声ファイルの記録フォルダを下記のボタンから設定します。

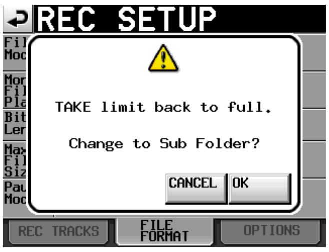
SubFolder（サブフォルダ）ボタン（初期値）：
フォルダ直下に作成されたテイク毎のサブフォルダに、音声ファイルを記録します。

Folder（フォルダ）ボタン：
フォルダ直下に音声ファイルを直接記録します。

注 意

- どちらのモードでも、フォルダ直下にテイク毎のサブフォルダが作成され、サブフォルダ内に管理ファイルが生成されます。
- フォルダモードを選択した場合には、一つのフォルダ内で録音できる最大テイク数が通常より大幅に少なくなる場合があります。このため、フォルダモードを切り換える場合には、フォルダモード選択時にはテイク数の上限値が引き下げられる旨のポップアップウィンドウが表示されます。

またサブフォルダモード選択時には、上限値が最大に戻る旨のポップアップウィンドウが表示されます。



- フォルダモードを選択した場合には、フォルダに多くのファイルが作成されます。このため、一つのフォルダ内で録音できる最大テイク数が通常より大幅に少なくなる場合があります。
  （→ 30ページ「録音動作での制約事項」）
- 録音中にRECキーを押して、次のテイクの録音を開始しようとする場合に、ポリフォニックモード、サブフォルダモードでは録音開始後4秒で次のテイクが録音できますが、フォルダモードの場合4 秒以上かかる場合があります。

Bit Length

録音するファイルの量子化ビット数を下記のボタンから設定します。

設定ボタン：“16bit”、“24bit”（初期値）

Max File Size

録音するファイルの最大サイズを下記のボタンから設定します。

設定ボタン：“640MB”、“1GB”、“2GB”（初期値）

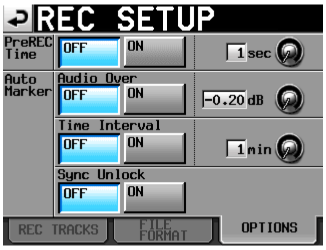
Pause Mode

録音一時停止時にファイルを分割するかどうかを下記のボタンから設定します。

設定ボタン：“SPLIT”（初期値）、“NO SPLIT”

OPTIONSタブ画面

プリレック、オートマーカーの設定を行います。



PreREC Time

プリレック動作のオン／オフの設定とプリレック動作時間を設定します。（初期値：“OFF”）

“PreREC Time” の設定が “ON” のときは、録音待機中に入力される信号を設定した時間内部メモリーに取り込みを行い、録音開始時に最大5秒前から録音することができます。

プリレックタイムの設定は、つまみの部分を押し、DATAダイヤルを使って行います。

設定値：“1” 秒～ “5” 秒（初期値：“2” 秒）

Auto Marker

オートマーカーの設定を行います。

● Audio Over：

オーディオレベルを検知してマークポイントを付けます。

設定したレベルを超えた場合に、マークポイントを付けます。

機能のオン／オフと検知するレベルを設定します。

（初期値：“OFF”）

レベルの設定は、つまみの部分を押し、DATAダイヤルを使って行います。

設定値：“−0.20dB”（初期値）、“−0.17dB”、“−0.13dB”、“−0.10dB”、“−0.06dB”、“−0.03dB”

ここでの設定は、“METER SETUP” 画面の “Over Level” 設定にも反映されます。

● Time Interval：

一定時間ごとにマークポイントを付けます。機能のオン／オフと時間を設定します。（初期値：“OFF”）

時間の設定は、つまみの部分を押し、DATAダイヤルを使って行います。設定値は、“1” 分～ “10” 分です。（初期値：“5” 分）

● Sync Unlock：

マスタークロックとの同期が外れたときにマークポイントを付けます。機能のオン／オフを設定します。（初期値：“OFF”）

メ モ

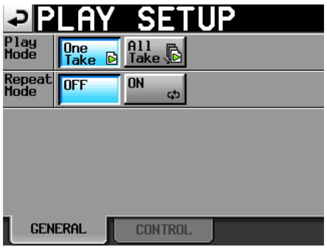
“Audio Over”（オーディオオーバー）とは、最大レベル（フルビット）からユーザーが設定した値を引いたレベルを超えることです。（上記の例では、最大レベルから0.20dB引いたレベルを超えた場合になります）

再生設定（PLAY SETUP）

再生の設定を行います。

GENERALタブ画面

各種再生モードの設定を行います。



Play Mode

テイクを再生する方法を下記のボタンから設定します。

One Takeボタン（初期値）：

現在選択しているテイクのみを再生します。

All Takeボタン：

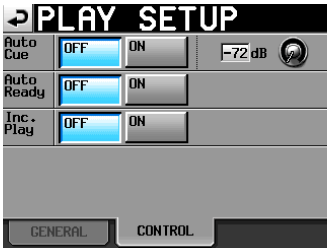
現在ロードしているプロジェクトのフォルダ内にあるテイクを全て再生します。

Repeat Mode

リピート再生のオン／オフを設定します。（初期値：“OFF”）

CONTROLタブ画面

各種再生機能の設定を行います。



Auto Cue

オートキュー機能のオン／オフを設定します。（初期値：“OFF”）

オートキュー機能がオンの場合は、テイクを変更したとき、またはテイクをロードしたときに、音の立ち上がり位置で再生待機状態になります。テイクの最後まで音声を検知しなかったときは、テイクの先頭で一時停止になります。

音の立ち上がりを検出するレベルの設定は、つまみの部分を押し、DATAダイヤルで行います。

設定値：“−72dB”、“−66dB”、“−60dB”、
“−54dB”（初期値）、“−48dB”、“−42dB”、
“−36dB”、“−30dB”、“−24dB”

Auto Ready

オートレディー機能のオン／オフを設定します。（初期値：“OFF”）

オートレディー機能がオンの場合は、再生中のテイクの再生が終了すると、次のテイクの先頭で一時停止します。

Inc. Play

インクリメンタルプレイ機能のオン／オフを設定します。
（初期値：“OFF”）

インクリメンタルプレイ機能がオンの場合は、再生中にPLAYキーを押すと、次のテイクに移動し、テイクの先頭から再生を続けます。再生中にSTOP［RETAKE］キーを押すと、次のテイクの先頭で一時停止状態になります。

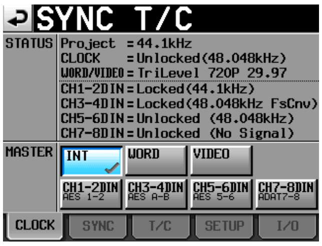
シンク、タイムコード設定（SYNC T/C）

オーディオ同期とタイムコードの設定を行います。

“SYNC T/C” 画面には、“CLOCK” タブ画面、“SYNC” タブ画面、“T/C” タブ画面、“SETUP” タブ画面、“I/O” タブ画面の5つのタブ画面があります。画面下のタブで画面を選択します。

CLOCKタブ画面

各種クロックの状態表示および同期するクロックの設定を行います。



STATUS

上段に、プロジェクトのサンプリング周波数、クロック同期状態を表示します。

下段の “CHx-xDIN”（“x-x” はチャンネルを表す）には、デジタル入力信号の状態が下記のように表示されます。

デジタル入力信号の状態	表示
ロック時	“Locked（xx.xxxkHz)”
サンプリングレートコンバーターがオンの時	“Locked（xx.xxxkHz FsCnv)”
アンロック時	“Unlocked（xx.xxxkHz)”
無信号時	“Unlocked（no signal)”
非オーディオ信号時	“Not Audio”
Cbit情報がプロフェッショナルでない時	“Not Professional”
その他Cbit情報と実際の動作モードが違う時	"Unmached Cbit"

MASTER

使用するマスタークロックを下記のボタンから設定します。

INTボタン（初期値）：

本機の内部クロックを使用します。

WORDボタン：

WORD/VIDEO IN端子に入力されるワードクロックに同期します。

VIDEOボタン：

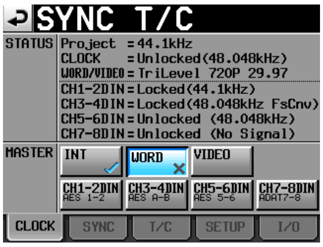
WORD/VIDEO IN端子に入力されるビデオクロックに同期します。

CH1-2DIN ～ CH7-8DINボタン：

CH1-2、3-4、5-6、7-8のデジ タル入力として選択されているデジタル信号（AES1-8、AES A-B、ADAT1-8）のクロックに同期します。
サンプリングレートコンバーターがオンのデジタル入力は、マスタークロックに選択できません。
ボタンの2行目には、選択されているデジタル入力信号名が表示されます。

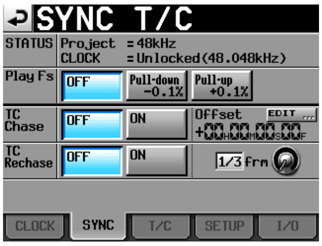
メモ

- 動作中のクロックのボタンには、“✔” マークが表示されます。
- 外部クロックの同期が外れた場合は、内部クロックで動作します。この際、動作クロックである “INT” ボタンに “✔” マークが表示され、同期が外れている選択ボタンには “×” マークが表示されます。



SYNCタブ画面

同期関連の設定を行います。



STATUS

現在ロード中のプロジェクトのサンプリング周波数とクロックの同期状態を表示します。

Play Fs

サンプリング周波数が48kHz、48kHzプルダウンまたは48ｋHzプルアップのテイクを再生する際にプルダウンまたはプルアップさせて再生させることにより、外部クロックと同期を取ることができるようになります。
プロジェクトのサンプリング周波数と “Play Fs” 設定の組み合わせにより、本機は以下の表で示すサンプリング周波数で動作します。
（初期値：“OFF”）

	Play Fs設定		
プロジェクトのサンプリング周波数	OFF	Pull-down	Pull-up
48kHz	48kHz	48kHz−0.1%	48kHz+0.1%
48kHz プルダウン	48kHz−0.1%	設定不可	48kHz
48kHz プルアップ	48kHz+0.1%	48kHz	設定不可
上記以外	プロジェクトのサンプリング周波数	設定不可	設定不可

注 意

録音時は、この設定を “OFF” に設定してください。
“Pull-up +0.1%” または “Pull-down −0.1%” に設定して録音することはできません。このとき“Cannot REC”の警告が、ポップアップウィンドウに表示されます。

TC Chase

外部タイムコード同期再生動作のオン／オフを設定します。
（初期値：“OFF”）
タイムコードマスター側の機器（オーディオレコーダーやビデオ）と本機側のオーディオのタイミングを一致させたい場合、オン “ON” にします。
また、タイムコードマスター側の機器のタイムコードに対するタイムコードオフセット（TC Offset）を設定することができます。オフセット値の設定は、“EDIT” ボタンを押して表示される “TC OFFSET” 画面で行います。“ −23:59:59.29” から “+23:59:59.29” の範囲で設定できます。（初期値：“00:00:00.00”）

メモ

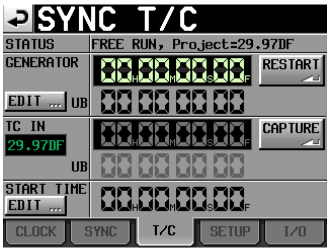
“TC Chase” の “ON” ／ “OFF” は、ＳＨＩＦＴキーとＣＡＬＬキーを同時に押すことでも、オン／オフの切換えができます。

TC Rechase

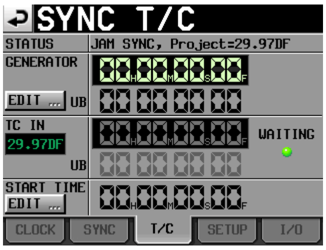
外部タイムコードの同期がずれた場合に、再同期する機能のオン／オフを設定します。（初期値：“OFF”）
どの程度同期がずれた段階でリチェイス動作に入るかのしきい値の設定は、つまみの部分を押し、DATAダイヤルを使って行います。
“1/3”、“1”、“2”、“5”、“10” フレームの中から選択できます。
（初期値：“2frm”）

T/Cタブ画面

タイムコード関連の設定を行います。



[フリーランモード時]



[フリーワンス、ジャムシンク時]

STATUS

本機のタイムコードジェネレーターのモードとカレントプロジェクト（現在ロード中のプロジェクト）のタイムコードのフレームタイプを表示します。

GENERATOR

上段に現在のタイムコードジェネレーターの時刻を表示します。
下段にユーザーズビット（“UB”）を表示します。
“GENERATOR” 項目の “EDIT” ボタン、もしくはユーザーズビット（“UB”）の表示部を押すと、“T/C USERBITS” 画面を表示します。
タイムコードジェネレーターがフリーランモードの場合は、“RESTART” ボタンを押すと、タイムコードジェネレーターのタイムコードをスタートタイムに戻します。

TC IN

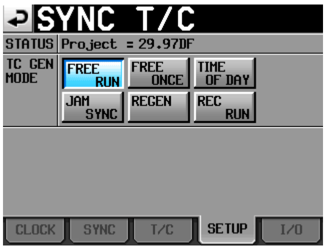
上段に入力タイムコード時刻とフレームタイプを表示します。下段に入力タイムコードのユーザーズビット（“UB”）を表示します。
“FREE RUN” の時、“CAPTURE” ボタンを押すと現在のタイムコード時刻を取り込み、タイムコードジェネレーターのタイムコードに設定します。
タイムコードジェネレーターのモードが “FREEONCE”、あるいは “JAM SYNC” の時、タイムコードの取り込み待ちの状態では、“WAITING” インジケーター（キャプチャー状態表示）が緑に点灯し、タイムコードをキャプチャーすると消えます。

START TIME

“GENERATOR” 項目の “RESTART” ボタンを押したときに、タイムコードを再開する時刻を表示します。
“START TIME” 項目の “EDIT” ボタン、もしくは “START TIME” 項目の表示部を押すと、“START TIME” 画面を表示します。

SETUPタブ画面

タイムコードジェネレーターの設定を行います。



STATUS

カレントプロジェクト（現在ロード中のプロジェクト）のタイムコードのフレームタイプを表示します。

TC GEN MODE

タイムコードジェネレーターのモードを下記のボタンから設定します。

FREE RUNボタン：
タイムコードジェネレーターが自走します。

FREE ONCEボタン（初期値）**：**
入力タイムコードを一度キャプチャーすると、その後はフリーランモードで自走します。

TIME OF DAYボタン：
以下の操作をしたときに、内蔵時計の時間をキャプチャーし、フリーランモードで自走します。

- 電源投入時
- “TC GEN MODE” を本モードに変更したとき
- 内蔵時計を再設定したとき

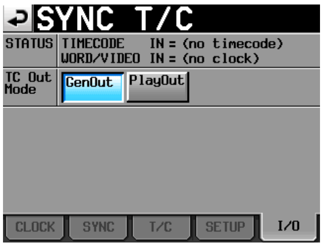
JAM SYNCボタン：
タイムコードが入力されているときは、入力タイムコードに同期します。タイムコードの入力が無くなると、フリーランモードで自走します。

REGENボタン：
入力タイムコードに同期します。

REC RUNボタン：
録音時のみタイムコードジェネレーターが動作します。録音以外では、タイムコードジェネレーターは止まります。

I/Oタブ画面

同期信号の状態表示およびタイムコード出力の設定を行います。



STATUS

同期信号の状況を表示します。

TIMECODE IN：

タイムコードが入力されているときは、タイムコードのフレームレートを表示します。

WORD/VIDEO IN：

同期信号が入力されている場合は、“WORD”、“VIDEO”、“TriLevel” のいずれかを表示します。

TC Out Mode

タイムコードの出力モードを下記のボタンから設定します。

GenOutボタン（初期値）：

内蔵タイムコードジェネレーターのタイムコードを出力します。

PlayOutボタン：

再生時のみ、ファイルに記録されているタイムコードを出力します。

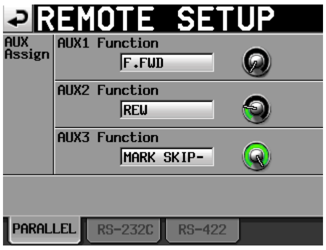
リモート設定（REMOTE SETUP）

PARALLEL端子、RS-232C端子、およびRS-422端子の設定を行います。

“REMOTE SETUP” 画面には、“PARALLEL” タブ画面、“RS-232C”タブ画面、“RS-422”タブ画面の3つのタブ画面があります。画面下のタブで画面を選択します。

PARALLELタブ画面

PARALLEL端子のAUX1／AUX2／AUX3機能の設定を行います。



AUX Assign

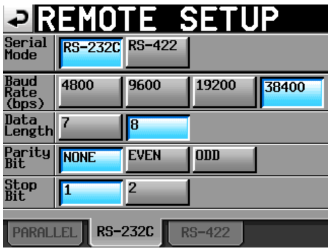
各項目のつまみを押し、パラメーター表示部の背景を黄色く反転させ、DATAダイヤルを使って設定します。

設定できるパラメーターは、“F.FWD”、“REW”、“MARK”、“MARK SKIP－”、“MARK SKIP+”、“ONLINE” です。

- AUX1 Function：
  PARALLEL端子の17ピン（AUX1）の機能を設定します。
  （初期値：“MARK SKIP+”）
- AUX2 Function：
  PARALLEL端子の18ピン（AUX2）の機能を設定します。
  （初期値：“MARK SKIP－”）
- AUX3 Function：
  PARALLEL端子の19ピン（AUX3）の機能を設定します。
  （初期値：“MARK”）

RS-232Cタブ画面

RS-232Cシリアルコントロールの通信設定を行います。



Serial Mode

シリアル接続のモードを下記のボタンから設定します。

設定ボタン：“RS-232C”（初期値）、‘RS-422”

メモ

- この設定で選んだ端子だけが機能します。RS-232C端子とRS-422端子を同時に使用する事はできません。
- “RS-422” タブ画面での “Serial Mode” 項目の設定と同期します。

Baud Rate（bps）

通信速度（ボーレート）を下記のボタンから設定します。

設定ボタン：“4800” bps、“9600” bps、
“19200” bps、“38400” bps（初期値）

Data Length

データ長を下記のボタンから設定します。

設定ボタン：“7” ビット、“8” ビット（初期値）

Parity Bit

パリティービットの有無を下記のボタンから設定します。

設定ボタン：“NONE”（無し、初期値）、“EVEN”（偶数）、
“ODD”（奇数）

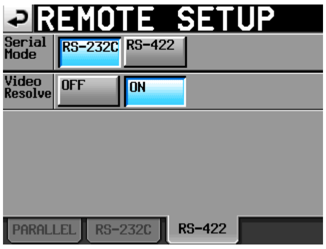
Stop Bit

ストップビットを下記のボタンから設定します。

設定ボタン：“1’ ビット（初期値）、“2” ビット

RS-422タブ画面

RS-422シリアルコントロールの通信設定を行います。



Serial Mode

シリアル接続のモードを下記のボタンから設定します。

設定ボタン：“RS-232C”（初期値）、“RS-422”

メモ

- この設定で選んだ端子だけが機能します。RS-232C端子とRS-422端子を同時に使用する事はできません。
- “RS-232C”タブ画面での“Serial Mode”の設定と同期します。

Video Resolve

本機をVTRのスレーブにする場合に、共通の基準クロックとしてワードシンク信号ではなく、ビデオシンク信号を使う場合があります。ワードシンク信号の場合と同様に、タイムコードをビデオクロックに追従させる（つまりタイムコードフレームの頭をビデオ信号のフレーム境界に同期させる）か、あるいはフレームクロックと独立させるかを選択できます。
ビデオエディターから本機をコントロールする場合は、“on” にする必要があります。

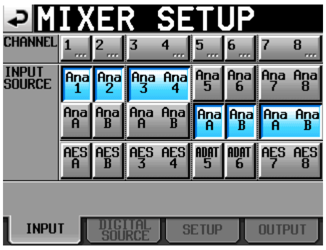
設定ボタン：“OFF”、“ON”（初期値）

ミキサー設定（MIXER SETUP）

ミキサーの設定を行います。
“MIXER SETUP” 画面には、“INPUT” タブ画面、“DIGITAL SOURCE” タブ画面、“SETUP” タブ画面、“OUTPUT” タブ画面の４つのタブ画面があります。
画面下のタブで画面を選択します。

INPUTタブ画面

入力の設定を行います。



CHANNEL

このボタンを押すと、ボタンの数字の “CHx SETUP” 画面（“x” はチャンネルを表す）を表示します。

INPUT SOURCE

各チャンネルの入力ソースを設定します。

Ana 1-8ボタン（初期値）：
　D-sub 25ピンアナログ入力

Ana A-Bボタン：
　XLRアナログ入力

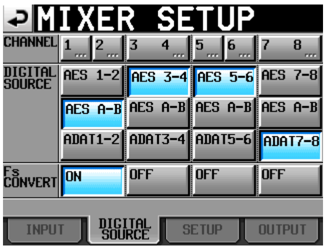
AES 1-8ボタン：
　D-sub 25ピンAES/EBU入力

AES A-Bボタン：
　XLR AES/EBU入力

ADAT 1-8ボタン：
　ADAT入力

DIGITAL SOURCEタブ画面

デジタル入力のソース選択を行います。



CHANNEL

このボタンを押すと、ボタンの数字の “CHx SETUP” 画面（“x” はチャンネルを表す）を表示します。

DIGITAL SOURCE

各ペアチャンネルのデジタル入力ソースを設定します。

AES x-xボタン（初期値）：
　D-sub 25ピンAES/EBU入力

AES A-Bボタン：
　XLR AES/EBU入力

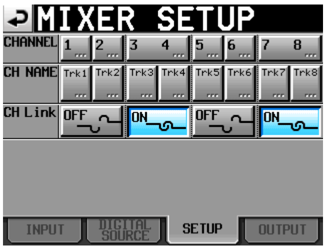
ADAT x-xボタン：
　ADAT入力

Fs CONVERT

サンプリングレートコンバーターのオン／オフを設定します。
（初期値：全て **“OFF”**）

SETUPタブ画面

チャンネル名、チャンネルリンクの設定を行います。



CHANNEL

このボタンを押すと、ボタンの数字の “CHx SETUP” 画面（“x” はチャンネルを表す）を表示します。

CH NAME

このボタンを押すと、チャンネル名の編集画面を表示します。

CH Link

チャンネルリンクのオン／オフを設定します。（初期値：全て **“OFF”**）
リンクしたチャンネルは、以下のパラメーターが連動します。

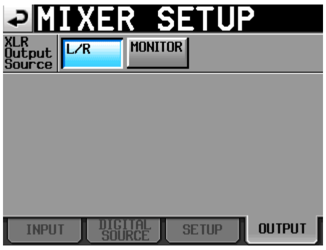
- 2Mix LVLつまみ
- ソロ
- レコードファンクション
- インプットソース
- インプットモニター

メモ

PANつまみは、バランスつまみとなります。

OUTPUTタブ画面

出力の設定を行います。



XLR Output Source

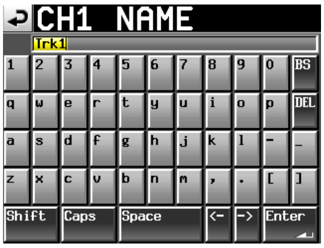
ANALOG OUTPUT L/R端子およびDIGITAL OUTPUT L/R端子に出力するソースを設定します。

L/Rボタン（初期値）：
　ステレオミックス

MONITORボタン：
　モニター信号
　（ソロ音声などを含む、PHONES端子出力と同じ音声）

CHx NAME（ボタン）

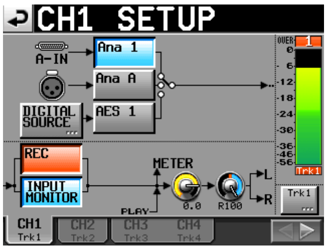
チャンネル名を編集します。（**"x"** はチャンネルを表す）
"Shift" ボタン、**"Caps"** ボタンで文字種を切り換えます。



名前の入力方法は、**"Date"** ボタンが無いことを除き、36ページ「プロジェクト名を編集する」と同じです。チャンネル名の最大文字数は、4文字です。

チャンネル設定（CHANNEL SETUP）

各チャンネルの設定を行います。
画面下のタブで、チャンネルを選択します。



Ana xボタン（**"x"** はチャンネルを表す）：
　入力ソースにアナログ入力の**1-8**チャンネルを設定します。

Ana xボタン（**"x"** **は**Aもしくは**B**を表す）：
　入力ソースにアナログ入力の**A** ／ **B**チャンネルを設定します。

AES x ／ ADAT xボタン（**"x"** はチャンネルを表す）：
　入力ソースにAES/EBUデジタル入力の**1-8**チャンネル、または**A** ／ **B**チャンネル、もしくはADAT入力の1-8チャンネルを設定します。

DIGITAL SOURCEボタン：
　デジタル入力を入力ソースにする場合にこのボタンを押して、**"CHx-x DIGITAL SOURCE"** 画面を表示し、希望のデジタル入力端子を選択します。

RECボタン：
　レコードファンクションのオン／オフを設定します。オンのときは、ボタンの背景が赤くなります。
　録音動作では、設定をオンにしたトラックの音声が録音されます。また、この設定をオンにしたチャンネルには、停止中と録音動作中（録音および録音一時停止）に音声入力端子からの音声が入力されます。
　（初期値：オフ（ボタンが押されていない状態））

INPUT MONITORボタン：
　インプットモニターのオン／オフを設定します。この設定をオンにしたチャンネルには、常に音声入力端子からの音声が入力されます。

レベルつまみ：
　ステレオバスに送るレベルを調節します。このつまみを押し、背景を黄色く反転させ、DATAダイヤルを使ってレベルを調節します。

　　設定値：**"-∞"** dB～ **"0dB"**（初期値）～ **"+10"** dB

パンポットつまみ：
　ステレオバスに送る定位を調節します。このつまみを押し、背景を黄色く反転させ、DATAダイヤルを使って定位を調節します。

　　設定値：**"L100"** ～ **"C"**（初期値）～ **"R100"**

レベルメーター：

インプットモニターがオン、または再生時以外でレコードファンクションがオンのトラックは、そのトラックの入力信号のレベルを表示します。再生時でインプットモニターがオフのトラックは、再生レベルを表示します。
レベルメーターの下部は、トラック名表示部（4文字以下）とレコードファンクションおよびインプットモニターのインジケーターになっています。レコードファンクションとインプットモニターの状態に応じて、背景表示は以下のようになります。

	REC OFF	REC ON
MON OFF	黒	赤
MON ON	青	赤／青

入力ソースにデジタル入力が選択されているときは、該当するデジタル入力に入力が無い場合、あるいは入力信号が内部設定と異なっている場合に、チャンネルメーター表示部が灰色表示となり、次の表示をします。（**"x-x"**はチャンネルを表す）

表示	内容
"AESx-x NO SIGNAL"	入力信号がない場合
"ADAT NO SIGNAL"	
"AESx-x UNLOCK"	入力信号がシステムと同期していない場合
"ADAT UNLOCK"	
"AESx-x NOT AUDIO"	入力信号のCbit情報が非オーディオの場合
"AESx-x NOT PRO"	入力信号のCbit情報がプロフェッショナルでない場合
"AESx-x Cbit ERROR"	入力信号のその他Cbit情報と実際の動作モードが違う場合

チャンネル名ボタン：

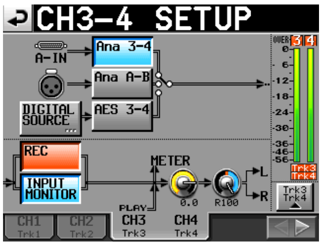
チャンネル名の編集画面を表示します。

◀ ▶ボタン：

次のチャンネル設定画面に切り換えます。

チャンネルリンク時

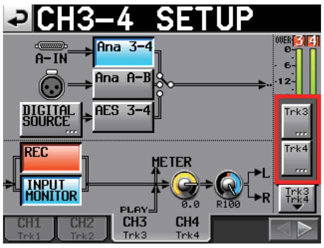
チャンネルリンク時は、以下の画面になります。



[チャンネルリンク時のチャンネル設定画面]

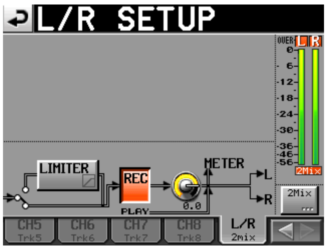
チャンネルリンク時は：

- 入力ソース選択ボタン表示がペアチャンネルになります。
- シグナルフローラインが2重線になります。
- メーターがステレオ（2本）になります。
- チャンネル名ボタンを押すと、該当するチャンネルのボタンがプルアップ表示されます。



ステレオ（L/R）チャンネル

ステレオ（L/R）チャンネルのチャンネル設定画面は、以下の画面になります。

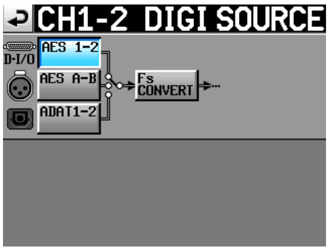


[ステレオチャンネルのチャンネル設定画面]

ステレオチャンネルには、リミッター機能があります。
"LIMITER"ボタンを押して、リミッターをオン／オフを設定します。
ステレオ（L/R）チャンネルには、入力ソース選択ボタン、パンポットつまみ、および**"INPUT MONITOR"**ボタンはありません。

CHx-x DIGITAL SOURCE 設定

“CHx SETUP”画面（“x”はチャンネルを表す）の“DIGITAL SOURCE”ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。



AES x-xボタン（“x”はチャンネルを表す）：
　入力ソースにAES/EBUデジタル入力の1-8チャンネルを設定します。

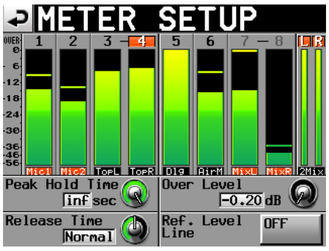
AES A-Bボタン：
　入力ソースにAES/EBUデジタル入力のA-Bチャンネルを設定します。

ADAT x-xボタン（“x”はチャンネルを表す）：
　入力ソースにADATデジタル入力の1-8チャンネルを設定します。

Fs CONVERTボタン：
　サンプリングレートコンバーターのオン／オフを設定します。

レベルメーター設定（METER SETUP）

レベルメーターの設定を行います。



Peak Hold Time

ピークホールド時間を設定します。
このつまみを押し、DATAダイヤルを使って時間を設定します。

　設定値：“0sec”、“1sec”（初期値）、“2sec”、“inf”（常にホールド）

Release Time

リリースタイムを設定します。
このつまみを押し、DATAダイヤルを使って時間を設定します。

　設定値：“Slow”、“Normal”（初期値）、“Fast”

Over Level

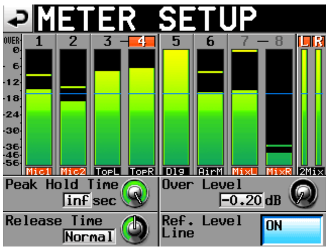
オーバーロードインジケーターの点灯レベルを設定します。最大レベル（フルビット）から本設定値を減算したレベルが点灯レベルとなります。
このつまみを押し、DATAダイヤルを使ってレベルを設定します。

　設定値：“−0.20dB”（初期値）、“−0.17dB”、“−0.13dB”、“−0.10dB”、“−0.06dB”、“−0.03dB”

ここでの設定は、“REC SETUP”（録音設定）の“OPTIONS”タブ画面の“Auto Marker”項目の“Audio Over”設定にも反映されます。

Ref. Level Line

レベルメーター上のリファレンスレベル線の表示のオン／オフを設定します。（初期値：“ON”）



[リファレンスレベル線の表示“ON”時]

メモ

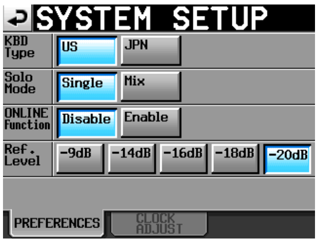
ホーム画面を表示中にEXIT/CANCEL［PEAK CLEAR］キーを押すと、ピークホールド表示をリセットします。

システム設定（SYSTEM SETUP）

システム設定を行います。
“SYSTEM SETUP” に は、“PREFERENCES” タ ブ 画 面、” CLOCK ADJUST”タブ画面の2つの画面があります。
画面下のタブで画面を選択します。

PREFERENCESタブ画面

システムの初期設定を行います。



KBD Type

接続するキーボードタイプを“US”（英語対応キーボード）または“JPN”（日本語対応キーボード）に設定します。

設定ボタン：“US”（初期値）、“JPN”

Solo Mode

ソロモードを設定します。
“Single”を選択すると1トラック毎のソロ、“Mix”を選択すると複数トラックのソロを行うことができます。

設定ボタン：“Single”（初期値）、“Mix”

ONLINE Function

オンライン機能を使用するかどうかを設定します。
“Enable”に設定すると、パラレル端子、シリアル端子（RS-232C）、および別売の専用リモートコントローラー（TASCAM RC-HS20PD）からのオンライン再生モードの切り換えが行えるようになります。
“Disable”（初期値）に設定すると、オンライン再生モードの切り換えが行えなくなり、常に全ての端子から音声が出力されます。
詳細は、63ページ「第9章　オンライン機能」を参照してください。

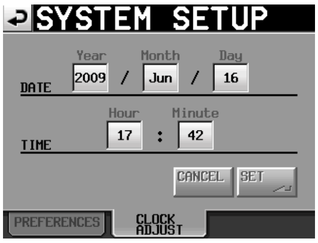
Ref. Level

アナログ入出力のリファレンスレベルを、最大レベル（フルビット）から何dB下がったところにするかを設定します。

設定ボタン：“−9dB”、“−14dB”、“−16dB”、“−18dB”、“−20dB”（初期値）

CLOCK ADJUSTタブ画面

内蔵時計の時刻設定を行います。



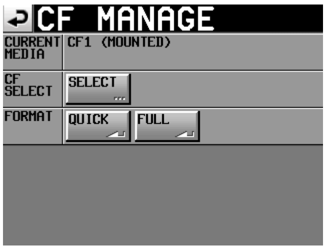
設定する項目を押し、DATAダイヤルを使って各項目を設定します。（→ 21ページ「内蔵時計の時刻を設定する」）
“CLOCK ADJUST”タブ画面の“SET”ボタンを押す、またはDATAダイヤルを押して確定します。

メモ

時刻設定中は、時計は止まり“：”表示が点灯します。
“SET”ボタンを押すと、“:”表示が点滅し時計が動き出します。

CFカードの管理（CF MANAGE）

CFカードの操作を行います。



CURRENT MEDIA

現在選択されているCFカードスロット名とその状態を表示します。

CF SELECT

“CF SELECT”画面を表示します。
録音／再生するCFカードを選択します。

FORMAT

CFカードをフォーマットします。

QUICKボタン：
　CFカードの管理領域のみを初期化します。

FULLボタン：
　CFカードの全面を初期化します。

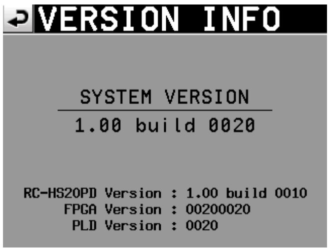
注 意

本機でフォーマットした2GB以下のCFカードは、パソコンで確認すると空き容量がゼロと認識され、ファイルやフォルダを書き込みできない場合があります。

バージョン表示（VERSION INFO）

システムのバージョンを表示します。

画面中央下部を押すと、内蔵デバイスデータと、本機に接続している別売の専用リモートコントローラー（TASCAM RC-HS20PD）のバージョンを表示します。



フォルダ構成

フォルダ構成は、下記のようになっています。
HS-8をパソコンに接続してみるとフォルダやファイルの構成を確認することが可能です。
ただし、プロジェクト内のファイルの変更や削除をしたり、名称を変更するとHS-8からそのプロジェクトを再生することができなくなる場合があります。ご注意ください。

```
ROOT
├─ Project01
│   ├─ Scene001（POLY の場合の例）
│   │   ├─ Scene001-T001.wav
│   │   ├─ Scene001-T001_ST.wav
│   │   ├─ Scene001-T002.wav
│   │   └─ Scene001-T002_ST.wav
│   │        :
│   └─ Scene002（MONO & SubFolder の場合の例）
│       ├─ Scene002-T001
│       │   ├─ Scene002-T001_1.wav
│       │   ├─ Scene002-T001_2.wav
│       │   ├─ Scene002-T001_3.wav
│       │   ├─ Scene002-T001_4.wav
│       │   ├─ Scene002-T001_5.wav
│       │   ├─ Scene002-T001_6.wav
│       │   ├─ Scene002-T001_7.wav
│       │   └─ Scene002-T001_8.wav
│       ├─ Scene002-T002
│       │   ├─ Scene002-T002_1.wav
│       │   ├─ Scene002-T002_2.wav
│       │   ├─ Scene002-T002_3.wav
│       │   ├─ Scene002-T002_4.wav
│       │   ├─ Scene002-T002_5.wav
│       │   ├─ Scene002-T002_6.wav
│       │   ├─ Scene002-T002_7.wav
│       │   └─ Scene002-T002_8.wav
│       ├─ Scene002-T001_ST.wav
│       └─ Scene002-T002_ST.wav
├─ Project02
│   └─ Scene001（MONO & Folder の場合の例）
│       ├─ Scene001-T001_1.wav
│       ├─ Scene001-T001_2.wav
│       ├─ Scene001-T001_3.wav
│       ├─ Scene001-T001_4.wav
│       ├─ Scene001-T001_5.wav
│       ├─ Scene001-T001_6.wav
│       ├─ Scene001-T001_7.wav
│       ├─ Scene001-T001_8.wav
│       ├─ Scene001-T001_ST.wav
│       ├─ Scene001-T002_1.wav
│       ├─ Scene001-T002_2.wav
│       ├─ Scene001-T002_3.wav
│       ├─ Scene001-T002_4.wav
│       ├─ Scene001-T002_5.wav
│       ├─ Scene001-T002_6.wav
│       ├─ Scene001-T002_7.wav
│       ├─ Scene001-T002_8.wav
│       └─ Scene001-T002_ST.wav
│            :
└─ Project03
     :
```

メモ

Polyファイルの場合は、フォルダの直下にファイルが作成されます。
Monoファイルの場合は、フォルダの下にテイク毎のサブフォルダが作成され、“**Mono File Place**”の設定が“**SubFolder**”の場合は、このテイク毎のサブフォルダの下にファイルが作成されます。“**Folder**”の場合は、フォルダの直下にファイルが作成されます。

注意

- “**Mono File Place**”の設定が“**Folder**”の場合でも、サブフォルダは作成され、管理ファイルがそこに置かれます。サブフォルダを削除しないでください。
- これら以外にも管理用のファイルやフォルダが作成されます。

ファイル名

ファイルの命名規則は、以下の通りです。

1-8trk Poly ファイル

[テイク名前半]-[アルファベット部][テイク番号].wav

1-8trk Mono ファイル

[テイク名前半]-[アルファベット部][テイク番号]_[トラック番号].wav

2mix ファイル

[テイク名前半]-[アルファベット部][テイク番号]_ST.wav

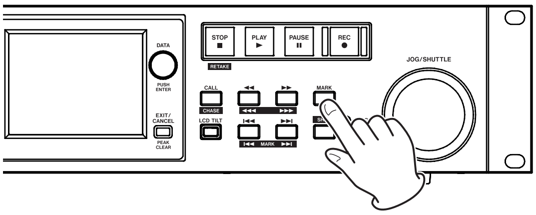
マーク機能

マークポイントを付ける

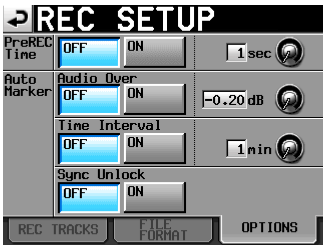
以下の方法でマークポイントを作成します。
マークポイントは、オートマーカーポイントと合わせて1ファイル（テイク）あたり、最大99個まで付けることができます。

● フロントパネルにあるMARKキーを押す

MARKキーを押すと、その時の再生／録音時刻にマークポイントを付けることができます。
マークポイント名は、“MARK xx”となります。



● オートマーカー機能を使う



オートマーカー機能をオンにすると、オーディオオーバーが発生したとき、一定時間ごと、同期エラーが発生したときに、自動的にマークポイントを付けることができます。（ → 45ページ「OPTIONSタブ画面」）
マークポイント名は、それぞれ以下のようになります。

オートマーカーの発生状態	マークポイント名表示
オーディオオーバー時	OVER xx
一定時間ごと	TIME xx
同期エラー時	UNLK xx

注意

下記のオートマーカーは、オン／オフの設定ができません。

オートマーカーの発生状態	マークポイント名表示
録音開始ポイント	REC xx
録音停止ポイント	END xx
プリレック開始ポイント	PRE xx

メモ

- “Audio Over”（オーディオオーバー）とは、最大レベル（フルビット）からユーザーが設定した値を引いたレベルを超えることです。（上記の例では、最大レベルから0.20dB引いたレベルを超えた場合になります）
- パラレルコントロールのMARKイベントが入力されると、MARKキーを押した場合と同様のマークポイントが付きます。

キー操作によるマークポイントへのロケート

SHIFTキーを押しながら⏮［MARK ⏮］キーまたは⏭［MARK ⏭］キーを押すことにより、一つ手前または一つ先のマークポイントにロケートします。

メモ

パラレルコントロールのMARK SKIP＋／－イベントが入力されると、それぞれ一つ先または一つ手前のマークポイントにロケートします。

マークポイントリスト画面

ホーム画面で“Mark List”ボタンを押すと、“MARKLIST”画面を表示します。

NAMEボタン

マークポイント名で降順、昇順にソートします。
マーク名で昇順にソートされているときは“MARK”ボタン内に“△”アイコンが、降順にソートされているときは“▽”アイコンが表示されます。

TIMEボタン

マークポイントの時間で降順、昇順にソートします。
時間で昇順にソートされているときは“TIME”ボタン内に“△”アイコンが、降順にソートされているときは“▽”アイコンが表示されます。

マークポイント（マークポイント名）ボタン

マークポイントを選択します。

LOCATE（“ ”）ボタン

そのマークポイントにロケートします。

LIST INFOボタン

現在選択しているテイクのマークポイント種別ごとのマークポイント数を一覧表示するマークリストインフォメーション画面を表示します。

RENUMBERボタン

マークポイントをリナンバーします。マークポイント時刻を昇順に並べなおし、その順番でマークポイント名末尾の番号を振りなおします。

DELETEボタン

マークポイントを選択した状態で“DELETE”ボタンを押すと、選択したマークポイントを削除します。

Editボタン

マークポイントを選択した状態で“Edit”ボタンを押すと、選択したマークポイントの編集を行います。

スクロールボタン

マークポイントリストの先頭、末尾、1ページ（5行）ずつのスクロールを行います。また、DATAダイヤルを使っても、1行ずつマークリストをスクロールすることができます。

マークポイントにロケートする

“ ” ボタンを押すと､該当するマークポイントにロケートします。

マークポイントの情報を見る

“MARK LIST” 画面の “LIST INFO” ボタンを押すと、マークリストインフォメーション画面を表示します。
この画面では、現在ロードしているテイクのマークポイント種別ごとのマークポイント数を一覧表示します。
再度 “LIST INFO” ボタンを押すと、“MARK LIST” 画面に戻ります。

[マークリストインフォメーション画面]

メモ

録音後、マークリストインフォメーション画面において、トータルのマークポイント数が “MANUAL MARK”、“TIME”、“OVER”、“UNLK” の合計よりも、2もしくは3多い場合があります。これは､録音時に必ず作成される “REC”､“END”､“PRE”（プリレック時）のマークポイントが含まれているためです。

マークポイントを削除する

1. “MARK LIST” 画面、またはマークリストインフォメーション画面で、削除したいマークポイントまたはマークポイント種を選択します。

[MARK LIST画面]

[マークリストインフォメーション画面]

2. “DELETE” ボタンを押します。

3. 確認のポップアップウィンドウが表示されます。
“OK” ボタンまたはDATAダイヤルを押すと、マークポイントを削除します。

[MARK LIST画面で削除を行った場合]

[マークリストインフォメーション画面で削除を行った場合]

マークポイントを編集する

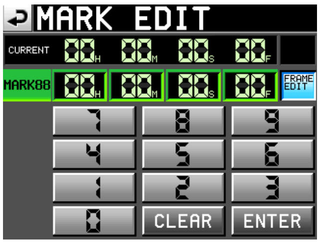
MARKキー操作で付けたマーク（マーク名が “MARK xx” のもの）は、マークポイントを編集することができます。

メ モ

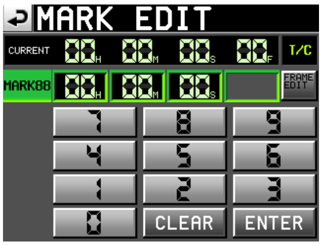
オートマーカーのマークポイントは、編集できません。

1. “MARK LIST”画面で、編集したいマークポイントを選択します。

2. “Edit” ボタンを押して、“MARK EDIT” 画面を表示します。
“FRAME EDIT” ボタンでフレーム値まで編集するかどうか設定ができます。



[フレームエディットオン状態]



[フレームエディットオフ状態]

3. 画面内の数字ボタンでマークポイントを入力します。数字を選択してDATAダイヤルを使って時間変更することもできます。
“ENTER” ボタンを押して確定し、“MARK LIST” 画面に戻ります。
“CLEAR” ボタンを使って入力値を全てゼロクリアします。

ヒント

PS/2キーボードを使っての編集も可能です。
Enterキーを押すと確定し、ESCキーを押すと全てゼロクリアします。

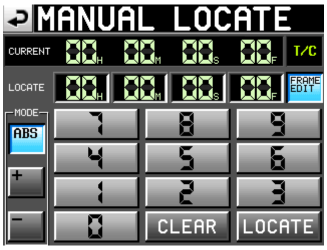
マークポイント番号を振り直す

1. “MARK LIST” 画面で、“RENUMBER” ボタンを押します。
以下の画面が表示されます。

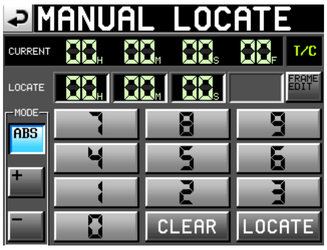
2. “OK” ボタンまたはDATAダイヤルを押すと、マークポイント番号を振り直します。

マニュアルロケート機能

時間を直接入力して、ロケートすることができます。
ホーム画面で“Manual Locate”ボタンを押すと、‘MANUAL LOCATE”画面を表示します。
“FRAME EDIT”ボタンを押して、フレーム単位での入力をするかしないかの設定ができます。



[フレームエディットオン状態]



[フレームエディットオフ状態]

ロケートモードには、以下の3つのモードがあります。

ABS　：実際にロケートする時間を入力してロケートする。
＋　：現在時刻からどれだけ進めるのかを入力してロケートする。
−　：現在時刻からどれだけ戻すのかを入力してロケートする。

画面内の数字ボタンで時間を入力します。
“LOCATE”表示部の数字の桁を押し、DATAダイヤルを使って時間変更することもできます。
“LOCATE”ボタンを押すとロケートを行い、ホーム画面に戻ります。
“CLEAR”ボタンを押すと、入力値を全てゼロクリアします。

ヒント

PS/2キーボードを使っての編集も可能です。
PS/2キーボードのEnterキーを押すと確定し、ESCキーを押すと全てゼロクリアします。

第８章　コンピューターキーボードを使った操作

IBM PC互換機用、PS/2インタフェースのキーボードを本機フロントパネルの**KEYBOARD**端子に接続することにより、キーボードを使って本機を操作することができます。
各種コントロールが可能ですが、特に名前の入力を効率的に行うことができます。

キーボードタイプの設定

接続するキーボードに合わせて、キーボードタイプを選択します。**"SYSTEM SETUP"** 画面の **"PREFERENCES"** タブ画面で設定を変更してください。（ → 55ページ「PREFERENCESタブ画面」）

キーボードを使って名前を入力する

パソコンの文字入力と同じ感覚で、以下の項目で文字を編集／入力することができます。

- プロジェクト名（ → 36ページ「プロジェクト名を編集する」）
- フォルダ名（ → 37ページ「最初に作るフォルダ名を編集する」、→ 39ページ「新規フォルダを作成する」）
- NextTake名の前半部
- NextTake名の後半のアルファベット部
- チャンネル名（ → 52ページ「CHx NAME（ボタン）」）

また、以下の項目で数値を入力することができます。

- T/C USER BITSの編集
- START TIMEの編集
- マークポイントを編集する（ → 60ページ「マークポイントを編集する」）
- マニュアルロケートポイントの入力（ → 61ページ「マニュアルロケート機能」）
- タイムコードオフセットの編集（ → 47ページ「SYNCタブ画面」）

入力する文字種を選択するには：

パソコンでの操作と同じように、ShiftキーとCaps Lockキーを使って入力する文字の種類を選択できます。

入力するには：

数字キー、文字キー、記号キーで直接入力します。

カーソルを移動するには：

← /→ キーを使います。

文字を削除するには：

Deleteキー：カーソル位置の文字を削除します。
Back Spaceキー：カーソル手前の文字を削除します。

文字を挿入するには：

希望の位置で挿入する文字を入力します。

注 意

- 以下の記号や句読点は、名前に使うことができません。
  ¥ ／ : ; , * ? " ＜ ＞ |
- カタカナ入力は、できません。
- NextTake名の後半のアルファベット部では、アルファベットの大文字のみ入力できます。

キーボード操作一覧

名前の入力だけでなく、トランスポートコントロールなど、各種動作をキーボードからコントロールすることができます。以下に、キーボードのキーの機能をまとめておきます。

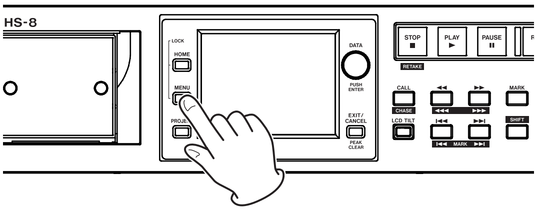
キーボードのキー	動作
F1 キー	⏮キーと同じ
F2 キー	⏭キーと同じ
F3 キー	**CALL**キーと同じ
F4 キー	**STOP**キーと同じ
F5 キー	**PLAY**キーと同じ
F6 キー	**PAUSE**キーと同じ
F7 キー	Auto CueのON ／ OFFの切り換え
F8 キー	**REC**キーと同じ
F9 キー	Auto ReadyのON ／ OFFの切り換え
F10 キー	Repeat ModeのON ／ OFFの切り換え
F11 キー	Play Modeの切り換え
F12 キー	FLASH LOAD（STOP）*
CTRL + F1 キー	FLASH 1
CTRL + F2 キー	FLASH 2
CTRL + F3 キー	FLASH 3
CTRL + F4 キー	FLASH 4
CTRL + F5 キー	FLASH 5
CTRL + F6 キー	FLASH 6
CTRL + F7 キー	FLASH 7
CTRL + F8 キー	FLASH 8
CTRL + F9 キー	FLASH 9
CTRL + F10 キー	FLASH 10
CTRL + F11 キー	FLASH 11
CTRL + F12 キー	FLASH 12

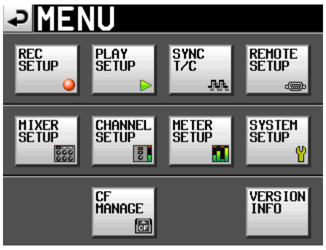
＊ F12キーのFLASH LOAD（STOP）は、停止時はFLASH LOADとして、再生時および一時停止時はSTOPとして機能します。

オンライン機能を有効にする

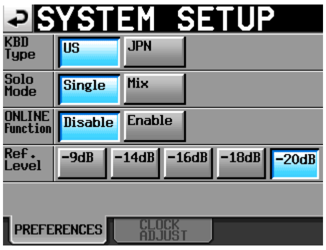
オンライン機能を使うためには、オンライン機能の設定を有効にしておく必要があります。

1. フロントパネルの**MENU**キーを押して、**"MENU"**画面を表示します。





2. **"SYSTEM SETUP"**ボタンを押して、**"SYSTEM SETUP"**画面を表示します。



3. **"ONLINE Function"**項目の**"Enable"**ボタンを押して、オンライン機能の設定を有効にします。（初期値：**"Disable"**）

オンライン再生モードの切り換え

オンライン機能を有効に設定すると、以下の操作でオンライン再生モードのオン／オフの切り換えが可能になります。

- パラレルコントロール接続時：ONLINEイベント
- RS-232Cシリアルコントロール接続時：ONLINEコマンド
- 専用のリモートコントローラー RC-HS20PD：**ON LINE**キーを押す。

オンライン再生モードをオンにすると、自動的にホーム画面に移動し、画面上に"ONLINE"アイコンが赤く点灯します。
オンライン再生モードをオフにすると、画面上の"ONLINE"アイコンは消灯します。

オンライン再生モードと音声出力の関係は、以下の通りです。

オンライン再生モード	オフ	オン
アナログ出力（1－8）	×	○
デジタル出力（1－8、AES/EBU）	×	○
デジタル出力（1－8、ADAT）	×	○
アナログ出力（L/A, R/B）	○*	○**
デジタル出力（L／R）	○*	○**
ヘッドホン	○***	○***
RC-HS20PD（ヘッドホン、スピーカー）	○***	○***

＊ **"XLR Output Source"**設定で**"MONITOR"**を選択している場合に、モニター信号が出力されます。

＊＊ **"XLR Output Source"**設定に従った信号が出力されます。

＊＊＊ 常にモニター信号が出力されます。

また、オンライン再生モードをオンにしたときの各ボタンの操作は、以下の通りです。

	Play状態	Pause状態
ONLINE ON/OFF	×	○
Play	×	×
Fader Play	×	○
Stop	○*	○
Fader Stop	○*	○
FLASH	○**	○***
PAUSE	×	―――
Track Skip	×	×
Mark Skip	×	×
CALL	×	×
Search	×	×
JOG	×	×
SHUTTLE	×	×
FLASH LOAD	×	×
MARK	×	×
MENU操作	×	×
PROJECT操作	×	×
Mark List	×	×
マニュアルロケート	×	×

＊ 再生中に停止またはフェーダーストップしたときに、インクリメンタルプレイがオンに設定されているときは、次のトラックの先頭で一時停止（Online Ready）となります。

＊＊ 再生中にFLASHキーを押した場合には、（テイクがロードされていれば）テイクを変更してフラッシュ再生を行います。（ロードされていない場合は、通常の再生を行います。）

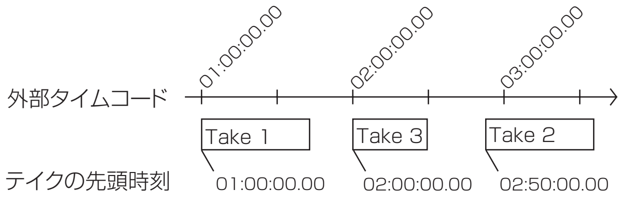
＊＊＊ 一時停止中にFLASHキーを押したときに、Fader Stop中であれば、テイクを変更して一時停止状態になります。それ以外の場合は、テイクを変更しフラッシュ再生を行います。

注意

"ONLINE Function"項目が**"Disable"**になっている（オンライン機能がオフ）ときには、全ての端子から音声が出力されています。

第 10 章　外部タイムコード同期再生

この章では、外部タイムコード同期再生について説明します。
本機は、フォルダ内にある各テイクをリアパネルのTIMECODE IN端子に入力されるSMPTEタイムコードに同期して再生することができます。
このとき、各テイクの先頭時刻は、テイクに記録されているタイムコード時刻です。テイク中の再生時刻は、テイクの先頭時刻を基準とした時刻となります。



テイクのタイムコード時刻は、テイク選択画面の‘INFO”ボタンを押すことで確認できます。（ → 35ページ「テイク選択画面」）
また、テイクのタイムコード時刻は自由に変更できます。（→ 42ページ「テイクのスタートタイムを編集する」）

メモ

- 外部タイムコード同期再生は、一つのフォルダ内のテイクを再生します。複数のフォルダに渡って同期再生することはできません。
- 外部タイムコード同期再生では、各テイクの先頭時刻を基準に再生します。このため、テイクの再生順序は、テイク番号と関連しなくなります。

注意

複数のテイクで先頭時刻が同じであった場合に、外部タイムコード同期再生では、テイク番号の最も大きいテイクのみ再生します。

基本的な操作

1. 再生するフォルダをロードします。（ → 39ページ「フォルダをロードする」）
2. 以下のいずれかの操作で同期再生を開始します。
   - フロントパネルのSHIFTキーを押しながらCALL［CHASE］キーを押す。
   - “SYNC T/C” 画面の “SYNC” タブ画面で “TC Chase” を “ON” に設定する。
3. 外部タイムコードと同期再生できるテイクがあれば、同期再生を開始します。また、ホーム画面の “CHASE” インジケーターが緑色に点灯します。
4. 外部タイムコードと同期再生できるテイクが無い場合（テイクとテイクの間など）は、次に再生できるテイクの先頭で一時停止になります。また、ホーム画面の “CHASE” インジケーターが点滅します。
5. 同期再生を中止するには、以下のいずれかの操作をします。
   - フロントパネルのSHIFTキーを押しながらCALL［CHASE］キーを押す。
   - “SYNC T/C” 画面の “SYNC” タブ画面で “TC Chase” を “OFF” に設定する。

   このとき、本機は再生などの動作を継続します。また、ホーム画面の “CHASE” インジケーターは、タイムコード状態表示に戻ります。
6. 再度、同期再生を開始するには、3.の操作を行います。

メモ

同期再生中にSTOPキーを押すと、再生を停止します。このとき、ホーム画面の “CHASE” インジケーターは点滅します。
この後、PLAYキーかPAUSEキーを押すと、同期再生を再開します。

タイムコードオフセット

外部タイムコードに対して、オフセットを設定することができます。オフセットを設定することで、外部タイムコードから一定時間ずれた時刻で同期再生することができます。（ → 47ページ「SYNCタブ画面」）

リチェイス

本機の同期再生では、同期再生を開始した後も外部タイムコードの監視を続けます。そして、本機の再生時刻と外部タイムコードが何らかの理由で一致しなくなった際に、再びチェイスを行う（リチェイス）ことができます。
本機では、リチェイス動作の有無と、どの程度一致しなくなった段階でリチェイス動作を行うかの設定ができます。（ → 47ページ「SYNCタブ画面」）

第 11 章　トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。
それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センターにご連絡ください。

● 電源が入らない。

↓

- 電源プラグ等がしっかりと差し込まれているか確認してください。

● メディアを認識しない。

↓

- CFカードがしっかりと挿入されているか確認してください。
- 録音や再生を一度停止してください。

● 本体で操作できない

↓

- パネルロック機能がオンになっていませんか？

● 再生できない。

↓

- 本機が対応しているサンプリング周波数（44.1/47.952/48/48.048/88.2/96/176.4/192kHz、47.952/48.048：48kHz±0.1% Pull-down/Pull-up）と量子化数（16ビットまたは24ビット）であるかどうかを確認してください。

● 音が出ない。

↓

- モニターシステムとの接続をもう一度確認してください。また、アンプの音量を確認してください。
- 【PAN ／ LEVEL】画面でレベル設定が下がっていないか確認してください。
- 別売の専用リモートコントローラー（TASCAM RC-HS20PD）のフェーダーが下がっていないか確認してください。
- 入力信号音が聞こえない場合は、レコードファンクションやインプットモニターをオンにしてください。
- 再生音が聞こえない場合は、インプットモニターをオフにしてください。
- オンライン機能の設定やオンライン再生モード設定を確認してください。

● 録音できない。

↓

- 接続をもう一度確認してください。
- 録音レベルを調節してください。
- CFカードの容量が不足している場合は、不要なデータを削除して空き容量増やすか CFカードを変更してください。
- 記録可能な最大テイク数／テイク番号に達している場合は、録音するフォルダを変更してください。
- フォルダ内の全エントリー数（ファイル、フォルダ等の総数）が多い場合は、録音するフォルダを変更してください。

● 設定を変えたのに記憶されていない。

- 本機では、CFカードの選択切り換え時、プロジェクト／フォルダ／テイクのロード、再生、録音のタイミングで設定のバックアップを行っています。起動後、これらの操作をしなかった場合には、設定を変更してもバックアップされない場合があります。

● 雑音がする。

↓

- 接続ケーブルが接触不良になっていないか、確認してください。

● タッチパネルが正しく動作しない。

↓

- 市販の液晶画面保護フィルムは、使わないでください。
- パネルロック機能にて、ディスプレーにロックが掛けられていませんか？

● プロジェクトが新規作成できない。

↓

- 同じ名前のプロジェクトがすでに存在していないか、確認してください。
- CFカードの残り容量が少ない場合は、プロジェクト作成を行えません。不要なデータを削除してから、プロジェクト作成を行ってください。

第 12 章　メッセージ

以下にポップアップウィンドウに表示されるメッセージの一覧表を示します。HS-8では、状況に応じてポップアップウィンドウが表示されますが、それぞれのメッセージの内容を知りたいとき、および対処方法を知りたいときにこの表をご覧ください。

メッセージ	内容と対処方法	備考
--- error --- INFO WRITING	情報の書き込み中にエラーが発生しました。	
--- FORMAT --- Completed.	フォーマットが完了しました。	
--- FULL FORMAT --- FORMAT CFn? This will erase all data on card Really Continue?	フルフォーマットをします。	n = 1 または 2
--- FULL FORMAT --- Formatting CFn…	フルフォーマット中です。	n = 1 または 2
--- ONLINE Function --- Changes Output Routing.	オンライン機能の有効／無効切り換えの際には、音声出力経路が切り換り有わります。	
--- QUICK FORMAT --- FORMAT CFn? This will erase all data on card Really Continue?	クイックフォーマットをします。	n = 1 または 2
--- QUICK FORMAT --- Formatting　CFn…	クイックフォーマット中です。	n = 1 または 2
--- RETAKE --- Delete last take? ""tttttttttt""	リテイクを行います。	"tttttttt" = 削除するテイク名
--- Shutdown --- working …	シャットダウン中です。	
CHn-n D-In: Fs convert On Cannot select as Master clock.	サンプリングレートコンバーターがオンになっているデジタル入力をクロックマスターに選択しようとしています。	n-n = 1-2、3-4、5-6、7-8
Cannot Change Now Currently **	再生中／オンライン中／タイムコードチェイス中／録音中に変更できない項目です。	** = "Playing"、"ONLINE"、"Chasing TC" または "Recording"
Cannot Copy Not enough space on CFn	コピー先のカードの容量が不足しています。	n = 1 または 2
Cannot Copy. Folder already exists on CFn. Overwrite Folder?	コピー先に同名フォルダが存在します。 上書きしますか？	n = 1 または 2
Cannot create more than 100 projects.	作成可能な最大プロジェクト数に達しているため、新規プロジェクトを作成できません。	
Cannot create new mark point.. Mark point already exists at the same timestamp.	同一時刻にマークポイントが設定されようとしてます。 マークポイントを同一時刻に設定できません。	
Cannot create new project. Media Full.	カードの空き容量がないので新規プロジェクトは作成できません。	
Cannot edit this mark point. Mark point already exists at the same timestamp.	既に同一時刻のマークポイントがあるため、マークを編集できません。	フレーム以上の時刻データが同じでも、画面に表示されないサブフレーム以下の値が違う場合には、編集できます。
Cannot increment Take. Interval is too short.	録音開始から4秒未満でRECキーを押されたため、次のテイクの録音を開始できません。	
Cannot increment Take. System limit reached, Please make new Folder.	フォルダ内の全エントリー数（ファイル、フォルダ等の総数）が多いため、次のテイクの録音を開始できません。	
Cannot make more than 1000 Folder.	作成可能な最大フォルダ数に達しているため、新規フォルダを作成できません。	
Cannot make new folder. Medial Full.	カードの空き容量がないので新規フォルダが作成できません。	
Cannot RECORD. (Internal state error)	何らかの原因で録音ができません。	

メッセージ	内容と対処方法	備考
Cannot RECORD. Media Full.	CFカードの容量が不足しているため、録音が開始できません。	
Cannot RECORD Play Fs setting is not OFF Please change Play Fs to OFF	**"PlayFs"** 設定が **"Pull-down"** か **"Pull-up"** に設定されているため録音できません。 **"PlayFs"** 設定を **"OFF"** に設定してください。	
Cannot RECORD System limit reached. Please make new Folder.	フォルダ内の全エントリー数（ファイル、フォルダ等の総数）が多いため、録音を開始できません。	
Cannot RECORD. Take limit reached. Please change to another Folder	記録可能な最大テイク数／テイク番号に達しているため、録音ができません。フォルダを切り換えてください。	
Cannot Retake. No Recent Take History.	リテイクできません。	
Cannot set Mark point. Mark limit reached.	マークポイントは、99個までしか作成できません。	
Cannot turn Fs convert On. CHn-n D-In is already Master Clock.	クロックマスターに選択されているデジタル入力のサンプリングレートコンバーターをオンに設定しようとしています。	n-n = 1-2、3-4、5-6、7-8
CFn DEVICE ERROR	CFカードが認識できません。	n = 1 または 2
CFn Format failed	フォーマット中にエラーが発生し、フォーマットを完了できませんでした。	n = 1 または 2
CFn has no projects. Please create a project.	プロジェクトが1つも無いCFカードです。	n = 1 または 2
CFn is not available	CFカードがありません。	n = 1 または 2
CFn is not usable	コピーできません。	n = 1 または 2
CFn MEDIUM ERROR	カードの読み込みに失敗しました。	n = 1 または 2
CFn not recommended format for Recording/Playing.	メディアが本機でフォーマットされていないため、正常な録音再生動作を保証できません。	n = 1 or 2 本機の規定よりも小さいクラスタサイズでフォーマットされている際に発生。
CFn not recommended for Recording/Playing. (not UltraDMA)	このカードは、システムの要求する仕様を満たさないため、録音／再生用として推奨できません。	n = 1 または 2
CFn Read Error	読み取りエラーが発生しました。	n = 1 または 2
CFn unrecognized format Please Format this card.	FAT以外でフォーマットされたカードです。本機で使用する場合は、フォーマットを行ってください。	n = 1 または 2
CFn unsupported type	このカードは、システムの要求する仕様を満たさないため、使用できません。	n = 1 または 2
CFn Write Error	書き込みエラーが発生しました。	n = 1 または 2
CFn(vvvvvvvv) NUM OF PROJECTS : p USED SIZE : u FREE SIZE : f TOTAL SIZE : t	CFカード情報表示	n = 1 または 2 vvvvvvvv = ボリュームレベル p : プロジェクト数、u : 使用容量 f : 未使用容量、t : CF総容量
Completed	作業が完了しました。	
Copy N selected Folder to CFn?	選択したフォルダをコピーします。	N = 選択数 n = 1 または 2
Copying folder…	フォルダをコピー中です。	
Create new project? ""pppppppp"" ""ssssssss"" Fs:**kHz, Frame Type:**F	新規プロジェクトを作成します。	""pppppppp"" = 作成するプロジェクト名 ""ssssssss"" = 作成する最初のフォルダ名
Create Project failed	プロジェクトの作成に失敗しました。	
Creating Project …	プロジェクト作成中です。	
Delete all marks of this type? (Count:N)	選択されたタイプのマークを削除します。	N=選択したマークタイプのマーク数。

メッセージ	内容と対処方法	備考
Delete N selected marks?	選択されたマークを削除します。	N=マーク数
Delete N selected project?	選択したプロジェクトを削除します。	N = 選択数
Delete N selected Folder?	選択したフォルダを削除します。	N = 選択数
Delete N selected take?	選択したテイクを削除します。	N = 選択数
Deleting Project…	プロジェクトを削除中です。	
Deleting Folder…	フォルダを削除中です。	
Deleting Take…	テイクを削除中です。	
Digital Input Error DIN1-2（Unlocked） DIN3-4（no signal） DIN5-6（not audio） DIN7-8（unmatched Cbit）	入力信号として選択されているデジタル入力でエラーが発生しました。	Unlocked： 　システムと同期していない no signal： 　信号が入力されていない not audio： 　入力信号のCbit情報が非オーディオ not professional： 　入力信号のCbit情報がコンシューマ unmatched Cbit： 　入力信号のその他Cbit情報と実際の動作モードが違う
External Clock Lost, Switched to Internal	外部クロック同期が外れたため、内部クロックに切り換えました。	
External Clock Regained Switch to External?	外部クロック同期が可能な状態になりました。	
Folder Copy failed	コピーに失敗しました。	
Folder Delete failed.	フォルダの削除に失敗しました。	
Last loaded project has no folder. Please make new folder.	最後に選択したプロジェクトにフォルダがありません。新規フォルダを作成してください。	
Last loaded project cannot be found. Please select a project.	最後に選択したプロジェクトが見つかりません。プロジェクトを選択してください。	
Last loaded folder cannot be found. Please select a folder.	最後に選択したフォルダが見つかりません。フォルダを選択してください。	
Load selected project? ""pppppppp""	選択したプロジェクトをロードします。	"pppppppp" = ロードするプロジェクト名
Load selected Folder? ""ssssssss""	選択したフォルダをロードします。	"ssssssss" = ロードるフォルダ名
Load selected take? ""tttttttt""	選択したテイクをロードします。	"tttttttt" = ロードするテイク名
Loading Project …	プロジェクトをロード中です。	
Loading Folder …	フォルダをロード中です。	
Loading Take …	テイクをロード中です。	
Make new folder? ""ssssssss""	新規フォルダを作成します。	"ssssssss" = フォルダ名
Make Folder failed	フォルダの作成に失敗しました。	
Making Folder …	フォルダ作成中です。	
Mark Point set	マークポイントが作成されました。	
New Folder Name must not start with ""@""	フォルダ名が不適切です。フォルダ名の先頭に@は使えません。	
No Call Point	コールポイントが存在しません。	
No Mark Point	マークポイントが存在しません。	マークポイントが未登録状態でマークスキップ操作された。2秒で自動的に消える。
No Tracks Armed for Record	レコードファンクションがオンになっているトラックがありません。	

メッセージ	内容と対処方法	備考
Operation failed.	何らかの原因で処理が実施できませんでした。	
Operation failed. Internal File / Folder limit reached.	作成可能な最大フォルダ数に達しているため、処理を実施できません。	
Operation failed. Cannot find this ***. Please Rebuild.	指定されたプロジェクト／フォルダ／テイクが見つからないため処理が実施できません。 リビルドしてください。	*** = Project or Folder or Take
Operation failed. Internal File / Folder limit reached.	作成可能な最大フォルダ数に達しているため、フォルダを作成できません。	
Operation failed. Path Name is too long.	規定文字数を超えるパス名のため、処理を実行できません。	パソコンで長いプロジェクト名やフォルダ名に変更されたあと、「Make Folder」や「録音」を実施した際にフルパス名が255文字以上になる際に発生。
Play Error.	再生エラーが発生しました。	
Play Error Buffer underrun	再生中、データ読み込み処理が間に合いませんでした。	
pppppppp FOLDER　: n Fs　　　: f TIMECODE : t	プロジェクト情報表示	pppppppp = プロジェクト名 n : フォルダ数 f : サンプリング周波数 t : タイムコードフレームタイプ
Project Delete failed.	プロジェクトの削除に失敗しました。	
Project Load failed.	プロジェクトのロードに失敗しました。	
Project Rename failed	プロジェクト名の変更に失敗しました。	
Project save failed.	プロジェクトの保存中に何らかのエラーが発生し、保存できませんでした。 **CLOSE**キーでポップアップを消してください。 FATファイルシステムが壊れている可能性があります。 フォーマットをするか別のCFカードをご使用ください。 フォーマットをした場合は、記録されているデータは失われます。	
Project Screen is not available while Recording	録音中には、**"PROJECT"** 画面に切り換えできません。	
Project Screen is not avalable in Jog Mode	ジョグ動作モード中には、**"PROJECT"** 画面に切り換えできません。	
Reading Media …	メディアを読み込み中です。	
Reading Data...	データ読み込み中です。	
Rebuild all Projects?	全てのプロジェクトを再構築します。	
Rebuild current Project?	現在のプロジェクトを再構築します。	
Rebuild current Folder?	現在のフォルダを再構築します。	
Rebuild failed	再構築に失敗しました。	
Rebuild selected project?	選択したプロジェクトを再構築します。	
Rebuild selected Folder?	選択したフォルダを再構築します。	
Rebuilding All …	全てのプロジェクトを再構築中です。	
Rebuilding project …	プロジェクトを再構築中です。	
Rebuilding folder …	フォルダを再構築中です。	
RECORD Error	録音中にエラーが発生しました。	
RECORD Error Buffer overflow	録音中に、録音バッファーが一杯になりました。 カードへの書き込み処理が間にあっていません。	

メッセージ	内容と対処方法	備考
RECORD stopped. Media Full.	CFカードの容量が不足したため、録音を停止しました。	
Renaming Project ""pppppp"" to ""nnnnnn""	プロジェクト名を変更しています。	""pppppp"" = 旧プロジェクト名 ""nnnnnn"" = 新プロジェクト名
Renumber marks?	マーク番号振り直しを行います。	
Folder Load failed.	フォルダのロードに失敗しました。	
Screen Locked Touch Panel Locked Out	タッチパネルは、誤操作防止のためロックされています。	
Screen Locked LCD Section Locked	LCDセクションの操作子は、誤操作防止のためロックされています。	
Selected take is in another project. Load that project and selected Take?	選択したテイクは、別のプロジェクトのものです。	
ssssssss TAKES : n Fs : f TOTAL SIZE : u TOTAL TIME : t	フォルダ情報表示	ssssssss = フォルダ名 n : テイク数 f : サンプリング周波数 u : 使用容量 t : 全テイクの合計時間
Starting USB	USBモードを開始しています。	
Take Delete failed.	テイクの削除に失敗しました。	
TAKE limit back to full. Change to Sub Folder?	**"Mono File Place"** の設定を **"SubFolder"** にするとテイク数制限が最大値に戻ります。	
TAKE limit reduced.. Change to Folder?	**"Mono File Place"** の設定を **"Folder"** にするとテイク数制限が減少します。	
Take Load failed.	テイクのロードに失敗しました。	
There is no project. Please create a project.	プロジェクトが無いため録音できない状態です。 プロジェクトを作成してください。	
There is no folder. Please make a folder.	フォルダが無いため録音できない状態です。 フォルダを作成してください。	
This name already exists.	既に同じ名前のプロジェクト、フォルダ、またはテイクが存在します。	
Transport Locked Transport Section Locked	トランスポートキーは、誤操作防止のためロックされています。	
tttttttt date fs/bit/FileMode/NumOfTracks SIZE : u LENGTH : *h**m**s**f	テイク情報表示	tttttttt = テイク名 date : 年/月/日 時:分 fs : サンプリング周波数 bit : ビット数 FileMode : MONO or POLY NumOfTracks : Track数 u : 使用容量
tttttttt START T/C : **h**m**s**f FRAME TYPE: **F	テイク情報表示	tttttttt =テイク名 START T/C : ファイル先頭のタイムコード時刻 FRAME TYPE : フレームタイプ
Writing System File···	録音停止時に録音情報の書き込み中です。	

定格

記録メディア

CFカード（コンパクトフラッシュカード）

ファイルシステム

FAT32

ファイルフォーマット

BWF（モノフォニック、ポリフォニック）

チャンネル数

8チャンネル（44.1/48/88.2/96kHz）
8チャンネル+2チャンネルステレオミックス（44.1/48kHz）
4チャンネル（176.4/192kHz）

量子化ビット数

16ビット、24ビット

サンプリング周波数

44.1/47.952/48/48.048/88.2/96/176.4/192kHz
（47.952/48.048kHz：48k±0.1% Pull-down/Pull-up）

クロックリファレンス

INTERNAL、WORD IN、VIDEO IN、DIGITAL IN
（AES 1-8 IN、AES A-B IN、ADAT 1-8 IN）

タイムコードフレーム

23.976、24、25、29.97DF、29.97NDF、30DF、30NDF

リミッター

アタックタイム　：3msec
リリースタイム　：300msec
スレッショルド　：−5dBFS
レシオ　　　　　：32：1

入出力定格

アナログオーディオ入出力定格

＊ PHONES端子を除く各入出力端子について、規定レベルおよび最大レベルの誤差は、±1dB以内です。

ANALOG INPUT端子（1-8）

コネクター：D-sub 25ピン
入力インピーダンス：10kΩ
規定入力レベル：

- リファレンスレベル＝−9dB設定時：+6dBu（1.55Vrms）
- リファレンスレベル＝−9dB以外に設定時：+4dBu（1.23Vrms）

最大入力レベル（切換え）：+15dBu（4.36Vrms）、+18dBu（6.16 Vrms）、+20dBu（7.75Vrms）、+22dBu（9.76Vrms）、+24dBu（12.28Vrms）

ANALOG INPUT端子（L/A、R/B）

コネクター：XLR-3-31（1：GND、2：HOT、3：COLD）
入力インピーダンス：10kΩ
規定入力レベル：

- リファレンスレベル＝−9dB設定時：+6dBu（1.55Vrms）
- リファレンスレベル＝−9dB以外に設定時：+4dBu（1.23Vrms）

最大入力レベル（切換え）：+15dBu（4.36Vrms）、+18dBu（6.16 Vrms）、+20dBu（7.75Vrms）、+22dBu（9.76Vrms）、+24dBu（12.28Vrms）

ANALOG OUTPUT端子（1-8）

コネクター：D-sub 25ピン
出力インピーダンス：100Ω
規定出力レベル：

- リファレンスレベル＝−9dB設定時：+6dBu（1.55Vrms）
- リファレンスレベル＝−9dB以外に設定時：+4dBu（1.23Vrms）

最大出力レベル（切換え）：+15dBu（4.36Vrms）、+18dBu（6.16Vrms）、+20dBu（7.75Vrms）、+22dBu（9.76Vrms）、+24dBu（12.28Vrms）

ANALOG OUTPUT端子（A/B）

コネクター：XLR-3-32（1：GND、2：HOT、3：COLD）
出力インピーダンス：100Ω
規定出力レベル：

- リファレンスレベル＝−9dB設定時：+6dBu（1.55Vrms）
- リファレンスレベル＝−9dB以外に設定時：+4dBu（1.23Vrms）

最大出力レベル（切換え）：+15dBu（4.36Vrms）、+18dBu（6.16Vrms）、+20dBu（7.75Vrms）、+22dBu（9.76Vrms）、+24dBu（12.28Vrms）

PHONES 端子

コネクター：6.3mm（1/4'）ステレオ標準ジャック
最大出力レベル ：45mW+45mW以上（THD+N 0.1%以下、32Ω負荷）

デジタルオーディオ入出力定格

DIGITAL IN/OUT（AES/EBU）端子

コネクター：D-sub 25ピンコネクター
最小入力電圧：2Vp-p
最大入力電圧：7Vp-p
出力電圧：2 ～ 5Vp-p
フォーマット：AES3-2003/IEC60958-4（AES/EBU）

DIGITAL I/O（ADAT）端子

コネクター：オプティカル
フォーマット：ADAT

DIGITAL INPUT A-B端子

コネクター：XLR-3-31
最大／最小入力信号電圧振幅：2Vp-p ～ 7Vp-p/110Ω
フォーマット：AES3-2003（AES/EBU）

DIGITAL OUTPUT L-R端子

コネクター：XLR-3-32
出力電圧：2 ～ 5Vp-p/110Ω
フォーマット：AES3-2003（AES/EBU）

コントロール入出力定格

RS-422端子

コネクター：D-sub 9ピン

RS-232C端子

コネクター：D-sub 9ピン

PARALLEL端子

コネクター：D-sub 25ピン

CASCADE IN端子

コネクター：BNCコネクター
入力電圧：5V TTL相当
入力インピーダンス：75Ω±10%
外部同期時の許容周波数偏差：± 100ppm

CASCADE OUT端子

コネクター：BNCコネクター
出力電圧：5V TTL相当
出力インピーダンス：75Ω±10%
サンプリング周波数：
44.1/47.952/48/48.048/88.2/96/176.4/192kHz
（47.952/48.048kHz：48k±0.1% Pull-down/Pull-up）

TIME CODE IN端子

コネクター：BNCコネクター
入力電圧：0.5 ～ 5Vp-p
入力インピーダンス：20kΩ

TIME CODE OUT端子

コネクター：BNCコネクター
出力電圧：2Vp-p
出力インピーダンス：600Ω

WORD/VIDEO IN端子

コネクター：BNCコネクター
入力電圧：5V TTL相当
入力インピーダンス：75Ω±10%
外部同期時の許容周波数偏差：± 100ppm
終端有り／無し切り換えスイッチ付き

WORD/VIDEO THRU/OUT端子

コネクター：BNCコネクター
出力電圧：5V TTL相当
出力インピーダンス：75Ω±10%
サンプリング周波数（WORD時）：
44.1/47.952/48/48.048/88.2/96/176.4/192kHz
（47.952/48.048kHz：48k±0.1% Pull-down/Pull-up）
OUT/THRU切り換えスイッチ付き（OUTはWORD OUTのみ）

ETHERNET端子

コネクター：RJ45

KEYBOARD 端子

コネクター：ミニDINコネクター（PS/2）

USB端子

コネクター：USB Aタイプ 4ピン
プロトコル：USB2.0 HIGHT SPEED（480Mbps）

オーディオ性能

周波数特性

ANALOG INPUT → ANALOG OUTPUT：
20Hz - 20kHz：±0.5dB（全対応Fs）
20Hz - 40kHz：+0.5dB/－2dB（Fs=88.2/96kHz）
20Hz - 80kHz；+0.5dB/－5dB（Fs=176.4/192kHz）

歪率

ANALOG INPUT → ANALOG OUTPUT：0.005%以下
（リファレンスレベル=－20dB設定時、+23dBu入力、1kHz、AES-17LPF）

S/N 比

ANALOG INPUT → ANALOG OUTPUT：100dB以上
（22kHz LPF A-weighted）

一般

電源

AC100-240V、50-60Hz

消費電力

26W

外形寸法

482.7 x 88 x 284.4mm（幅 x 高さ x 奥行き）

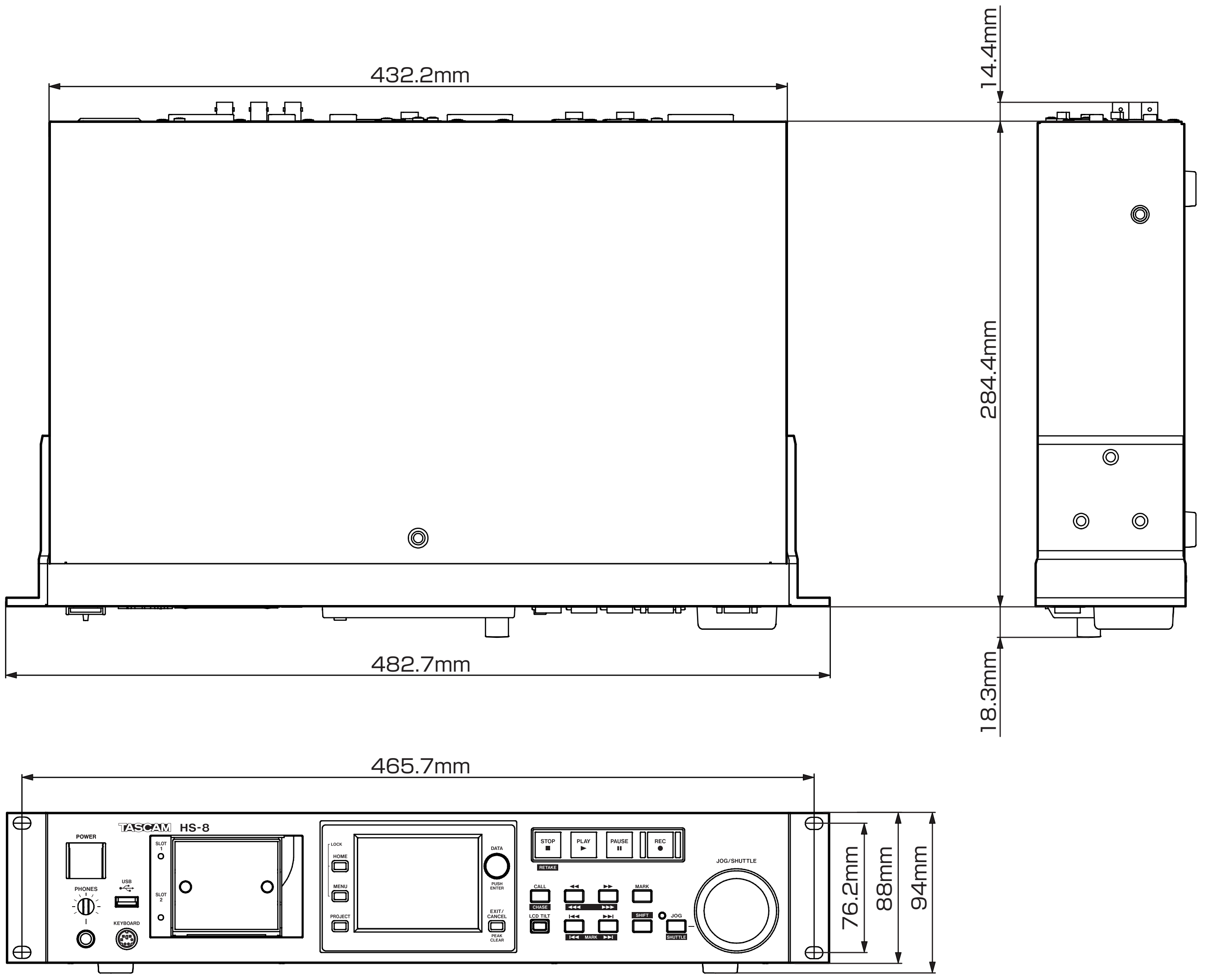
質量

4.8kg

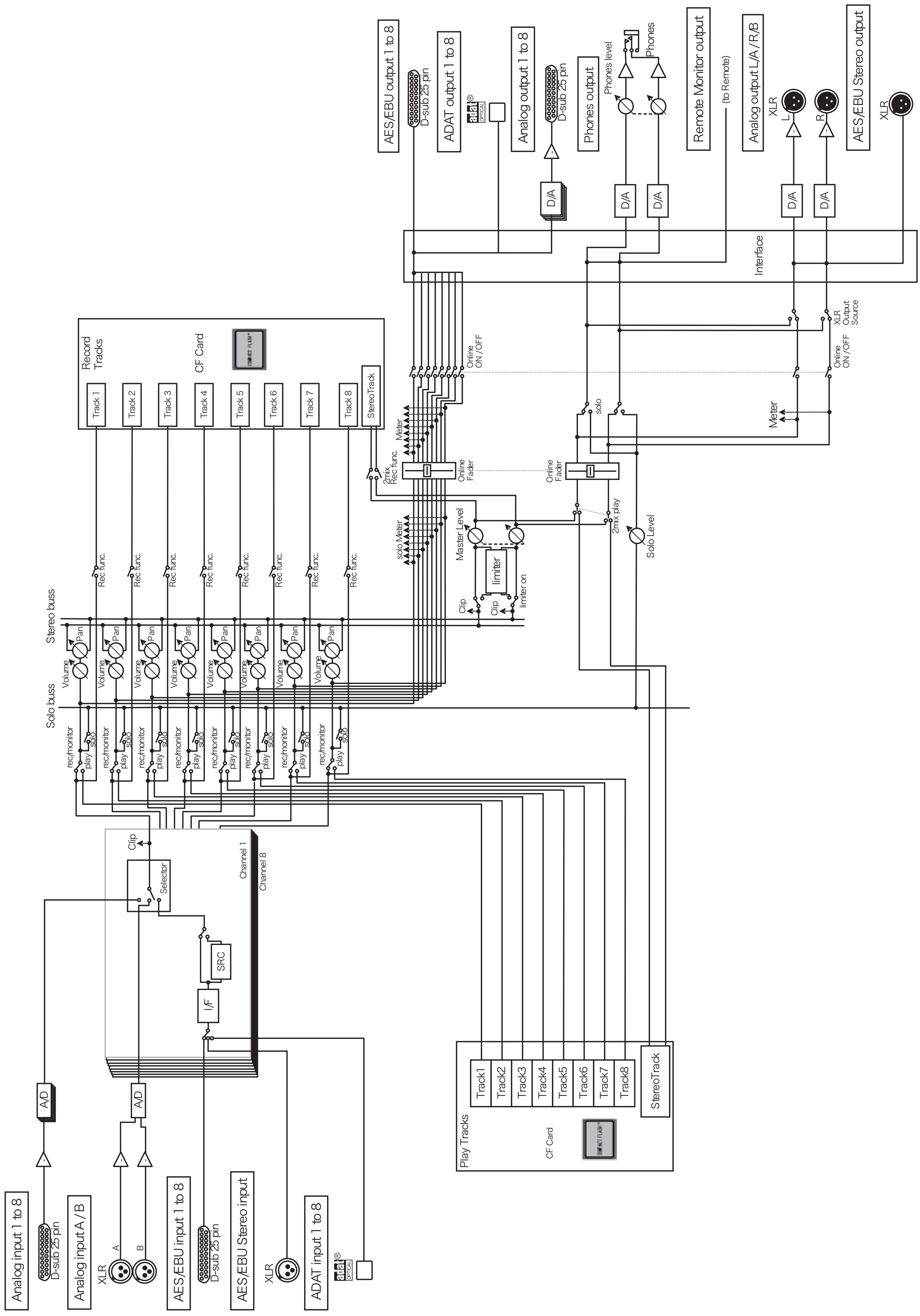
動作温度

5 ～ 35℃

寸法図


432.2mm
14.4mm
284.4mm
18.3mm
482.7mm
465.7mm
76.2mm
88mm
94mm
TASCAM HS-8
POWER
PHONES
USB
KEYBOARD
SLOT 1
SLOT 2
LOCK
HOME
MENU
PROJECT
DATA
PUSH ENTER
EXIT/ CANCEL
PEAK CLEAR
STOP
PLAY
PAUSE
REC
RETAKE
CALL
CHASE
LCD TILT
MARK
SHIFT
JOG
SHUTTLE
JOG/SHUTTLE

ブロックダイヤグラム



Analog input 1 to 8
D-sub 25 pin
Analog input A / B
XLR
A
B
AES/EBU input 1 to 8
D-sub 25 pin
AES/EBU Stereo input
XLR
ADAT input 1 to 8
A/D
A/D
Clip
Selector
SRC
I/F
Channel 1
Channel 8
rec/monitor
play
solo
Solo buss
Volume
Pan
Stereo buss
Rec func.
Record Tracks
CF Card
Track 1
Track 2
Track 3
Track 4
Track 5
Track 6
Track 7
Track 8
StereoTrack
2mix Rec func.
Meter
Online Fader
solo Meter
Master Level
limiter
limiter on
Clip
Online ON / OFF
2mix play
Solo Level
solo
Meter
XLR Output Source
Interface
D/A
AES/EBU output 1 to 8
ADAT output 1 to 8
Analog output 1 to 8
Phones output
Phones level
Phones
Remote Monitor output
(to Remote)
Analog output L/A / R/B
L
R
AES/EBU Stereo output
Play Tracks
Track1
Track2
Track3
Track4
Track5
Track6
Track7
Track8
StereoTrack

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポートまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00〜12:00 ／ 13:00〜17:00です。

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530　東京都多摩市落合 1-47

® **0120-152-854**

携帯電話・PHS・IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 ／ FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30〜17:00です。

ティアック修理センター 〒358-0026　埼玉県入間市小谷田 858

市内通話料でOK ナビダイヤル®

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。
新電電各社をご利用の場合は、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。
このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：04-2901-1033 ／ FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は, 予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47
http://www.tascam.jp/

Printed in China